

平成5年度 家庭教育充実事業報告書

福岡県における中学生の意識・行動と父親・母親の
養育態度・行動の実態調査（中間のまとめ）

福岡県立社会教育総合センター

はじめに

家庭は、子どもにとって生活の中心的な場であり、親の影響を受けながら基本的な生活習慣や社会性を身につけるなど、子どもの人間形成の場として重要な役割を担っていることはいまでもありません。

ところが、現代社会の急激な変化は、家庭を取り巻く環境や生活をも変化させ、核家族化・少子化が進行する中で、子育てに不安を持つ親を増加させるとともに、家庭の教育力の低下の一因ともなっています。

こうした状況の中で、次代を担う子どものすこやかな成長と健全な育成を図るためには、家庭の教育機能の回復が極めて重要な課題であります。

そこで、県立社会教育総合センターでは、子どもの健全な成長を促す家庭教育の充実発展を図るために、「家庭教育充実事業」として、乳幼児を持つ親等を対象とした育児のための啓発冊子の作成・配布をはじめ、子育ての悩みに応える相談事業、学習機会の提供、テレビ放送による育児番組「ママとぼく」の放映等各種の関連事業を実施してまいりました。

特に本年度は、昭和59年に実施した「中学生の意識・行動と父親・母親の養育態度・行動の実態」について比較検討するために、県下6中学校の中学生及びその保護者を対象に同様なアンケート調査を実施しました。さらには、平成3年度に実施した「小学生調査」と推移が予測できるものを調査項目の中に組み入れ、調査結果の概要を指導資料としてまとめました。

来年度は、この調査結果に基づいて詳細な分析と考察を加えるとともに、家庭教育充実に向けての適切な指針を提供するための家庭教育指導資料としてまとめる予定にしております。

今年は国際家族年でもあり、市町村教育委員会関係者や関係機関・団体において家庭教育関係事業等の参考資料として活用していただければ幸いです。

最後に、本事業を実施するに当たり、御尽力いただきました企画推進委員及び各部会委員の諸先生方並びに関係者の方々に、心からお礼申し上げます。

平成6年3月

福岡県立社会教育総合センター
所長 松崎輝生

も く じ

はじめに

家庭教育充実事業概要

I	平成5年度開設要綱	1
II	平成5年度企画推進委員・部会委員	3
III	事業の展開	4
1	企画推進委員会・部会の開催	4
2	パンフレット等の作成・配布	4
3	テレビ放送	5
4	家庭教育指導資料の作成・配布	8
5	家庭教育指導者研究協議会の開催	9
6	電話相談員の養成・研修	11
7	電話による相談事業	12

福岡県における中学生の意識・行動と

父親・母親の養育態度・行動の実態調査(中間のまとめ)

序 章 調査の概要

1	調査の目的	14
2	調査の方法	16
3	分析の基本的視点	20

第I章 中学生の意識・行動の実態

1	学校生活	
(1)	勉強	22
(2)	友人関係	25
(3)	クラス活動	28
(4)	まとめ	29
2	親子交流	
(1)	日常対話	30
(2)	親のイメージ	32
(3)	親の養育態度	34
(4)	まとめ	37
3	家庭生活	
(1)	基本的生活習慣	39
(2)	家庭学習	42
(3)	テレビ・ラジオの視聴	44
(4)	まとめ	46
4	地域生活	

(1) 自由時間の過ごし方	47
(2) 関心	49
(3) まとめ	53
5 自己評価	
(1) 自己評価	54
(2) 悩み	55
(3) まとめ	58
第Ⅱ章 父親・母親の養育態度・行動の実態	
1 家庭生活	
(1) 基本的な生活習慣	59
(2) 言葉づかい	62
(3) 勉強	64
(4) まとめ	66
2 親子交流	
(1) 日常対話	67
(2) 食事	70
(3) 親子交流	71
(4) まとめ	74
3 子ども評価	
(1) 子どもの性格	75
(2) 接し方	77
(3) 悩み	79
(4) まとめ	81
4 養育意識	
(1) 親の生活	82
(2) 充実感	83
(3) 自己評価	85
(4) 養育情報	88
(5) しつけの目標	91
(6) まとめ	95
第Ⅲ章 まとめと今後の課題	
1 中学生の実態	97
2 親の養育の実態	99
3 今後の課題	102
資料1 調査実施要項	105
資料2 調査票の集約結果	119

家庭教育充實事業概要

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

C

C

I 平成5年度開設要綱

1. 事業の趣旨

家庭の教育機能を高めるため、子どもを持つ親等を対象に家庭教育に関する情報や資料の提供、電話相談等の相談体制の整備、家庭教育指導者の確保等を図り、生涯学習の基礎となる家庭教育の充実振興に努める。

2. 事業の対象

事業の対象者は、乳幼児期から少年期（小・中学生）までの子どもを持つ親等とする。

3. 企画推進委員会・部会

- (1) 本事業全般の企画運営の充実を図るため、家庭教育に関する学識経験者（教育学、心理学、社会学、医学等の専門分野）、社会教育関係者、保育・学校教育関係者、マスコミ関係者、関係行政担当者等幅広い分野から委員を選出し、企画推進委員会及び部会を設置する。
- (2) 企画推進委員会・部会は、事業の基本方針と実施要項を策定し、その運営について審議するとともに、事業の成果を評価する。
- (3) 企画推進委員会に、委員長・副委員長各1名を置く。
- (4) 企画推進委員会は、年3回程度開催する。
- (5) 部会は、パンフレット等作成部会・テレビ放送部会・指導資料作成部会の3部会とし、それぞれ年4回程度開催する。
- (6) 各部会に、部会長・副部会長各1名を置く。

4. 事業の内容

(1) 電話による相談事業

学識経験者や電話相談員養成講座・研修会修了者等を相談員に委嘱し、家庭教育に関する親等からの相談（子育てに関する悩み等）に応ずる。

(2) 電話相談員の養成・研修

電話相談に係わる職員の資質の向上を図るとともに、電話相談員の養成確保に努めるため、家庭教育に関する専門知識やカウンセリングに関する知識・技

術等を修得するための養成講座・研修会を実施する。

(3) パンフレット等の作成・配布

家庭教育に関する冊子を作成し、親や関係機関・団体に配布することにより、家庭教育に関する普及・啓発活動を推進する。

(4) テレビ放送

電話相談等における相談内容を踏まえ、家庭教育の課題に応えうるような番組を製作し、提供する。

(5) 家庭教育指導資料等の作成・配布

家庭教育の活性化に資するために家庭教育に関する各種の調査研究等を行い、その研究の成果をまとめた指導資料等を作成して、関係機関・団体に配布する。

(6) 家庭教育指導者研究協議会の開催

社会教育・学校教育関係者及び社会教育関係団体のリーダーや地域における家庭教育の指導的立場にある者等を対象に、各地域の実情を踏まえながら、今日の家庭教育の課題に対処する具体的実践方策等について研究協議を行うとともに、家庭教育指導者の資質の向上を図る。

Ⅱ 平成5年度企画推進委員・部会委員

企画推進委員

氏名	所属・職名	備考
光安文夫	福岡教育大学 名誉教授	委員長
森 紘	九州大学 助教授	副委員長
田中敏明	福岡教育大学 教授	
矢野静枝	元北九州市立保育所 所長	
高良竹美	中村学園大学 講師	
平野寿秀	RKB毎日放送 文化情報部副部長	
重松孝士	県教育庁社会教育課 主任社会教育主事	

部会委員

部会	氏名	所属・職名	備考
パンフレット等作成部会	田中敏明	福岡教育大学 教授	部会長
	矢野静枝	元北九州市立保育所 所長	副部会長
	松本壽通	松本小児科医院 院長	
	門田智恵	県教育庁義務教育課 指導主事	
テレビ放送部会	高良竹美	中村学園大学 講師	部会長
	平野寿秀	RKB毎日放送 文化情報部副部長	副部会長
	川原弘之	福岡県立大学 教授	
	天野恭子	福岡市立和白幼稚園 園長	
	香月直	県教育庁義務教育課 指導主事	
指導資料作成部会	森 紘	九州大学 助教授	部会長
	重松孝士	県教育庁社会教育課 主任社会教育主事	副部会長
	井上豊久	福岡教育大学 講師	
	濱崎保之	玄海町立地島小学校 教頭	
	大賀英之	県教育センター 研究主事	
	高橋孝徳	県教育庁筑豊教育事務所 社会教育主事	

Ⅲ 事業の展開

1. 企画推進委員会・部会の開催

(1) 実施状況

第1回企画推進委員会	5月17日(月)
・委員長・副委員長選出	
・平成5年度事業内容並びに各部会の事業についての審議	
第1回指導資料作成部会	5月19日(水)
第1回テレビ放送部会	5月21日(金)
第1回パンフレット等作成部会	6月7日(金)
第2回テレビ放送部会	6月30日(水)
第2回指導資料作成部会	7月16日(金)
第2回パンフレット等作成部会	8月6日(金)
第3回パンフレット等作成部会	9月24日(金)
第3回指導資料作成部会	12月24日(金)
第4回指導資料作成部会	2月2日(水)
第4回パンフレット等作成部会	2月23日(水)
第2回企画推進委員会	2月28日(月)
・本年度事業の評価・反省並びに来年度事業の取組みについての審議	
事業実施報告書の作成	3月

2. パンフレット等の作成・配布

育児のための小冊子「いたずらざかり」「わんぱくざかり」の作成

- ・「いたずらざかり」(A6版50ページ)、乳幼児(0～2歳)対象に市町村母子保健主管課・医師会を通して母子手帳交付の際配布。
- ・「わんぱくざかり」(A6版60ページ)、幼児(3～6歳)対象に保健所・医師会を通して3歳児検診の際配布。

3. テレビ放送

(1) 番組企画

ア 番組名	子育て相談「ママとぼく」
イ 放送時間	毎週金曜日 午前10時15分から10時30分まで

ウ 放送期間	平成5年10月1日から平成6年3月25日まで
エ 放送の条件	15分、26回放送
オ 放送の形式	スタジオ構成及びVTR・ENG構成の併用
カ 番組の広報	番組案内チラシ等で広報
キ 制作と放送	RKB毎日放送(株)に委託

(2) 番組の内容

回	放送日	タイトル	内 容	出演者
1	10/1	限りなき子どもへの愛	・育児についての親の心構えなど、基本的な育児のポイントを子育て10か条として提示し、自分自身の育児を考える。	福岡教育大学名誉教授 光 安 文 夫
2	10/8	親と子の微笑み キャッチボール	・赤ちゃんへの語りかけ、顔の表情(微笑み)の大切さ、育児に対しての昔の常識と今の常識を小児医療等の専門家から語ってもらう。	久留米聖マリア病院 新生児センター保母 上 滝 文 子 中 村 紀 子
3	10/15	母乳、この素晴らしい贈物	・初乳の神秘、母乳育児の素晴らしさについて専門医の立場から語ってもらう。	久留米聖マリア病院 副院長 橋 本 武 夫
4	10/22	子どもの自立を妨げていませんか	・少子化現象による一点豪華主義、過保護過干渉の親の養育態度について考える。	九州大学助教授 森 紘
5	10/29	学力とこれからの子育て	・新しい学力観に基づくこれからの育児を考え、個性重視、体験活動の重要性などを示す。	県教育庁義務教育課 主任指導主事 山 本 直 俊
6	11/5	昔の子ども、今の子ども	・昔の子どもや今の子どもを生活(遊びや食事を中心に)面からとらえ、物の豊かさの中で育つ今の子どもの子育てについて見直す。	福岡市立和白幼稚園長 天 野 恭 子
7	11/12	子育て奮戦記	・一般の保護者のユニークな子育て法の紹介や各界著名人の子育てについて語ってもらう。	志免町立別府保育園長 高 野 和 代
8	11/19	こんなお母さん・お父さんがいいな	・子ども達へのインタビューをもとに、子ども達の側から見た両親について考え、その理想像を探る。	福岡県保育所連盟会長 藤 岡 佐 規 子
9	11/26	たくましく育てるには	・子どもの発育の特徴を知り、健康づくりのための健康法や鍛練のコツについて学ぶ。	福岡県立大学教授 川 原 弘 之
10	12/3	絶えない心配 子どもの健康	・体についての心配のあれこれに答えたり、少年期に目立ってきた成人病予防のために、幼児期に気をつけることについて考える。	県小児科医師会理事 松 本 壽 通

回	放送日	タイトル	内 容	出演者
11	12/10	心の伝言板	・子ども達の心の成長発達段階で、その特徴的な問題とその対処法についてのアドバイスを示す。	福岡教育大学教授 横山正幸
12	12/17	親と子どもの我慢くらべ	・子ども達の耐性、自制心を育てることの重要性について考える。	近畿大学九州短期大学教授 宮原和子
13	12/24	喜怒哀楽	・子ども達の豊かな感情を育てる育児の手だてについて考える。	福岡教育大学教授 田中敏明
14	12/30	おかあさんあのね	・絵本や語りかけを通して、子どもの創造力、思考力を育てる親のはたらきかけについて考える。	福岡県立図書館普及課長 北村慶子
15	1/7	遊んでいますか？あなたのお子さん	・子ども達にとっての運動とは、遊びの天才づくりにするには等、運動や遊びと成長との関係について考える。	みやの野外教育研究所長 宮野繁美
16	1/14	心をいつも青空に	・思いやりや自主性、競争心と協同心などの調和のとれた心の育成について考える。	福岡教育大学教授 田中敏明
17	1/21	愛に育まれて	・家族の絆の重要性、子ども達の人格形成の鍵を握る親について考える。	福岡女学院大学教授 篠原忍
18	1/28	ケンカ相手も時には欲しい	・きょうだいや一人っ子の育児諸問題について考える。	県巡回教育相談員 村上利男
19	2/4	しっかり子どもをあずかっています	・家庭の役割、集団保育（幼稚園・保育園）の役割の明確化と連携を考える。	家庭教育充実事業 企画推進委員 矢野静枝
20	2/11	小学校へのステップ	・小学校の子ども達の活動から幼児教育の大切さを考える。	津屋崎町立勝浦小学校校長 川崎雅光
21	2/18	おもちゃあれこれ	・子どもにとってのおもちゃの意義やその与え方について考える。	第一保育短期大学助教授 徳安敦
22	2/25	子どもは親の鏡	・幼い頃の父母の思い出を育児・養育の視点から語ってもらい、自分自身の育児を考える機会とする。	九州大学助教授 森 紘 ミスノスポーツ陸上部 佐藤 恵
23	3/4	大好きおじいちゃん・おばあちゃん	・核家族化、高齢化社会の到来から祖父母の存在を考え、子ども達と高齢者とのふれあいを考える。	地域福祉振興基金常務理事 矢野璃羅子
24	3/11	育児に疲れていませんか	・育児不安や社会問題にもなってきた育児ノイローゼについてその解消法について考える。	県小児科医師会理事 松本壽通
25	3/18	大切な我が子に与えるもの	・英才教育が話題になる今日、本来幼児期にさせなければならないことについて考える。～思春期症候群(非行・登校拒否・いじめ・ノイローゼ等)と幼児期の体験との関係を通して～	福岡教育大学教授 碓 浩一
26	3/25	子育ては楽しく	・番組モニターと育児についての質問や意見交流を行い、楽しい子育てについて考える。	中村学園大学講師 高良竹美

(3) テレビモニターの委嘱

ア 趣 旨

家庭教育充実事業に係わるテレビ放送「ママとぼく」の効果的な運営を図るため、広く県民からモニターを公募して意見を聴取するとともに、家庭教育に関する学習グループの育成に努める。

イ 募集方法

一般公募

ウ 対 象

個人またはグループ（3人程度）の小学生までの子どもを持つ親等

エ 委嘱の期間

平成5年10月1日から平成6年3月31日までの6か月間

オ 内 容

(ア) テレビ放送「ママとぼく」（RKB毎日放送）を視聴してその内容についてのモニター報告書を月ごとに作成し、福岡県立社会教育総合センターに提出する。

(イ) 毎月のモニター報告書の郵便料金は、福岡県立社会教育総合センターで負担する。

(ウ) モニターは、モニター交流会やその他家庭教育関係事業に積極的に参加し、地域における家庭教育の啓発・普及に努める。

カ 委嘱の状況

(ア) グループモニター

6グループ 17名に委嘱

(イ) 個人モニター

33名に委嘱

(4) テレビモニター交流会

ア 目 的

テレビ放送「ママとぼく」の活動をしている関係者が一同につどい、モニター活動のあり方や子育ての課題等について話し合いながら学習を行い、家庭教育充実事業の一環として実施しているテレビ放送の効果的な推進を図る。

イ 期 日

平成6年3月9日(水) 10:00～14:30

ウ 会 場

RKB毎日放送局（福岡市中央区渡辺通4丁目1番10号）

エ 日 程

9：45～10：00 受 付

10：00～10：30 開会行事・オリエンテーション

10：30～12：30 意見交換・学習会

「テレビ放送『ママとぼく』を視聴して」

助言者 中村学園大学講師 高良 竹美

12：30～14：00 昼食・懇談

14：00～14：30 閉会行事

4. 家庭教育指導資料の作成・配布

家庭教育活性化のために「福岡県における中学生及び中学生を持つ親の養育態度・行動の実態」について、県下6校の中学生及び中学生を持つ親を対象にアンケート調査を実施した。それを昭和57年度の同調査と比較検討するとともに、分析結果を加え、家庭教育指導資料（本報告書P14～P103）として作成し関係機関・団体に配布。

5. 家庭教育指導者研究協議会

教育事務所	福岡教育事務所	南筑後教育事務所
名称	福岡地区家庭教育指導者研究協議会	家庭教育指導者研究協議会 「家庭教育を考えるつどい」
実施期日	平成5年6月28日(月)	平成5年7月11日(日)
会場	福岡県立社会教育総合センター	大牟田市労働福祉会館
内容 講師 助言者等	<p>講演「学校週5日制と学校外活動による健全育成」 講師 中村学園大学講師 三谷 勝 彌</p> <p>シンポジウム 「地域への広がりをめざす家庭教育学級のあり方を求めて」 シンポジスト 「幼稚園母親学級の実践から」 須恵町 幼稚園PTA前会長 小島 チズ子 「おやじ学級の実践から」 福岡町 福岡南小PTA会長 江上 隆 行 「自治公民館学級の実践から」 志摩町 引津公民館長 進 藤 嘉 和</p> <p>助言者 志摩町立引津小学校教頭 坂 本 徹</p>	<p>講演「見えていますか…子どものころ！ ～子どもの立場から～」 講師 九州大学助教授 森 紘</p> <p>分科会(3分科会) 家庭教育の原則について考える 児童・生徒相談室から家庭教育を見つめる 地域の中での家庭教育を考える</p> <p>司会者 南筑後教育事務所社会教育主事 大津 重 昭 " 江上 靖 則 " 梅 崎 雄 二</p> <p>助言者 立花町町史編纂委員 中村 文 二 南筑後教育事務所社会教育課長 濱 田 信 也 高田町立二川小学校教頭 田 島 明 久 元県PTA連合会副会長 椛 島 竹千代 南筑後教育事務所主任社会教育主事 砥 上 廣 明</p>
参加者数	140名	300名

教育事務所	筑豊教育事務所	京築教育事務所
名称	家庭教育指導者研究協議会 ふれあい塾	平成5年度 京築地区 家庭教育指導者研究協議会
実施期日	平成6年3月20日(日)	平成5年8月7日(土)
会場	金田町勤労体育センター	吉富町立吉富フォーユー会館
内容 講師 助言者等	講演 講師 熊本県小国町長 官崎 暢 俊 意見発表会 小学生 辰島 裕 ボランティア 宇野 貞子 シンポジウム 「ふれあい塾と人づくり」 コーディネーター 県立大学と共に歩む会副会長 本田 京子 パネリスト 福岡県立大学教授 豊田 謙 二 筑豊教育事務所社会教育課長 正平 辰 男 元活力あるふるさと振興協議会会長 藤林 俊 信 ふれあい塾運営委員 坂本 恵 子	シンポジウム 「家庭・学校・地域の役割と連携を求めて」 コーディネーター 純真女子短期大学教授 川原 黎 治 シンポジスト 角田中学校校長 谷崎 勝 椎田中学校PTA会員 吉良 千恵子 行橋市子ども会連合会長 唐崎 和 夫 北九州少年相談センター相談員 溝上 忠 昭 講演「考えてみよう、なぜ、心の豊かな子どもが育ちにくいのか」 講師 福岡教育大学教授 横山 正 幸
参加者数	422名	450名

6. 電話相談員の養成・研修

(1) 期 日

平成5年6月28日(月)～29日(火) 1泊2日

平成5年7月19日(月)～20日(火) 1泊2日

(2) 会 場

福岡県立社会教育総合センター

(3) 対 象

ア 教育委員会関係者

- ・ 教育ホットラインや家庭教育110番、ヤングテレホン及び児童生徒相談室で、電話相談業務に従事している職員（非常勤も含む）
- ・ 市町村教育委員会で電話相談業務に従事している職員（非常勤も含む）

イ その他

- ・ 県内の相談機関で電話相談業務に従事している職員（非常勤も含む）
- ・ これから電話相談業務に従事しようとする者及び青少年健全育成等のボランティア活動を行っているもの。

(4) 内容と講師

- ・ （講義）現代社会における電話相談の意義とその必要性
講師 福岡教育大学教授 秋山 俊夫
- ・ （講義）青少年期の問題行動と対処の方法
講師 福岡県精神保健センター所長 中村 興睿
- ・ （事例研究）こころとからだの相談について～薬物中毒などの事例から～
事例発表者 北九州市立少年相談センター相談員 野口 宣子
- ・ （事例研究）青少年の悩みごと相談について～積極的傾聴の必要性～
事例発表者 北九州いのちの電話相談員 村上 英一
助言者 筑紫女学園大学教授 林 幹男
- ・ （事例研究）教育関係相談員の相談事例から
事例発表者 教育ホットライン相談員 黒瀬 文英
事例発表者 児童生徒指導相談室相談員 藤原 守
助言者 筑紫女学園大学教授 林 幹男
- ・ （講義・研究協議）エイズの知識と予防の方法
講師 久留米大学医学部教授 新宮 正久

- ・（講義・演習）カウンセリングの理論と実際

～積極的な傾聴とロールプレイング～

講師 福岡県教育センター教育相談研究室研究主事 長家 昭

- ・（研究協議）電話相談員の喜びと悩み

- ・（講義・研究協議）幼児期の家庭教育相談

事例発表者 福岡県立社会教育総合センター相談員 山田サヨ子

助言者 福岡教育大学教授 田中 敏明

- ・（講義・討議）いじめ・体罰の相談について～人権擁護の立場から～

講師 法務局人権擁護部第二課長 一丸 侃

(5) 参加者

72名

7. 電話による相談事業

- (1) 専用電話「家庭教育110番」(092) 947-3515を設置
- (2) 開設曜日及び時間は、月曜から土曜までの8時30分から17時まで
- (3) 電話相談の内容及び件数（次頁参照）

福岡県立社会教育総合センター [家庭教育110番]

平成5年度 家庭教育電話相談件数一覽

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
相 談 件 数	53	55	55	45	24	44	41	27	17	23	29	32	445	
相 談 者	母	44	47	48	38	20	39	34	27	15	21	23	26	382
	父	4	3	5	1	0	1	1	0	0	0	0	0	15
	そ の 他	5	5	2	6	4	4	6	0	2	2	6	6	48
対 象 者	乳 幼 児	18	18	21	17	8	14	9	8	5	7	12	13	150
	小 学 生	16	23	13	14	10	10	18	9	8	7	8	6	142
	中 学 生	5	2	5	3	1	6	4	2	1	1	2	7	39
	高 校 生	8	5	10	4	0	8	5	5	3	4	1	3	56
そ の 他	6	7	6	7	5	6	5	3	0	4	6	3	58	
地 区	福 岡 市	12	17	19	19	6	12	16	9	4	9	12	11	146
	北 九 州 市	9	6	8	5	5	8	2	3	0	4	3	3	56
	福 岡 地 区	10	12	12	8	2	11	9	6	4	3	7	6	90
	北 九 州 地 区	5	5	4	3	2	5	3	0	1	4	1	4	37
	筑 豊 地 区	0	5	0	2	2	2	4	2	3	1	1	4	26
	京 築 地 区	0	0	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	5
	筑 後 地 区	14	8	9	6	5	6	7	5	5	2	3	4	74
そ の 他	3	2	1	1	1	0	0	1	0	0	2	0	11	
相 談 内 容	育 児	2	2	3	3	1	3	0	0	0	1	2	1	18
	排便のしつけ	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	6
	赤ちゃん返り	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	6
	ことばの発達	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	6
	發育のおくれ	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4
	友 だ ち	1	2	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	9
	い じ め	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	ことばの障害	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	5
	登園拒否	1	3	3	0	0	1	0	0	0	1	2	0	11
	入園準備	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	園とのかかわり	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	1	0	5
	指しゃぶり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	性格・情緒障害	1	6	4	4	2	3	6	3	0	2	1	4	36
	医 療	2	1	1	2	0	0	0	0	2	1	3	2	14
	祖父母との関係	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	親子関係	3	0	1	2	2	1	1	2	1	0	1	0	14
	そ の 他	1	1	2	2	1	1	0	0	1	0	1	4	14
小 計	18	18	21	17	8	14	9	8	5	7	12	13	150	
事 項	登校拒否	1	1	7	1	0	5	2	3	1	1	1	3	26
	学 家 庭 教 育	16	13	12	7	3	12	7	4	2	4	4	5	89
	非 行 行 動	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	問 題 行 動	2	0	1	2	2	2	4	1	1	4	0	2	21
	性格・情緒障害	3	1	2	1	3	4	6	1	1	1	0	0	23
	性 格	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	友 人 関 係	5	8	4	5	2	5	3	5	2	1	3	2	45
	弱 者 い じ め	3	1	2	4	4	0	4	0	3	1	2	2	26
	しつけ・生活	0	3	1	2	0	1	2	0	1	0	0	2	12
	身 体	5	8	3	4	2	1	4	5	1	4	7	3	47
そ の 他	5	8	3	4	2	1	4	5	1	4	7	3	47	
小 計	35	37	34	28	16	30	32	19	12	16	17	19	295	
合 計	53	55	55	45	24	44	41	27	17	23	29	32	445	
備 考														

福岡県における中学生の意識・行動と
父親・母親の養育態度・行動の実態調査
(中間のまとめ)

序章 調査の概要

1. 調査の目的

最近の家庭教育に関する調査を概観してみよう。家庭と地域の教育力に関する調査（平成元年総理府）によると、63%の人が「しつけや教育力が低下している」と感じており、それは「忍耐強さの不足」に現れていると思っている。家庭教育に関する調査（平成2年総理府）によると、55%の親が「しつけに悩んで」おり、10年間で11ポイント増えてきている。平成2年の青少年白書（総務庁）によると、子どもたちの「遊び方は室内、小人数、受動的」になっており、「友達関係も表面的に」つきあう段階に留まっている。青少年の意識調査（平成3年総務庁）によると、子どもたちの83%が「自分の生活に満足」しているが、社会に満足しているものは47%である。平成3年の青少年白書（総務庁）でも、「家庭生活には満足」しているが、「学校生活には不満」で、「社会への貢献より趣味に合った暮らし方」を優先していることが指摘された。また3人中2人が「早く大人になりたいとは思わない」ために、子どもたちは進学希望だけが先行し「将来像は持てない」でいる。平成4年の青少年白書（総務庁）によると子どもたちの余暇時間は増えてゆとりが拡大しているが「社会的活動への参加は低く」、持ち物が豊かになった反面「適正な金銭感覚」に欠けている。親の意識に関する調査（平成4年総理府）によると、親は子どもに「道徳心や公共心、思いやりの心や寛容性」を身につけてほしいと願っている。平成5年の青少年白書（総務庁）によると、家族の「触れ合い」が減りそれぞれ自分だけの生活に閉じこもっている。

これらの調査で現れてきた忍耐強さ、豊かな友人関係、社会への貢献、将来像、金銭感覚、思いやり、触れ合いというキーワードは、人間関係に関わるものであり、総体は幸せな社会生活である。子どもたちは大人たちの世界を真似て「子どもたちの世界」を作ったり、家族という温かい関係をともに支え合う暮らしの中で、社会性の基礎訓練を体験するはずである。しかしながら、今子どもの世界と大人の世界は完全に分離し、子どもは大人の世界にある社会性を知らないままに放置されている。

福岡県の家庭教育についてはどのようなことが分かっているのでしょうか。本事業が平成3年度に実施した「小学生を持つ親の養育態度の調査」により次の4つの特徴が明らかになった。

- (1) 養育態度の保護的な側面は「選択的過保護」になっている。

学校生活への適応に向けた過保護が定着し、生活習慣への過保護は沈静化しつつある。

(2) 養育態度の育成的な側面は「選択的しつけ」になっている。

注意をするといった口頭によるしつけが主になって、行動をともにして指導するしつけが欠けている。

(3) 養育意識は「耐性なき養育」になっている。

親が育てねばという気持ちを強く持ち過ぎて、子どもが育つのをじっと待つ親の耐性が持てないでいる。

(4) 子どもの認識は「学習なき成長」になっている。

未熟さを自覚することが学習過程のスタートであるが、失敗させまいとする先回り養育で学習の芽を摘んでいる。

学校週五日制が導入された目標は子どもの体験を復活させようということである。その背景には子ども自身が行動を通して自分の能力の限界を知り、学び、新しい能力を身につけていく育ちのプロセスを完成させるという意図がある。そこには親の養育態度や意識が、子どもの育ちを脇に置き去りにしてきたという反省がある。調査の結果は正にその点に集約することができる。

では、中学生を持つ親の養育態度はどうであろうか。考察の流れは自然にそういう方向に向かっていき、今年度の調査につながる。ところで、昭和57年度に本事業の前身である家庭教育総合セミナー事業が「福岡県における中学生の意識・行動と父親・母親の養育態度・行動の実態調査」（以後「前回調査」と呼ぶ）を実施し、次のような点が明らかにされている。

(1) 子どもについては

子どもの大半は家庭生活や学校生活に満足しているが、学年が進むにつれて勉強や成績及び進路について悩む子どもが増加する傾向にある。したがって、学年が進むにつれて勉強時間が長くなり、自由時間の過ごし方はあまり活動的ではない。ただ手伝いはかなりしており、特に女子の方がよくしている。

(2) 親については

親のしつけは勉強に関することに集中する傾向があり、悩みは成績や進学のことである。学年が進むにつれて全体的に親の悩みや心配の種が増えていく傾向である。特に子どもの自立性や忍耐力についてはかなりの親が「ない」と認め、母親の評価が厳しくなっている。親の生きがいは子どもであり、そのためしつけにはかなり自信を持ってはいるものの甘いと考える親と甘くないと考える親は半々である。また子どもの気持ちが分からないという親も多

い。中学生にとって身近になる性教育については、大半の親が回避したり無視する傾向がある。

以上のような現状認識の階段で言えることは、家庭教育の目的が曖昧になる一方で、一極集中し始めているということである。とりあえずはその動きに気づくことが先決である。本調査では、家庭教育の目的を親と子の共同作業による「明日の家庭」づくりとみなし、「子育て」と「子育ち」のマッチング、あるいは中学生にとって必要な大人の世界とのドッキングへの目安を総合的に提示することを目標とする。その過程で一極集中の実状が明らかになるはずである。考察を立体的に進めるために、親の養育態度を調査するだけでなく、中学生の生活実態の調査も合わせて行い、中学生の声に親の声が調和しているかどうかを試すことにした。どのようなハーモニーが聴こえるか、それが家庭教育の充実を目指す本調査の当面の目標である。

2. 調査の方法

(1) 調査対象

本調査は福岡県下6地区、6校の中学生1,273名とその父親1,180名、母親1,224名を対象として実施された。回収数は中学生1,206サンプル、父親1,050サンプル、母親1,145サンプルで、回収率はそれぞれ94.7%、89.0%、93.5%であった。実際の集計に当たっては、記入者が父親、母親以外か不明なものは除外された。

サンプルの内訳を中学生の学年、性別という条件で分類すると表1、2、3となり、中学生のきょうだいの有無、きょうだいの位置、学年という条件で分類すると表4、5の通りである。親のきょうだいの有無、きょうだいの位置、在住年数、学年という条件で分類すると表6、7、8の通りである。また、親を年代別に分類したものが表9である。

表1 中学生の学年・性別サンプル数

	1	2	3	計
男 子	220	207	207	634
女 子	187	195	190	572
合 計	407	402	397	1,206

表2 父親の学年・性別サンプル数

	1	2	3	計
男 子	194	189	182	565
女 子	165	167	153	485
合 計	359	356	335	1,050

表3 母親の学年・性別サンプル数

	1	2	3	計
男 子	209	190	188	587
女 子	183	190	185	558
合 計	392	380	373	1,145

表4 中学生のきょうだいの有無・学年別サンプル数

区 分		学 年	1	2	3	計
男 子	ひ と り		11	11	19	41
	きょうだい有		209	196	188	593
	小 計		220	207	207	634
女 子	ひ と り		16	13	9	38
	きょうだい有		171	182	181	534
	小 計		187	195	190	572
計			407	402	397	1,206

表5 中学生のきょうだいの位置・学年別サンプル数

区 分		学 年	1	2	3	計
男 子	長 子		108	88	111	307
	長 子 以 外		112	119	96	327
	小 計		220	207	207	634
女 子	長 子		95	100	99	294
	長 子 以 外		92	95	91	278
	小 計		187	195	190	572
計			407	402	397	1,206

表6 親のきょうだいの有無・学年別サンプル数

区 分 \ 学 年		学 年			計
		1	2	3	
父	ひ と り	11	11	19	41
	きょうだい有	209	196	188	593
親	小 計	220	207	207	634
母	ひ と り	16	13	9	38
	きょうだい有	171	182	181	534
親	小 計	187	195	190	572
計		407	402	397	1,206

表7 親のきょうだいの位置・学年別サンプル数

区 分 \ 学 年		学 年			計
		1	2	3	
父	長 子	108	88	111	307
	長子以外	112	119	96	327
親	小 計	220	207	207	634
母	長 子	95	100	99	294
	長子以外	92	95	91	278
親	小 計	187	195	190	572
計		407	402	397	1,206

表8 親の在住年数・学年別サンプル数

区 分 \ 学 年		学 年			
		1	2	3	計
父	1 年 未 満	16	15	12	43
	1年以上～3年未満	32	26	19	77
	3年以上～5年未満	28	24	23	75
	5年以上～10年未満	80	70	44	194
親	10 年 以 上	203	221	237	661
	小 計	359	356	335	1,050
母	1 年 未 満	22	14	12	48
	1年以上～3年未満	35	38	23	96
	3年以上～5年未満	34	29	27	90
	5年以上～10年未満	74	76	55	205
親	10 年 以 上	227	223	256	706
	小 計	392	380	373	1,145
計		751	736	708	2,195

表9 親の年代別サンプル数

	父 親	母 親
10 代	2	4
20 代	3	3
30 代	130	321
40 代	816	791
50 代	92	19
60以上	7	7
計	1,050	1,145

(2) 調査の方法

本調査は、質問総数50項目からなる調査表「中学生の生活実態についてのアンケート」（中学生用）と質問総数50項目からなる「中学生のしつけについてのアンケート」（保護者用）によって、無記名で行われた。なお保護者用の調査表は男性用と女性用を作成し、質問の構成と内容は全く同一のものであった。これらの調査票の構成は次の通りである。

① 中学生の生活実態についてのアンケート

中学生の生活領域を家庭、学校および地域に分けて、それぞれの領域で主な事項と考えられることについて質問している。学校生活では勉強、友人関係、クラス活動について、家庭生活では基本的な生活習慣、家庭学習、テレビ視聴および親子の交流について質問している。ここで、特に親子交流は家庭教育の根幹であるので別項としてさらに日常対話、親のイメージ、親の養育態度に分けて取り上げている。家庭と学校以外の生活を地域での生活とみなして、自由時間の過ごし方、関心について質問し、最後に中学生自身の自己評価と悩みについて問いかけている。中学生がどのような環境に置かれているのかを中学生に話してもらえるように、5つの部分からなる質問が用意されている。

② 中学生のしつけについてのアンケート

親の養育態度を養育行動と親子交流に分け、さらにそれらを背後から支えているものとして子どもの評価と養育意識を取り上げて、あわせて4つの領域で調査票は構成されている。養育行動の領域では基本的な生活習慣、言葉遣い、勉強へのしつけについて、一方親子交流の領域では日常対話、食事、交流を通しての指導について取り上げている。

養育は子どもの正確な把握を必要条件とするので、子ども評価の領域では子どもの性格、接し方、悩みについて問いかけている。また養育者としての自分を親が自覚することが養育への十分条件であるので、養育意識の領域では親の生活、充実感、自己評価、養育情報、しつけの目標について質問している。過保護や過干渉あるいは勉強に偏向しがちな養育を修正するために、人を育てるといふ養育の全体像を基盤に置いて、その上で実態の位置を明らかにしようと意図されている。

これらの結果と前回の調査結果を数量的に比較することによって変化の情報が得られるので、前回調査の項目の中から特徴的なものを選び出し、今回

の調査との重複を図っている。(なお前回調査での質問の表現および選択肢を一部変更したものがある。)また小学生から中学生への推移が予想できるものを、小学生の親に対する調査項目から選択して加えてある。さらに親と中学生の両方からの回答を突き合わせることができるような質問項目も新設されている。

これらの質問項目の構成を表10に示している。具体的な質問内容と回答結果は、本文中ならびに本報告書の最後に付してある。

(3) 調査の実施方法と時期

調査の実施にあたっては、調査票を直接協力校に持参し、学校を通じて家庭に配布し記入をしてもらった。回収は各中学生とその保護者の回答を一組として、配布の逆のルートを経由して行った。

調査の実施時期は、平成5年9月。調査協力校の6中学校は前回調査校と同一で、本報告書の末尾に一覧している。なお調査結果の集計のためのコンピューター処理については、福岡県教育センターのご協力をいただいた。

3. 分析の基本的視点

調査結果の分析は、基本的に調査票の構成(表10)に沿って行った。本報告書では、各質問項目毎に中学生については学年別、男女別、親については父親・母親別、子どもの学年別および性別の傾向と特徴に説明を加えている。さらに昭和57年度に行われた調査を「前回調査」、また平成3年度に行われた調査を「小学生調査」と称して単純比較を試みている。親と子どもの回答を突き合わせることができる質問については主として親の報告のところで述べている。その際、中学生への調査を「中学生調査」と称している。なお、きょうだいの有無別、きょうだいの順位別、親の年代別、居住年数別にみた傾向、および質問項目相互の関連性を見るための詳細な分析と考察は、来年度の報告書で取り上げる予定である。

表10 調査票の構成

〈中学生への質問項目〉

〔1〕 学校生活（11問）

(1) 勉強 8なぜ勉強, 26勉強分らぬ, 27勉強やる気 46やり直し
(2) 友人関係 20友人グループ, 21グループ話題, 22親友 23異性友人, 41友の目
(3) クラス活動 9当番取組み, 10活動参加

〔2〕 親子交流（12問）

(1) 日常対話 34TVSP, 35将来人生, 36学校生活話す 50性の話
(2) 親のイメージ 37父母の顔, 38父母を信頼, 40父母像
(3) 親の養育態度 39先生不満, 43感謝, 47叱られる 48甘いか, 49家を出る

〔3〕 家庭生活（11問）

(1) 基本的な生活習慣 1遅刻, 2小遣貰い方, 3小遣平均額 28生活満足, 29薬服用, 30手伝い
(2) 家庭学習 5勉強時間, 7塾・家庭教師
(3) テレビ・ラジオの視聴 4TV視聴時間, 6深夜放送, 18TV番組は

〔4〕 地域生活（9問）

(1) 自由時間の過ごし方 11楽は学内外, 12休日過ごし方, 44大人と交流
(2) 関心 17異性, 19音楽, 31服装髪型, 32性 33流行が気に, 45明日期待

〔5〕 自己評価（7問）

(1) 自己評価 14自主性, 15積極性, 16忍耐力
(2) 悩み 13不登校, 24悩みは何, 25相談相手 42安心の場

〈親への質問項目〉

〔1〕 家庭生活（12問）

(1) 基本的な生活習慣 1起床, 2持物注意, 4小遣使いみち 7服装髪型, 10宿題手伝い忘れ, 11後始末
(2) 言葉遣い 6親への言葉, 8挨拶注意, 17乱暴な言方
(3) 勉強 3テスト夜食, 9勉強注意, 24成績要因

〔2〕 親子交流（10問）

(1) 日常対話 12TVSP, 13社会出来事, 14性指導 15将来人生, 16学校生活
(2) 食事 19夕食揃う
(3) 交流 5手伝い回数, 18家の相談, 20交友関係 27ほめる

〔3〕 子ども評価（9問）

(1) 子どもの性格 32自主性, 33積極性, 34忍耐力
(2) 接し方 22比較, 23男女, 25殴りたく, 26子の気持
(3) 悩み 21子への悩み, 40子の悩み

〔4〕 養育意識（19問）

(1) 親の生活 28TV視聴時間, 29規則生活
(2) 充実感 30充実感, 31生きがい
(3) 自己評価 35しつけ自信, 36甘い, 37世話を 38母（父）のしつけ, 39子から信頼
(4) 養育情報 41先生相談, 48しつけ学習, 49参観説明会
(5) しつけの目標 42プライド, 43子の存在, 44子へ礼 45先に挨拶, 46親に似る, 47心配症 50しつけの重点

第 I 章 中学生の意識・行動の実態

100

101

102

103

104

105

106

107

1. 学校生活

中学生の生活は、なんといっても学校が中心である。ところが、受験競争、校内暴力、いじめなど、中学生の学校生活には、とかく暗いイメージがつきまどっている。しかし、実際は、楽しい学校生活を送っている中学生は少なくない。

ここでは、「勉強」、「友人」、「クラスにおける活動」という3つの項目について、中学生がどのような学校生活を送っているかについて調査してみた。

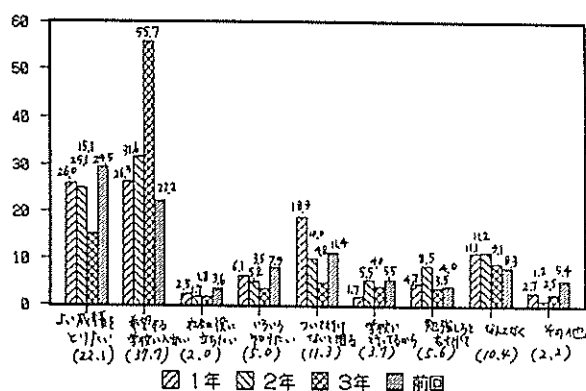
(1) 勉強

中学生にとって、勉強はとても大きな関心事である。それは、自分の進路を選択し決定することと大きく関わっているからである。ところが勉強に対しては、「勉強はしたくないが、しなければ・・・」というのが多くの中学生の感想のようである。中学生は、どういう意識や態度で勉強にのぞんでいるのだろうか。

「あなたが、ふだん勉強するのはどうしてですか」という問に、最も回答が多かったのは、図1-1に示すように、中学生全体では、「希望する学校や会社に入りたから」が37.7%で、次に「よい成績をとりたから」で22.1%、「学校でみんなについて行けないと困るから」が11.3%であった。「前回調査」では、「よい成績をとりたから」が29.5%で最も高く、次に「よい学校や会社に入りたから」で22.2%であった。今回の調査では、「希望する学校や会社に入りたから」が「前回調査」と比べて約15%増えている。これを学年別にみると、どの学年も「希望する学校や会社に入りたから」が最も高く、

図1-1

「あなたが、ふだん勉強するのはどうしてですか」

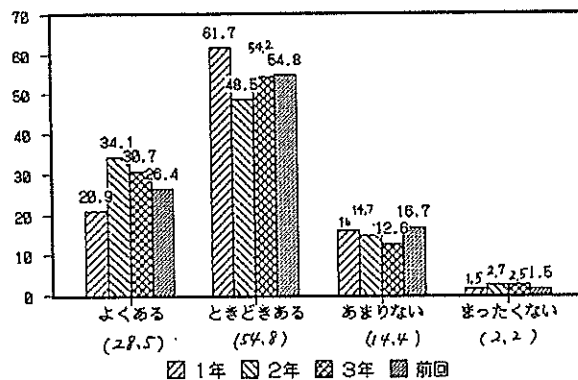


その割合は、1年生で26.3%、2年生で31.6%、3年生で55.7%となり、学年が進むにつれて進路決定の時期が間近に迫ることから高くなっている。

それでは、勉強に対する理解度はどうであろうか。「あなたは、学校の勉強でわからないことがありますか」という問に対して、図1-2に示すように、「よくある」が28.5%、「ときどきある」が54.8%であり、あわせて83.3%の中学生が、勉強の理解が十分とはいえない状況にある。これを学年別にみると、わからないことが「よくある」が1年生で20.9%、2年生で34.1%、3年生で30.7%であった。「前回調査」では「よくある」が1年生で18.2%、2年生で27.8%、3年生で32.1%となり、今回の調査と比べると2年生で増加がみられる。また、男女別では女子の方にわからないことがある割合が高い。

図1-2

「あなたは、学校の勉強でわからないことがありますか」



ところで、こうした勉強への理解度は、意欲と決して無関係ではない。「あなたは、学校の勉強についてどう感じていますか」という問について図1-3をみると、「とてもやる気がある」が10.6%「まあまあやる気がある」が59.1%であり、あわせて69.7%であった。「前回調査」では、あわせて66.3%であり若干増えている。勉強の理解度との関連でみたとき、やる気はあるが理解するまでにはいたっていないことがうかがえる。学年別では、「やる気がある」が1年生で74.9%、2年生で61.2%、3年生で72.8%となった。「前回調査」では、1年生が75.7%、2年生が62.8%、3年生が61.7%というように学年が進むにつれて減少傾向にあったが、今回の調査では、3年生の「やる気がある」が1割程度上昇し、2年生が最も低くなった。

わからないところをどれだけ反復したかで、勉強の理解度が増すのであるが、いったいどの程度の中学生が試験の後で間違えたところをやり直しているのだ

図 1 - 3

「あなたは、学校の勉強についてどう感じていますか」

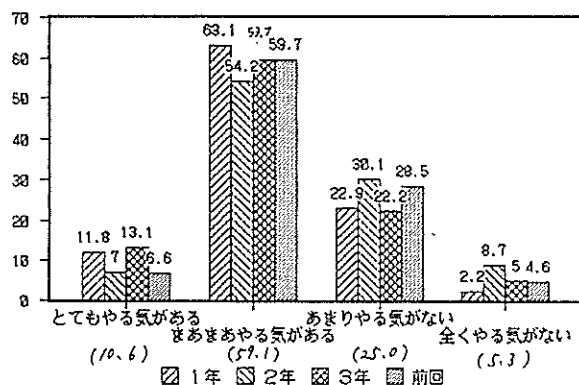
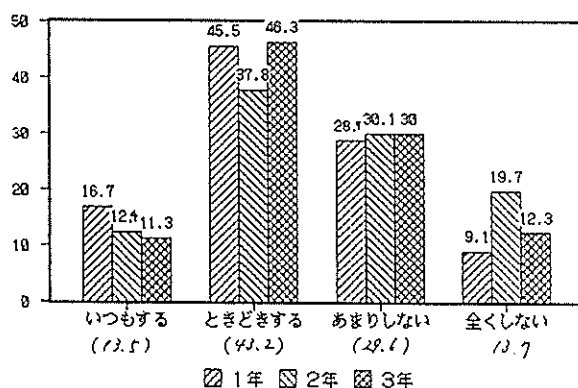


図 1 - 4

「あなたは、試験で間違えたところを、後でやり直してみますか」



ろうか。図 1 - 4 に示すように、「あなたは、試験で間違えたところを、後でやり直してみますか」という問に、「いつもする」が13.5%、「ときどきする」が43.2%となった。あわせると56.7%の中学生がやり直しをしていることになる。このことから、半数近くが試験の間違いをそのままにしており、勉強の理解度の低さにつながっていることがうかがえる。これを学年別にみると、「いつもする」「ときどきする」をあわせると、1年生が62.2%、2年生が50.2%、3年生が57.6%であった。理解度の低かった2年生が、やはりやり直しができているという結果になった。また、「全くしない」が20.0%もいることは問題である。男女別では、あわせた割合で男子が52.3%であるのに対し、女子の方が61.5%とやり直しをしている。

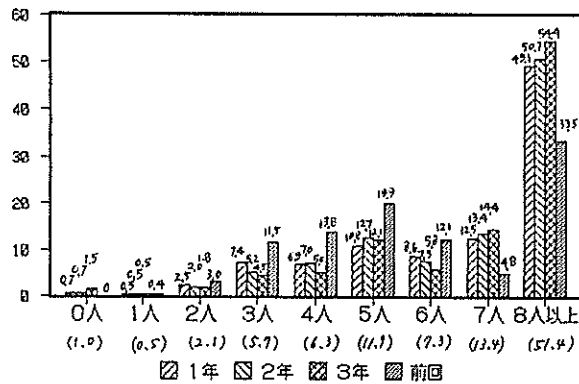
(2) 友人関係

中学生になると、友人のもち方が小学生時代と変化し、自分の生活の中で友人と係わる割合が多くなり、大きな影響を受けるようになる。

「あなたは、何人くらいの仲のよい友だちを持っていますか」とたずねた結果が、図1-5である。「8人」以上が全体の51.4%と半数以上を占めている。

図1-5

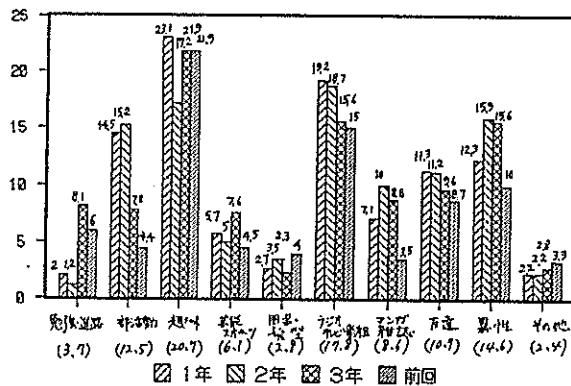
「あなたは、何人くらいの仲のよい友だちを持っていますか」



「前回調査」では、「8人」以上が33.5%であったことからすると大幅な上昇である。学年による差異はあまりないが、男女別では、男子が「8人」以上の友人を持っているものが極端に多いのに比べて、女子は、「5～6人」程度のグループを持っているものが多い。「前回調査」では、男子・女子ともに、「8人」以上の友人を持つものがそれぞれ40.5%と26.4%で最も多かった。

図1-6

「あなたの友だちの間で、よく話題になるのは何ですか」



では、そうした友人グループの中で、主として話題になるのはどんなことなのであろうか。「あなたの友だちの間で、よく話題になるのは何ですか」とい

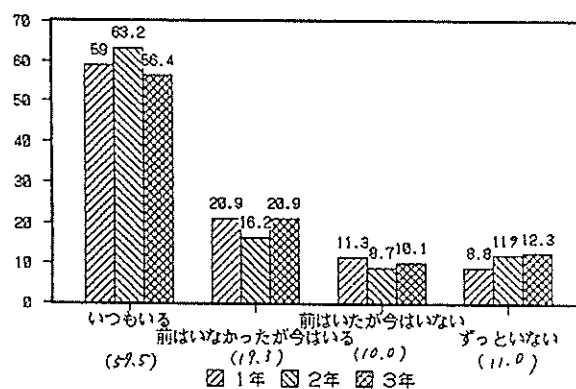
う問の結果が、図1-6である。中学生全体でみると、話題になることはさまざまであるが、その中でとくに割合の高い話題をみると、「趣味や遊びのこと」「ラジオ・テレビ番組のこと」「異性のこと」「部活動や学級でのできごと」「友だちのこと」などである。これは、「前回調査」でも同じような状況であった。なお、こうした友人グループにおける話題については学年差はほとんど認められないが、男女別にみた場合、男子では趣味や遊びの話題が中心で、女子は異性についての話題が他の話題に比べて群を抜いている。

学校生活において、親友の支えはいかに大きいものであろうか。親や教師には話さないことでも親友に相談する傾向は中学生では顕著である。

では、中学生はどの程度お互いに理解し、心をうち明けて話せる親友を持っているのだろうか。「あなたは、おたがいに理解し、心をうちあけて話せる『親友』がいますか」という問に対し、図1-7に示したように親友が「いつもいる」59.5%、「前はいなかったが今はいる」19.3%であり、この二つをあわせて「親友がいる」と答えた中学生は全体の約8割近くにのぼっており、たいへん良い傾向といえる。「前回調査」では、「親友がいる」と答えた中学生が65.2%であり、今回の調査では急激な伸びである。親友の数については調査しなかったので断定はできないが親しい友人が2～3名いて、そのうえ前述したように、それほど親しくはないが、気の合う仲間が8名以上いて一つのグループをつくり安定感を感じているといってもよさそうである。ただ、親友が「ずっといない」と答えた中学生が11.0%もいることは問題である。男女別では親友が「いつもいる」と答えた中学生がどの学年も女子の方が1割多い。

図1-7

「あなたは、おたがいに理解し、心をうちあけて話せる『親友』がいますか」

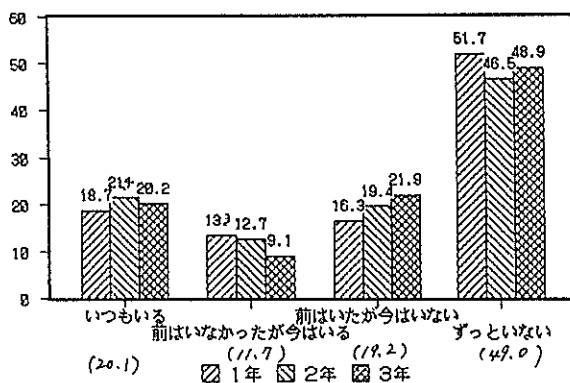


ところで、「あなたは、特定の異性の友だちがいますか」という問の結果を

示したのが、図1-8である。学年間、男女間で全く差異がなく、特定の異性の友人を持っている割合は3割程度である。これは、「前回調査」では約2割程度であったことを考えると若干ではあるが、増加している。

図1-8

「あなたは、特定の異性の友だちがいますか」

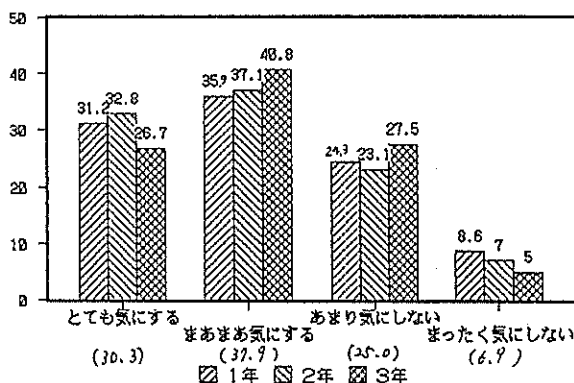


なお、中学生が友だちの目をどう意識しているのか調査してみた。

「あなたは、友だちがあなたのことをどう思っているか気にしますか」という問に対して、図1-9のように、約7割の中学生が「気にする」と答えている。学年別にみるとそう差はないが、男女別では、「とても気にする」と答えた中学生が、1年生で男子15.5%、女子49.7%、2年生で男子24.2%、女子42.1%、3年生で男子16.4%、女子37.9%というように女子のほうがどの学年でも多いことがわかる。

図1-9

「あなたは、友だちがあなたのことをどう思っているか気にしますか」

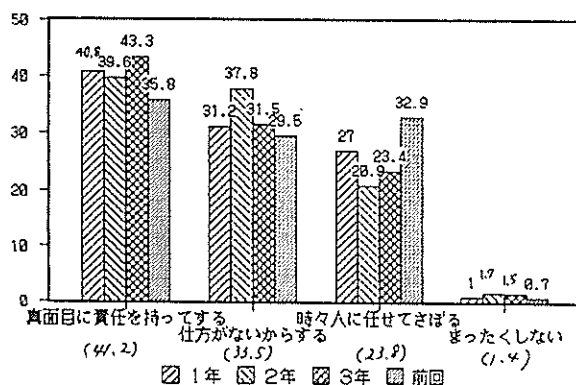


(3) クラス活動

クラスにおいて決められた仕事やクラスでの活動をすることについて中学生はどんな態度をとっているのだろうか。まず、「あなたは、掃除当番やクラスの決められた仕事をどのようにしていますか」という問によって取り組む姿勢をみてみよう。図1-10のように、全体では74.7%の中学生が、責任感のあるないは別にしてもしっかりやりとげている。学年別にみてもそう差異はない。男女別では女子の方が責任ある態度をとっているものが10%程度多い。

図1-10

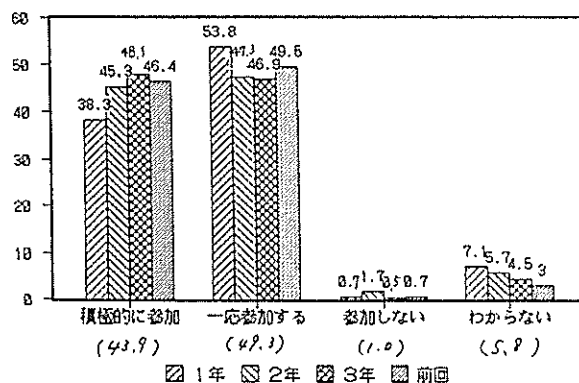
「あなたは、掃除当番やクラスの決められた仕事をどのようにしていますか」



一方、図1-11にみられるように、「あなたは、体育祭、クラスマッチ、文化祭などクラス全体で何か活動するときどのような態度をとりますか」という問に対して、ほとんどの中学生が「参加する」と答えている。なお、「積極的に参加する」が学年の進行に伴い増加しているのは「前回調査」とは全く逆の現象であり、クラス活動の重要性について意識してきたと言えるだろう。

図1-11

「あなたは、体育祭、クラスマッチ、文化祭などクラス全体で何か活動するときどのような態度をとりますか」



(4) まとめ

中学生が1日の大半を過ごす学校での生活上の諸実態を、「勉強」、「友人」、「クラスにおける活動」という項目にわたって、11の質問により調査を試みた。

まず、「勉強」については、70%近くの中学生在が、勉強への意欲があると述べた。しかし、そうした意識を持っているわりには理解度は決して十分ではなく、80%以上が、勉強がわからないことがあると答え、試験のやり直しをしていない中学生が半数近くもいるという結果が出ている。また、勉強する目的については、「希望する学校や会社にはいりたいから」が最も高く、さらに学年が進むにつれてこの理由が高くなっていることは、高校進学という現実と直面してのことと考えられる。

次に、「友人」であるが、ほとんどの中学生が仲の良い友人グループを持っており、とくに「8人以上」が半数以上を占めているのはよい傾向である。また、「親友がいる」と答えた中学生は、全体の約8割にのぼっており、友人関係がしっかりと根をはっていることをあらわしていて興味深い。また、「クラスでの活動」については、75%の中学生在が掃除当番やクラスの決められた仕事をちゃんとこなしており、体育祭やクラスマッチ、文化祭などには、ほとんどの中学生が積極的に参加している。総合的にみて、活発で楽しいクラス活動が行われていると言ってよい。中学生は勉強だけでなく、学校でのいろいろな生活体験をとおして人間的に成長していく。特に、友人や先生、その他の人々との相互行為をとおして、社会性や連帯性を形成していくことができる。この面で、1～2割程度の中学生在が親友がいない、活動に参加しないということは、なんらかの対応を考える必要があると言える。

2. 親子交流

子ども調査研究所が平成元年に首都圏の子どもを対象に調べたところでは「これからぜひやりたいこと」の第1位は、「ペットをかうこと」であった。子どもがペットに求めているものは、話し相手であり、秘密の打ち明け相手ではないだろうか。厚生省児童家庭局「児童環境調査」（平成3年）の全国調査では、中学校2年生の約2割が専用のテレビを、約6割が個室を与えられている。物質的豊かさの中で生活しながら、一人で生きることを迫られているようにもみえる中学生の状況に親はどう応え、いかに交流していけばよいのだろうか。

ここでは、子どもの視点から、「日常対話」、「親のイメージ」、「親の養育態度」の項目について親子交流の現状をみてみた。

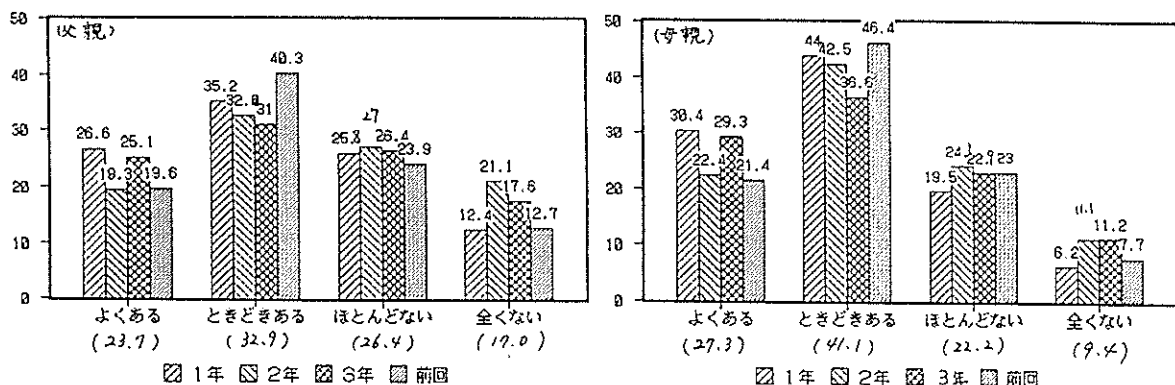
(1) 日常対話

日常、親と子でどのような対話を行っているかということは、親子の交流の様子を知る手がかりとなろう。対話といってもその内容は多岐にわたるので、ここでは対話の内容を、テレビやスポーツなどについて、将来や人生について、学校生活について、そして、性についての4つに分けて質問した。

テレビやスポーツといった一般的な話題について、「あなたは、家族の人とテレビのことやスポーツのことなどについて話すことがありますか」という問の結果を示したのが、図2-1である。話すことが「まったくない」割合は、父親が17.0%、母親が9.4%となり父親の方が高いという違いはあるが、このような話題については、父親・母親ともかなり対話をしているようである。ところで、「前回調査」と比べると、「よくある」割合は、父親で4.1%、母親で5.9

図2-1

「あなたは、家族の人とテレビのことやスポーツのことなどについて話すことがありますか。」

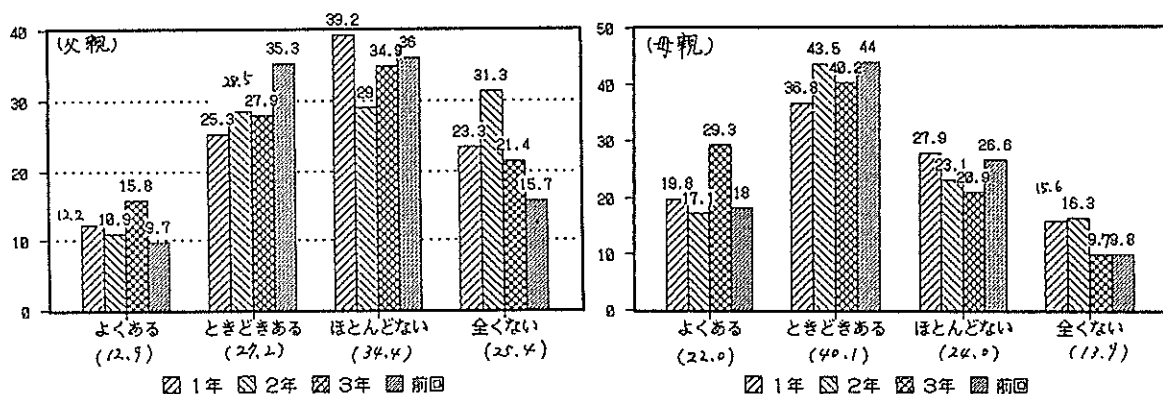


%増えているが、「まったくない」割合も、父親で4.3%、母親で1.7%増えており、少し気になるところである。

将来や人生については、図2-2に示すように、「あなたは、家族の人と将来や人生のことについて話すことができますか」という問に、テレビやスポーツといった内容に比べ、特に父親との対話の機会が減っている。ここでも、「まったくない」割合が「前回調査」に比べ、父親で9.7%、母親で4.1%ほど増えている。全体的な傾向として、学年が上がるにしたがって話す割合が高くなっている。

図2-2

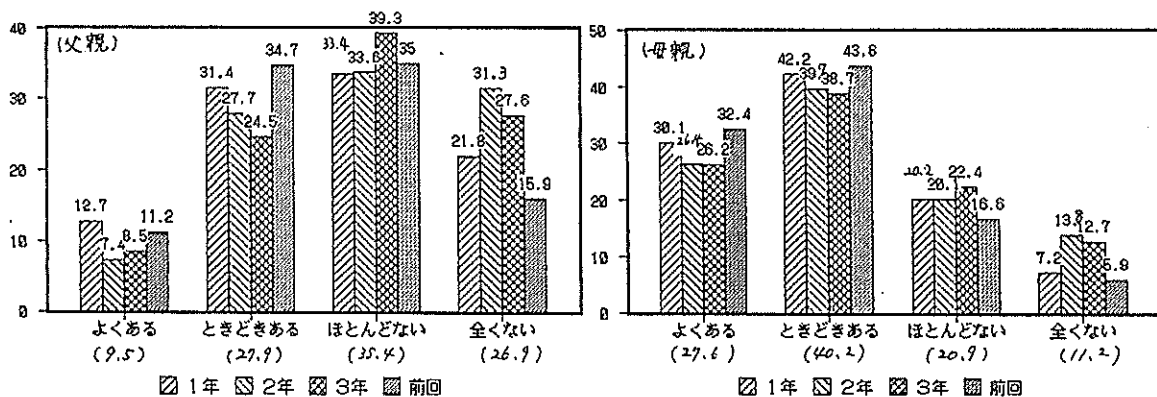
「あなたは、家族の人と将来の人生のことについて話すことができますか」



学校生活については、図2-3に示すように、「あなたは、家族の人と学校生活のことについて話すことができますか」という問に、話すことが「よくある」の割合は、母親の27.6%に対し、父親は9.5%と18.1%も低くなっている。父親と母親で対話の機会の差が大きいことがわかる。また話すことが「まった

図2-3

「あなたは、家族の人と学校生活のことについて話すことができますか」

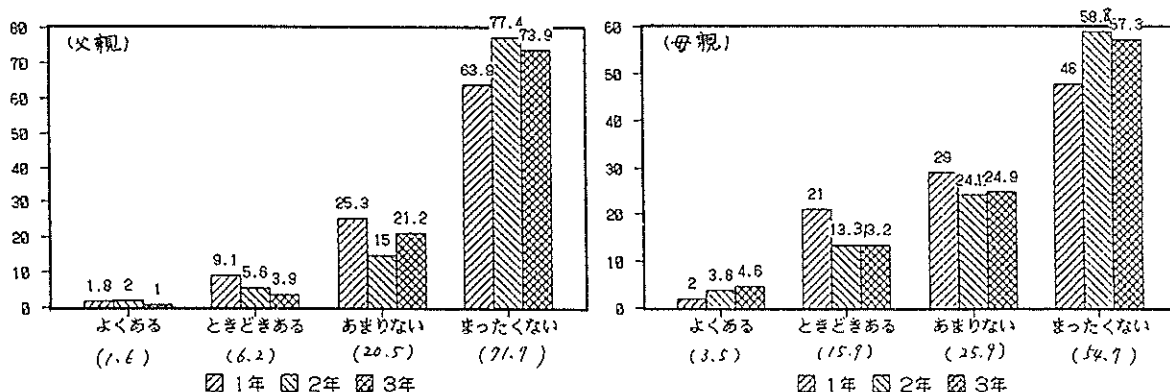


くない」の割合は、父親で26.9%、母親で11.2%であり、「前回調査」と比べると父親で11.0%、母親で5.3%増えている。これを男女別にみると、女子の方が母親と話す割合がやや高い。

次に、性については、図2-4に示すように、「あなたの家族の人は、あなたに性のことについて話してくれることがありますか」という問に、父親・母親とも対話の機会が他の内容と比べて極端に少ない。話してくれることが「よくある」の割合は、父親で1.6%、母親で3.5%と低い。性の問題こそ身近な親からという期待と親子の性に関する対話の状況との間には、大きな隔たりがあるようである。男女別にみると、女子は母親と話す割合が父親に比べて高い。

図2-4

「あなたの家族の人は、あなたに性のことについて話してくれることがありますか」



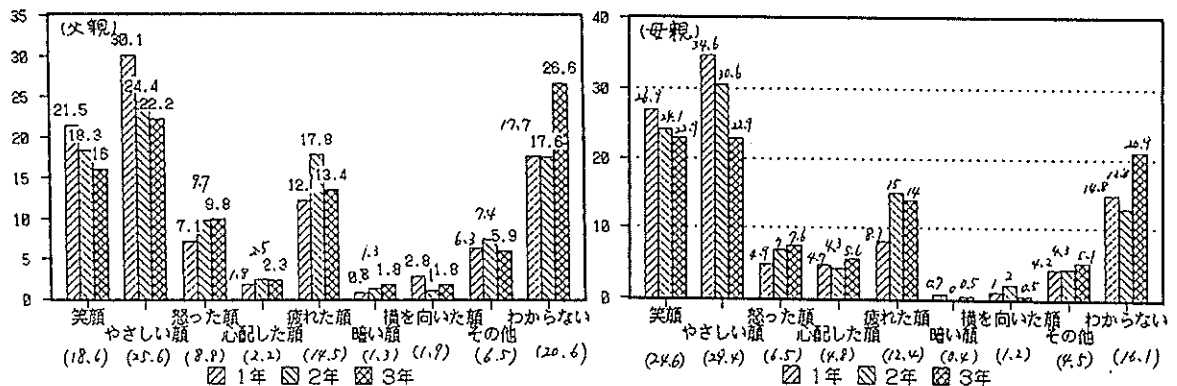
(2) 親のイメージ

中学生にとって、自分の父親や母親はどのような存在なのであろうか。ここでは、親と聞いて思い浮かべる顔、親の信頼度、親の存在の3つの点から探ってみた。

まず最初に、親と聞いて思い浮かべる顔については、「あなたの家族の顔を思い浮かべてください。どんな表情をしていますか」という問に対し父親・母親ごとに示したものが、図2-5である。父親・母親に対する最も高い顔のイメージは、「やさしい」でそれぞれ25.6%と29.4%となった。次に、父親は「わからない」で20.6%、母親は「笑顔」で24.6%となり、3番目は、父親は「笑顔」で18.6%、母親は「わからない」で16.1%であった。中学生にとって最も身近に存在する父親・母親のイメージが、「わからない」と答えたのは問題であろう。4番目は、父親・母親とも「疲れた顔」でそれぞれ14.5%と12.4%となり、親の多忙さがうかがわれる。

図 2-5

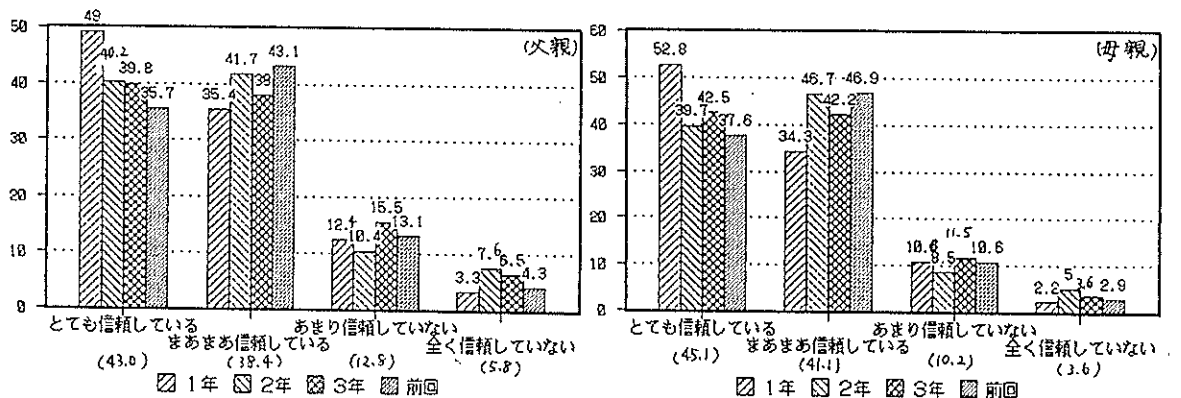
「あなたの家族の顔を思い浮かべてください。どんな表情をしていますか」



次に、親への信頼度では、「あなたは、家族の人のことをどう思っていますか」という問いに対し、父親・母親ごとに示したものが、図 2-6 である。「とても信頼している」「まあまあ信頼している」をあわせると、父親で81.4%、母親で86.2%となり、全体の8割以上の中学生は、親に対して信頼を寄せている。その反面、「まったく信頼していない」割合も、父親で5.8%、母親で3.6%認められた。「前回調査」では、父親が4.3%、母親が2.9%であり、今回の方が若干であるが増加している。

図 2-6

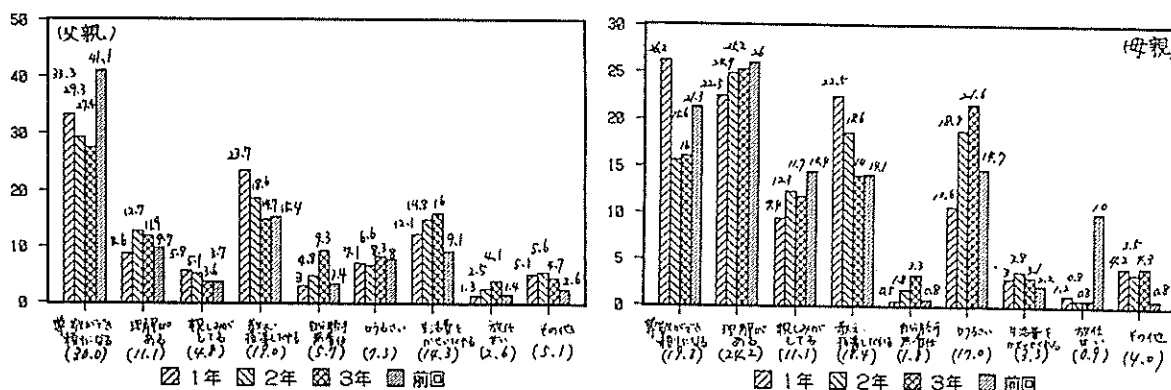
「あなたは、家族の人のことをどう思っていますか」



それでは、中学生は、親をどのような存在としてみているのだろうか。「あなたにとって、家族の人はどのような存在ですか」という問いに対し父親・母親ごとに結果を示したものが、図 2-7 である。父親の存在については、第一番目が「尊敬できたよりになる人」で30.0%、次に「いろいろ教え指導してくれる人」で19.0%、第三番目が「生活費をかせいでくれる人」で14.3%となった。

図 2-7

「あなたにとって、家族の人はどのような存在ですか」



母親の存在については、第一番目が「理解のある人」で24.2%、次に「尊敬できたよくなる人」で19.3%、第三番目が「いろいろ教え指導してくれる人」で18.4%、次いで「口うるさい人」で17.0%となった。父親・母親を比較して特徴的な違いをみてみると、父親に対しては、尊敬できいろいろ教え指導してくれる人であると同時に、生活費をかさいでくれる人というイメージであり、母親に対しては、理解がありいろいろ教え指導してくれる人であるが、口うるさい人というイメージがあるようだ。「前回調査」と比べると、父親・母親とも順位の変化はないが、父親では、「尊敬できたよくなる人」が11.1%減少し、「生活費をかさいでくれる人」が逆に5.2%増加した。母親では、「理解のある人」「尊敬できたよくなる人」は若干減少したが、「いろいろ教え指導してくれる人」が4.3%、「口うるさい人」が2.3%増加した。

(3) 親の養育態度

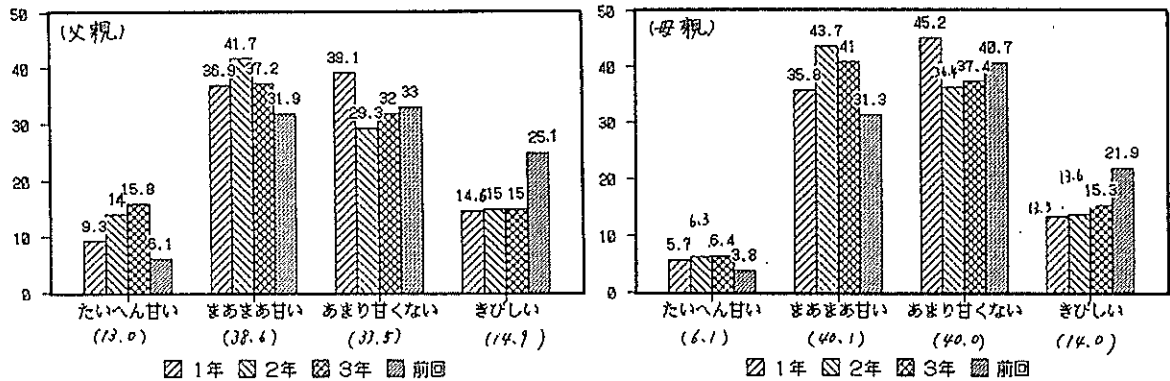
現在、親は中学生に対してどのような態度をとっているのでしょうか。ここでは養育態度を、中学生にとって親は甘いか、どのようなことでしかられるか、しかられて家を出ようと思ったことがあるか、手伝いをすると感謝されるか、親は先生への不満を子どもの前でいうかといった5つの視点からみてみた。

日常的な養育態度をみるため、「あなたの家族の人は、あなたに対して甘い方だと思いますか」という問いに対し、父親・母親ごとに結果を示したのが、図2-8である。「たいへん甘い」「まあまあ甘い」をあわせると父親で51.6%、母親で46.2%となり、父親の方が中学生に対して比較的甘いということがうかがえる。「前回調査」と比べると、父親で13.6%、母親で11.1%増加している。男女別にみると父親に対し、「たいへん甘い」と答えているのは、男子が10.1

％、女子が16.2％であり、母親の男子7.2％、女子4.9％に比べ高い割合である。特に父親は、女子に対して「前回調査」と同様に甘くなる傾向にある。

図2-8

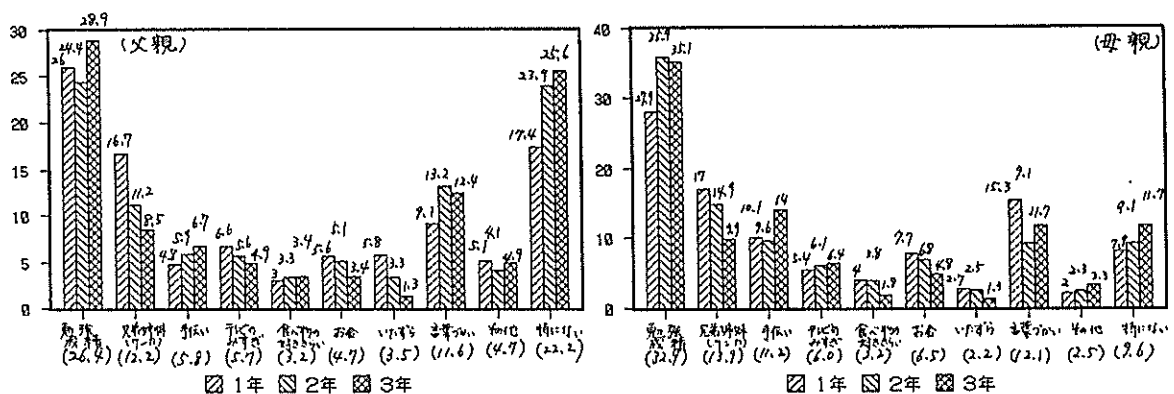
「あなたの家族の人は、あなたに対して甘い方だと思いますか」



子どもは、どのようなことでしかられるのであろうか。ここでは、「あなたが家族の人にきびしくしかられたり、注意されたりするのはどのようなことですか」という問いに対し、父親・母親ごとに結果を示したのが、図2-9である。

図2-9

「あなたが家族の人にきびしくしかられたり、注意されたりするのはどのようなことですか」



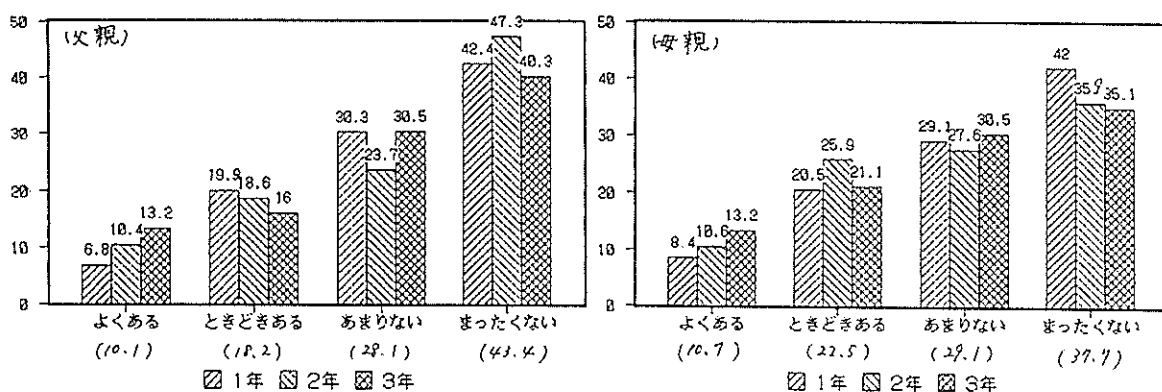
父親・母親とも最も多いのは、「勉強や成績のこと」であり、父親が26.4％、母親が32.9％である。次に、父親が「特にない」で22.3％、母親が「兄弟姉妹のこと」で13.9％である。次いで、父親が「兄弟姉妹のこと」で12.2％、母親が「ことばづかい」で12.1％となった。家庭において甘い親が増加する一方で、勉強に関してはきびしいということがうかがえる。親全体で見ると、「特にない」が15.9％となり、「前回調査」と比べると、13.0％も割合が高くなっている。特に、父親にその傾向が強い。さらに、男女別にしてみると、父親・母親

ともに、男子では「勉強や成績のこと」で、女子でもやはり「勉強や成績のこと」であるが特徴的なのは「家業や家事の手伝い」「ことばづかい」の割合が女子で高く、親の男子・女子による養育態度の違いがうかがえる。

次に、子どもは親からしかられるとどのような思いを持つのであろうか。「あなたは、家族の人にしかられて家を出てしまおうと思ったことがありますか」という問に対し、父親・母親ごとに結果を示したのが、図2-10である。父親では、「よくある」の割合が10.1%、「ときどきある」の割合が18.2%であり、あわせると28.3%となった。母親では、「よくある」の割合が10.7%、「ときどきある」の割合が22.5%であり、あわせると33.2%となった。父親より母親からしかられた方が、やや家を出たいと思うようである。男女別にみると、男子では、「よくある」「ときどきある」をあわせると父親が24.3%、母親が26.4%となった。女子では、同じく父親が32.9%、母親が40.8%となった。男子よりも女子の方がその割合は高くなった。

図2-10

「あなたは、家族の人にしかられて家を出てしまおうと思ったことがありますか」



自分のとった行動で他人に感謝されたり、評価されたりすることは、次の行動や意欲につながるのであるが、実際、家や学校の手伝いをして感謝されているのであろうか。「あなたは、家や学校で手伝いをして、ありがとうと言われたことがありますか」という問に対し、結果を示したのが図2-11である。約8割の子どもが「ありがとう」とそれなりの評価を受けているのに対し、約2割は手伝いをして評価を得ていないことがうかがえる。

最後に、親の先生に対する態度について、「あなたは、家族の人が先生に対する不平・不満・批判を言うのを聞いたことがありますか」という問に対し、結果を示したのが、図2-12である。父親では、「よくある」の割合が4.2%、

図 2-11

「あなたは、家や学校で手伝いをして、ありがとうと言われたことがありますか」

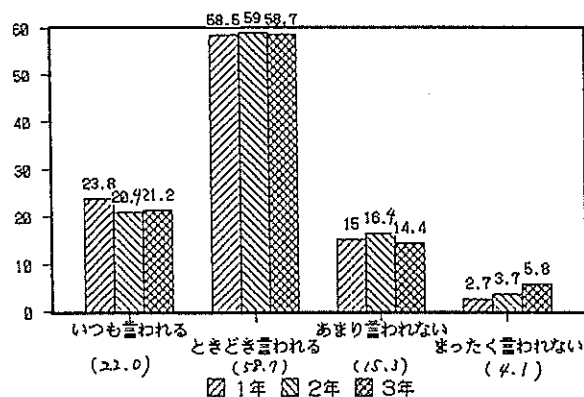
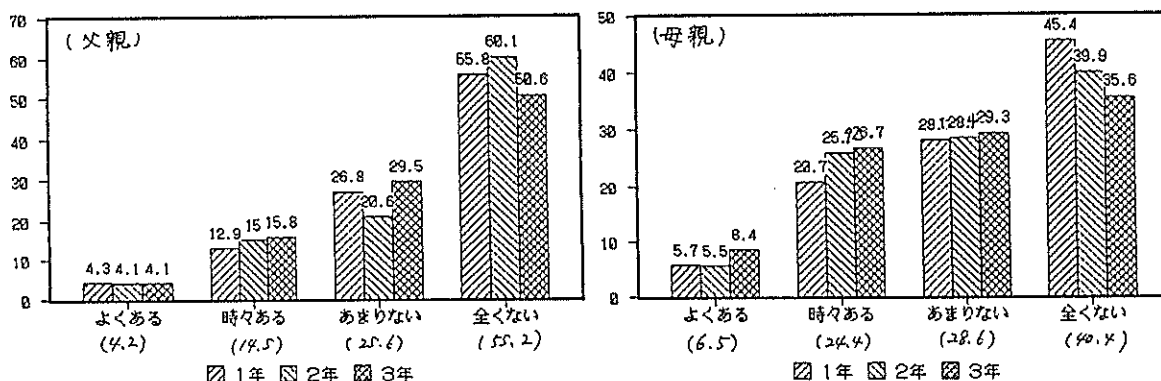


図 2-12

「あなたは、家族の人が先生に対する不平・不満・批判を言うのを聞いたことがありますか」



「ときどきある」の割合が14.5%であり、あわせると18.7%となった。母親では、「よくある」の割合が6.5%、「ときどきある」の割合が24.4%であり、あわせると30.9%となった。父親よりも母親の方が、先生への不満などを言っているようである。「前回調査」では、父親母親全体で「よくある」「ときどきある」あわせると28.3%であったが、今回は、24.9%であり少々減少した。

(4) まとめ

親子交流について、(1)日常対話、(2)親のイメージ、(3)親の養育態度の3つの項目で中学生の視点から検討をしてきたが、ここでは、全体的な傾向を3点にまとめることにする。まず第1は、親の養育態度について「前回調査」に比べ「厳しさ」が減り、「甘さ」が増えていることである。叱られない中学生も増加している一方で、厳しさは、特に勉強や成績に向けられる傾向がみられる。中学生にとっては、母親から叱られることがより深刻のようである。第2は、

日常対話について、父親と話しを「よくする」割合が、「前回調査」に比べ増える項目もあるが、親子の交流が「まったくない」割合の増え方が大きいことである。第3は、親のイメージについて、やさしく笑顔の親を信頼し、尊敬できて頼りにして、理解してもらっているという割合が、「前回調査」に比べて減る傾向にあることである。一方で、信頼できず尊敬もできなくて、口うるさく生活費をかせいでくれるだけで、顔もよく思い出せないという割合が増えている。中学生にとって、親が少しずつ離れていくような存在になっている。親離れしていることとは性質を異にする。親は、子どもが成長するにつれて保護者からモデルとしての親へ変身しなければならないが、それができないでいるようである。

3. 家庭生活

中学生の家庭生活はどんなものであろうか。数年前、「家庭での親子の会話が
ない」「ラジオを聴きながら勉強をしている」など、家庭生活の問題が提起され
ていた。

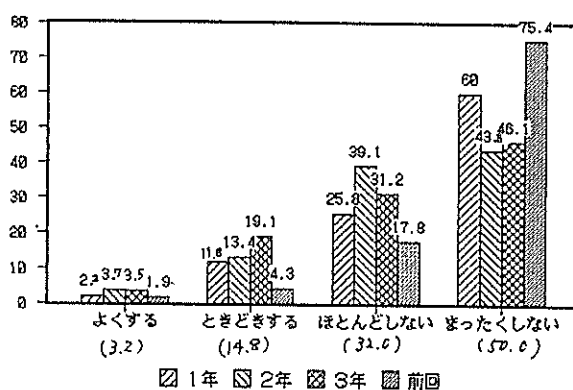
ここでは、その後どのような変化があるのかを、「生活習慣」、「家庭学習」、「テ
レビ等の視聴」に関して、「前回調査」との比較をしながら中学生像を明らかに
していくことにする。

(1) 基本的生活習慣

中学生は、いったいどの程度時間を守っているのでしょうか。「あなたは、
学校に遅刻をしますか」という問の結果を示したのが、図3-1である。学年
全体では、「まったくしない」が50.0%であった。「前回調査」では、「まっ
たくしない」が75.4%であり、今回は学校へ遅刻する中学生が急増しているこ
とがうかがえる。学年別にみると、「よくする」「時々する」をあわせると、1
年生では14.0%、2年生では17.1%、3年生では22.6%となり、学年の進級に
ともなって遅刻が増加傾向にある。また、男女別にみると、「よくする」「とき
どきする」をあわせると、男子が21.6%女子が13.8%になり、女子に遅刻が少
ない。

図3-1

「あなたは、学校に遅刻をしますか」



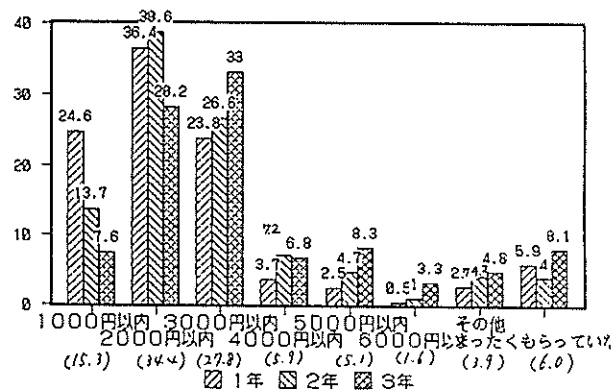
次に、金銭感覚として、「あなたがもらうこづかいは月平均いくらですか」
という問に対して、図3-2にみられるように、一年生では「2,000円以内」
が36.4%で最も多く、「1,000円以内」「3,000円以内」の順である。また、2年
生でも同様に「2,000円以内」「3,000円以内」「1,000円以内」の順である。と

ところが3年生では、「3,000円以内」が33.0%で最も多く、「2,000円以内」「5,000円以内」の順であった。男女別に比較すると、男女とも「2,000円以内」「3,000円以内」「1,000円以内」の順で差はなかった。

傾向として、学年が進むにつれて小遣いの平均金額もあがる傾向にある。「前回調査」と比較しても、物価上昇と連動して金額は上がっているものの、この傾向は同じであった。

図3-2

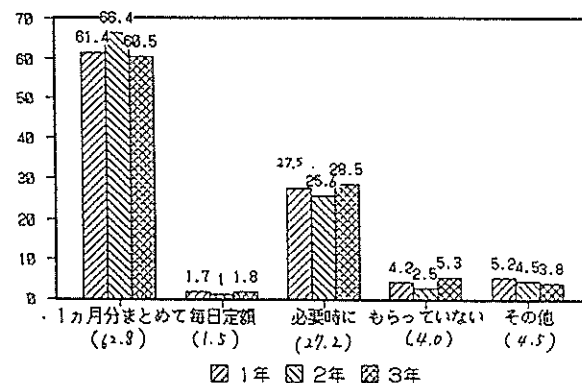
「あなたがもらうこづかいは月平均いくらですか」



それではその小遣いの貰い方について、図3-3の「あなたは、こづかいをどのようにもらっていますか」という問には、「一か月分まとめて」が62.8%、「必要時に」が27.2%となった。「まったくもらっていない」は、わずか4.0%であり、中学生の9割以上が小遣いをもらっていることになる。学年別及び男女別でもほぼ同様の傾向である。「小学生調査」では、「必要時に」が45.6%、「与えていない」が21.6%となり、3番目に「一か月分まとめて」が20.4

図3-3

「あなたは、こづかいをどのようにもらっていますか」

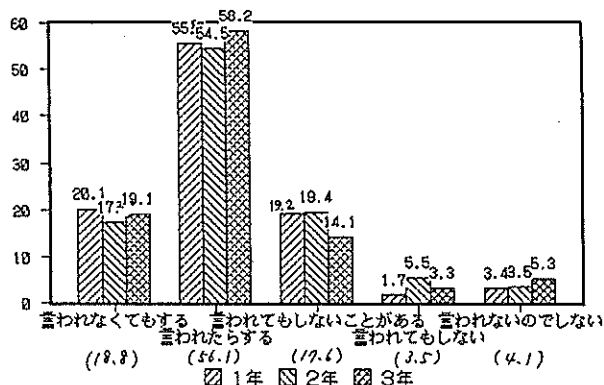


%であった。親は、こづかいを小学生のときは必要時に与え、中学生になると一か月分まとめて与えているようである。

次に、労働の意識（手伝い）に関しては、「あなたは、家の手伝いをしていますか」という問に対して、図3-4に示すように、最も多かったのが「言われたらする」で56.0%、次に「言われなくてもする」が18.8%、次に「言われなくてもしないことがある」17.6%、「言われなくてもしない」が4.1%、「言われてもしない」が3.5%の順であった。74.9%の中学生が何らかの形で家の手伝いをやっている。学年別にみると、「言われなくてもする」「言われたらする」をあわせると、1年生が75.7%、2年生が71.7%、3年生が77.3%となり、2年生が少ないもののあまり差がない。「前回調査」との項目を変えたため比較ができないが、今回調査の特徴として、男子に「言われなくてもしない」5.8%、「言われてもしない」4.4%、あわせて10.2%がしていない状況にある。一方女子では、同様にあわせると4.5%で、男女の差が出ている。この違いは、「言われなくてもする」の割合が女子に多いということにも反映している。

図3-4

「あなたは、家の手伝いをしていますか」



次に、栄養剤や薬の服用について、「あなたは、近ごろ栄養剤や胃薬を飲んだことがありますか」という問に対して、図3-5からわかるように「まったく飲んでいない」が69.5%となった。また、「ときどき飲んでいる」が27.0%、「毎日飲んでいる」が3.5%であり、あわせると30.5%が栄養剤や薬の服用をしていることがわかった。学年別にみても、「まったく飲んでいない」の割合が、1年生で70.5%、2年生で71.6%、3年生で66.2%となり、3年生で少し減少している。男女の差はほとんどないようである。

最後に、家庭生活への満足度に関して、「あなたは、家庭生活に満足してい

図 3-5

「あなたは、近ごろ栄養剤や胃薬を飲んだことがありますか」

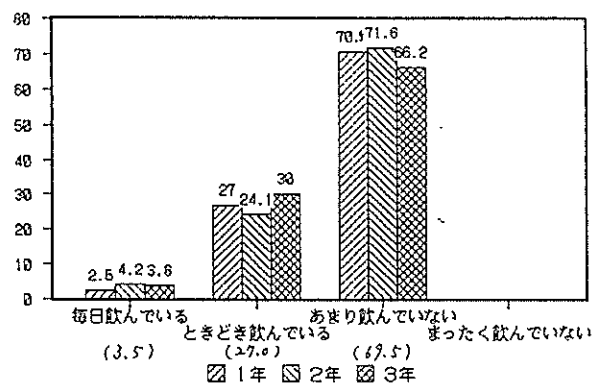
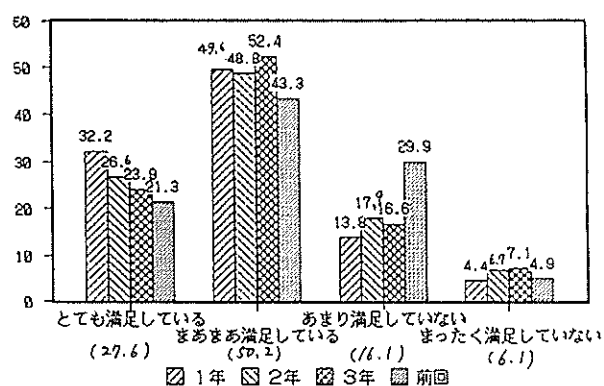


図 3-6

「あなたは、家庭生活に満足していますか」



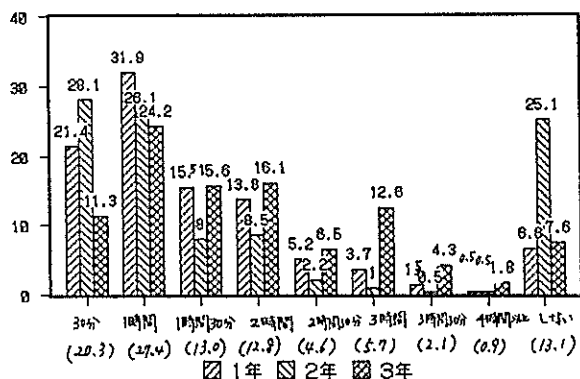
ますか」に対しては、図 3-6 に示されるように、「とても満足している」が27.6%で「まあまあ満足している」が50.2%、あわせると77.8%となる。「前回調査」では64.6%であり、増加している。学年別にみると、「とても満足している」「まあまあ満足している」をあわせて、1年生が81.8%、2年生が75.4%、3年生が76.3%となり、1年生に満足しているものが多い。また、男女別では、「とても満足している」について、男子が26.2%、女子が29.2%で、女子に満足している者がわずかに多い。また、「あまり満足していない」「全く満足していない」をあわせると、男子では20.3%、女子では24.1%と、この傾向は女子に強い。

(2) 家庭学習

家庭学習の時間に関して、「あなたは、ふだん家庭で平均して1日どのくらい勉強していますか」という問の結果を示したのが、図 3-7である。全体では、「1時間程度」が27.4%、「30分程度」が20.3%、「まったくしてない」

図3-7

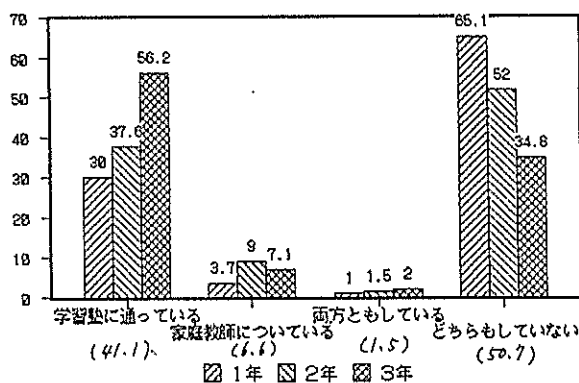
「あなたは、ふだん家庭で平均して1日どのくらい勉強していますか」



が13.1%の順となった。学年別でみると、1年生では「1時間程度」を中心に「30分程度」「1時間30分程度」が多く、2年生では「30分程度」「1時間程度」「まったくしていない」が多くて、3年生では「1時間程度」を中心に「2時間程度」「1時間30分程度」の順になった。このことから、受験をひかえた3年生と中間期にあたる2年生の学習時間に差があることがわかった。全体的な傾向としては、学習時間が少ないように感じられるが、これは学習塾等での学習時間が含まれていないのでこのような結果になったものと考えられる。

図3-8

「あなたは、今学習塾に通ったり家庭教師についたりしていますか」



それでは、塾・家庭教師の状況を見てみたい。「あなたは、今学習塾に通ったり家庭教師についたりしていますか」という問いに対して、図3-8に示すように、「学習塾に通っている」が41.1%、「家庭教師についている」が6.6%、「両方ともしている」が1.5%となり、あわせて49.2%の中学生が塾や家庭教師についていることがわかった。そこで、少し項目が違っているが、「前回調査」

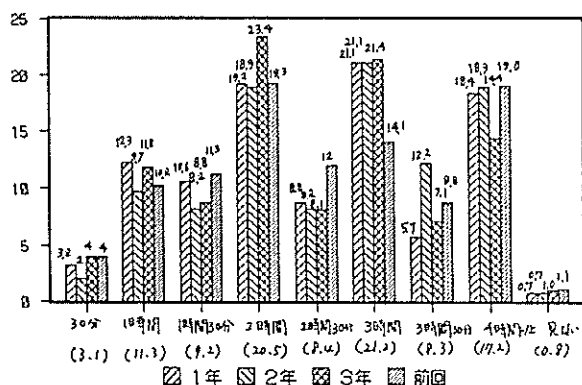
では、「学習塾に通っている」が36.5%、「家庭教師についている」が5.6%であり、比較すると学習塾が4.6%、家庭教師が1.0%増加している。また、「学習塾に通っている」を学年別にみると、3年生の方が1・2年生より高い数値を示している。特に、「前回調査」の3年生は38.5%であったので17.7%も増加している。男女別にみると、男子の通塾率は44.3%、女子は37.6%で男子の方が高い。

(3) テレビ・ラジオの視聴

テレビの視聴時間について、「あなたは、平均してテレビを1日どのくらいみていますか」という問の結果を示したのが、図3-9である。「3時間程度」が21.2%、「2時間程度」が20.5%、「4時間以上」が17.2%の順になっている。全体的にみると、「3時間」以上テレビをみている中学生が46.7%おり、「前回調査」と比べると4.8%増加している。逆に、「まったくみていない」は、「前回調査」より0.3%減少している。テレビが、中学生の生活の中に浸透していることがうかがえる。学年別にみると、「3時間」以上は、1年生で45.2%、2年生で52.2%、3年生で42.9%となり、3年生になると視聴時間が減少している。同様に男女別でみると、男子が44.7%、女子が49.0%となり女子の方がやや多いようである。

図3-9

「あなたは、平均してテレビを1日どのくらいみていますか」

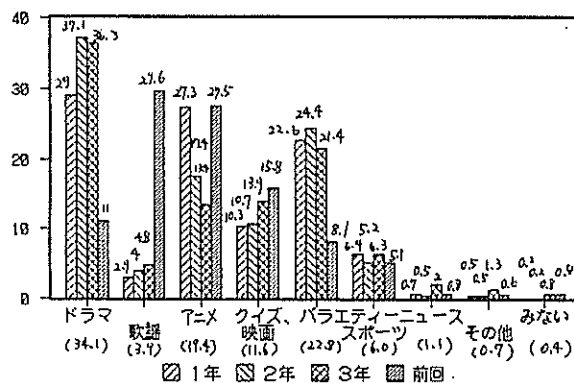


では、どんな番組を好んで視聴しているかについて、「あなたは、どんなテレビ番組をみますか」という問の結果を示したのが、図3-10である。「一番よくみる番組」のみをみると、「ドラマ」が34.1%、「クイズ・バラエティー」が22.8%、「マンガ・アニメーション」が19.4%の順となった。「前回調査」では、「歌謡」が29.6%、「マンガ・アニメーション」が27.5%、「映画」が15.8

%の順で多く、「ドラマ」「クイズ・バラエティー」は、それぞれ11.0%、8.1%と少なかった。男女別にみると、男子では「クイズ・バラエティー」が28.6%、「マンガ・アニメーション」が24.1%と多く、女子では「ドラマ」が55.1%と半数以上となった。「前回調査」では、男子では「マンガ・アニメーション」が33.2%、「映画」が23.6%と多く、女子では「歌謡」が45.1%、「マンガ・アニメーション」が21.8%と多かった。こうしてみると、番組視聴の嗜好がかなり変化していることがうかがえる。また、女子の「ドラマ」以外は大きな数値を示した項目がなく、番組視聴の多様化もあらわれてきている。

図3-10

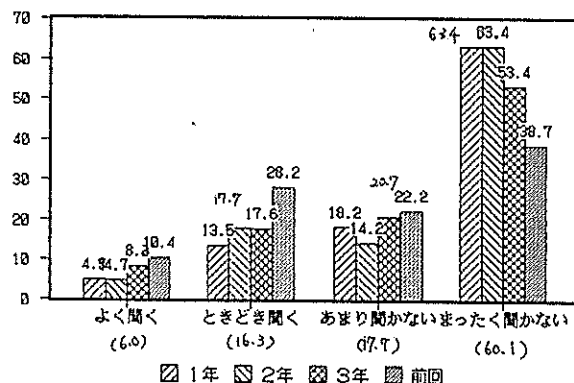
「あなたは、どんなテレビ番組をみていますか」



次に「あなたは、ふだんラジオの深夜放送を聞きますか」という問に対しては、図3-11にみられるように、「まったく聞かない」が60.1%「あまり聞かない」が17.7%、「ときどき聞く」が16.3%、「よく聞く」が6.0%となった。

図3-11

「あなたは、ふだんラジオの深夜放送を聞きますか」



これを大きく分けると「聞かない」が77.8%、「聞く」が22.3%となる。「前回

調査」では、「聞かない」が60.9%、「聞く」が38.6%であったので、聴取率は大幅に減少したことになる。学年別にみると、「聞く」割合は、1年生で18.4%、2年生で22.4%、3年生で25.9%と学年が進むにつれて多くなっている。このことは、「前回調査」でも同様な傾向であったが、各学年ともそれぞれ7.0%、14.5%、25.3%減少している。特に、3年生の「聞く」は、「前回調査」で51.2%であったことからすると大幅な減少である。男女別での差はあまりみられなかった。

(4) まとめ

家庭生活に関して、「基本的な生活習慣」、「家庭学習」、「テレビ・ラジオの視聴」という3つの分野についてみてみた。すでに言われていることではあったが、「学習塾」「家庭での勉強」「テレビ」と忙しい毎日を過ごしている中学生の姿があらためて確認された。

中学生像の特徴として、以下の3項目があげられる。第1に、遅刻するものが増えたことであらわれている基本的な生活習慣の乱れである。第2に学習は学校や塾でやるもの、家はテレビを見るところという固定化のあらわれである。第3に、テレビ番組の視聴調査にみられるバラツキから、嗜好の多様化である。

このことは、家庭が中学生にとっても睡眠と休息だけの場になり、必ずしも広い意味での学びの場ではなくなってきたことをうかがわせる。家庭生活における体験学習の基本は、「自分がする」ことにある。勉強の面でも自分でやってみることに効果が期待できるはずだが、学校や特に塾での受身の効率だけを追いかけている。手伝いの面でも、言われたらする中学生が多いのは、家庭を自分にとって生活の場とっていないことを示している。中学生にとっては、家庭は生活者としての能力を習慣として身につけながら、一方で、学びと安らぎの生活リズムを確立する場であることを再確認するときである。

4. 地域生活

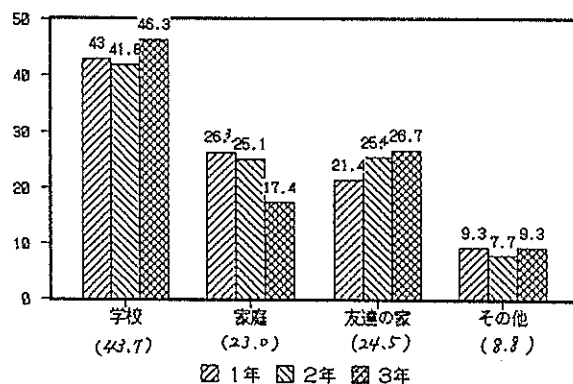
中学生が、学校や家庭という生活の場を離れたとき、その過ごし方や関心の持ち方は個人としての裸の姿を現す。その姿は、社会の中で孤立した存在になった中学生の姿でもある。ここでは、そのような中学生の生活を地域という社会での姿とみなして、「帰宅後や休日の過ごし方」、「関心の方向」について実態を探ることとする。

(1) 自由時間の過ごし方

中学生にとって一番楽しいと感じる場所はどこであろうか。「あなたはどこにいる時に楽しいと感じることが多いですか」という問いに対して、図4-1のように、全体ではやはり、中学生の生活の中心である「学校」が一番多く43.7%、次に、「友だちの家」24.5%であり、「家庭」が楽しいと感じているのは23.0%である。「前回調査」でも、「学校」の割合が最も高かったが、今回は15.9%減少している。中学生にとって少しずつ学校が楽しい場所ではなくなっているのだろうか。学年別にみた結果は、1年生の場合、「学校」43.0%、「家庭」26.3%「友だちの家」21.4%であり、まだ「家庭」の比重が大きい。これが2年生になると、「学校」41.8%、「友だちの家」25.4%、「家庭」25.1%となっており、「家庭」よりも「友だちの家」のほうが若干ではあるにしても多くなっている。さらに3年生になると、「学校」46.3%、「友だちの家」26.7%、「家庭」17.4%であり、「家庭」を楽しいと感じる中学生が少なくなっていることがわかる。男女別にみると、「学校」が楽しいと感じている中学生が、1年生男子33.6%、女子54.0%、2年生男子33.8%、女子50.3%、3年生男子38.2

図4-1

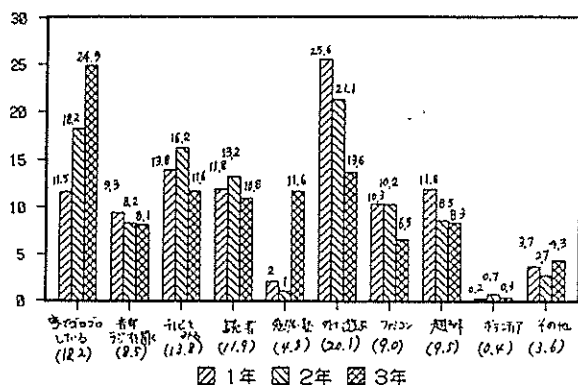
「あなたは、どこにいる時に楽しいと感じることが多いですか」



%、女子55.3%という状況にあり、どの学年も女子のほうが「学校」が一番楽しいと答えている。

図4-2

「あなたは、休日をどのように過ごしていますか」



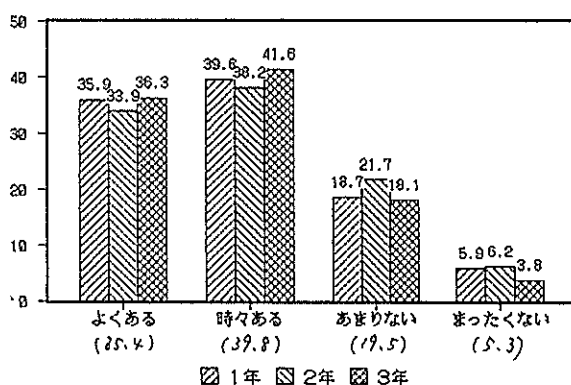
では、中学生が休日にどんな過ごし方をしているかみてみよう。最もよくしている内容について図4-2に示したが、それによると一番多いのが、「スポーツなどして外で遊ぶ」というもので全体の20.1%を占めている。これは「前回調査」では、男女別の調査であるが、男子が6.7%、女子が3.5%であった。それから考えると、最近の野球やサッカーなどスポーツの普及に影響されるところ大であろうと思われ、脅威的な伸びを示している。次いで、「家でなんとなくゴロゴロしている」が18.2%、「テレビを見る」が13.8%といった状況であり、これら3つの内容だけで全体の半数以上を占めている。スポーツをすることについては、たしかに活動的と言えるが、家でゴロゴロしたりテレビを見たりして過ごしていることはあまり活動的とは言えない。学年別にみると、特徴的なことは、「家でなんとなくゴロゴロしている」が1年生11.5%、2年生18.2%、3年生24.9%となり、学年が進むとともに増加していることである。男女別では、1年生の場合、男女とも「スポーツなどして外で遊ぶ」が最も多い。それが2年生・3年生になると、男子ではやはり「スポーツなどして外で遊ぶ」が多いが、女子では「家でなんとなくゴロゴロしている」が多いという結果になった。

次に、中学生の社会性がどう身についているかを調査するものとして、「あなたは、となり近所の大人の人たちとあいさつしたり、話をしたりすることがありますか」と質問してみた。近所の人たちへのあいさつや話しかけは大人にとっても易しいことではない。図4-3のように、「よくある」35.4%、「時々

ある」39.8%をあわせて全体では75.2%の中学生が、となり近所の大人の人たちとあいさつをし、話をしているというよい傾向があらわれている。学年別では、1年生で「よくある」「ときどきある」をあわせて75.5%、2年生をあわせて72.1%、3年生をあわせて77.9%が近所の人へのあいさつをし話をしている。男女別では、あわせた割合が男子が70.5%、女子が80.1%と女子の方が多くなっている。ところで、あいさつをかわすということは、社会の一員として最も基本的な生活習慣であることを考えると、「あいさつをしない」と答えた中学生が24.8%いることには注目しておかなければならない。

図4-3

「あなたは、となり近所の大人の人たちとあいさつしたり、話をしたりすることがありますか」



(2) 関心

中学生が、異性、音楽、服装や髪型、性、流行に対してどのような関心を持ち、どう考えているのかみてみたい。

まず、「あなたは、異性に関心がありますか」とたずねたが、図4-4のように、「とてもある」13.1%、「まあまあある」45.3%、をあわせて58.4%の中学生が関心があると答えている。「前回調査」では、関心が「ある」の割合が60.3%であり、今回とあまり差異はないようである。学年別にみると、「とてもある」「まあまあある」をあわせて1年生49.7%、2年生58.0%、3年生67.7%、というようにやはり3年生が最も高い。男女別では、「ある」割合は男子が51.4%、女子が66.1%であり女子の方が異性への関心が高い。

それでは、性に関してはどうだろうか。「あなたは、性について関心がありますか」の間に対する結果をまとめたのが、図4-5である。48.6%の中学生が関心の度合いの違いはあれ、「関心がある」と答えている。「前回調査」の割合は、50.5%でありほとんど差異はない。これを学年別にみると、1年生42.5

%、2年生46.7%、3年生56.6%というようにやはり学年が進むにつれて関心が高くなっていく。この学年変化は、「前回調査」では、1年生36.2%、2年生47.0%、3年生65.7%と急増していた。男女別では、関心があるのは男子が43.8%女子は、53.8%であり、女子の方が関心を持っている。

図4-4

「あなたは、異性に関心がありますか」

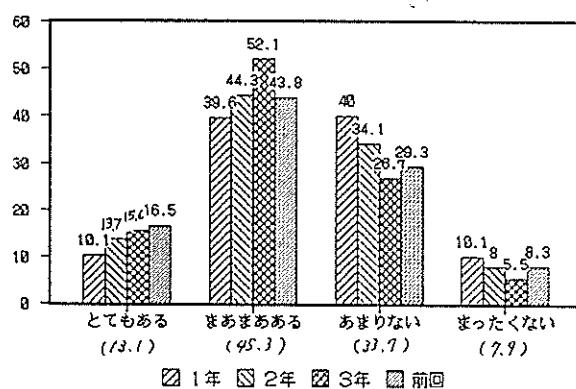
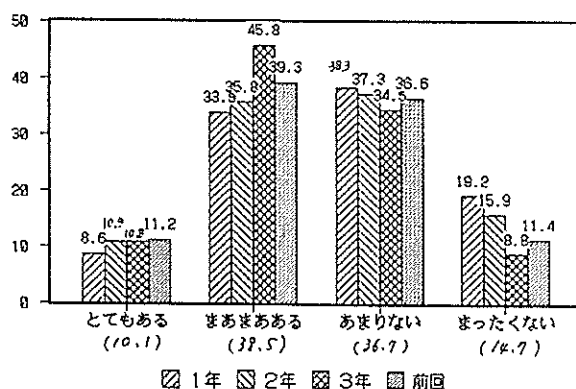


図4-5

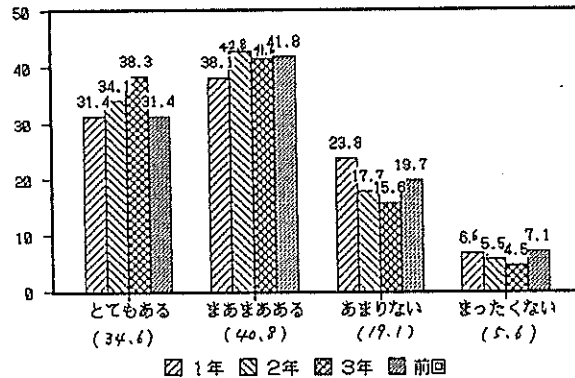
「あなたは、性について関心がありますか」



さらに、服装や髪型といったファッションには、どの程度関心を持っているだろうか。「あなたは、服装や髪型などファッションに関心がありますか」と質問したところ、図4-6に示したように、75.4%の中学生が「とてもある」「まあまあある」の違いはあるにしても「関心がある」と答えている。「前回調査」の割合は、73.2%でありほとんど差異はない。学年別にみると、こうした関心は、1年生69.5%、2年生76.9%、3年生79.9%で、学年の進行とともに高くなっていく。「前回調査」では、1年生63.3%、2年生74.8%、3年生79.9%であり傾向に大きな差はない。これを男女別にみると、どの学年においても

図 4-6

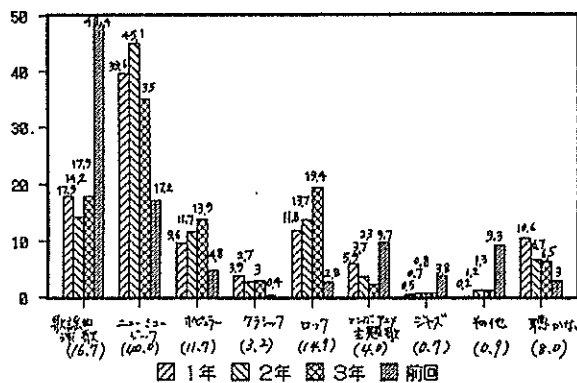
「あなたは、服装や髪型などファッションに関心がありますか」



服装や髪型などに「とても関心がある」生徒が、男子よりもはるかに女子のほうが高い。例えば、1年生では、男子が18.6%であるのに対し、女子は46.5%と28%の差があり、2年生では、男子が24.6%であるのに対して女子は44.1%、3年生では、男子が26.1%であるのに対して、女子は51.6%といったとおりである。

図 4-7

「あなたは、どんな音楽を聴きますか」

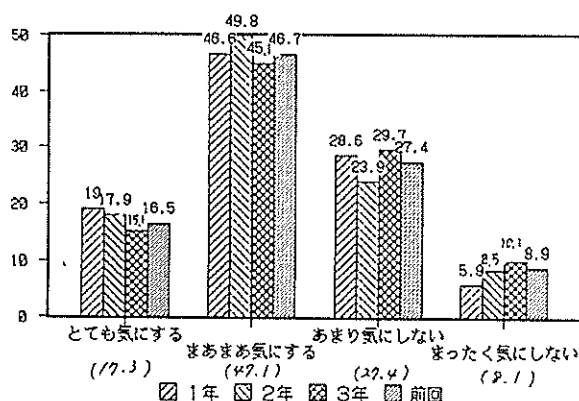


カラオケが普及し、音楽がさかんになった。中学生になると音楽を愛する気持ちも一般に強くなり、暇さえあれば音楽を聴いているのを見るのも珍しくない。では、音楽に対してどのような関心を持っているだろうか。「あなたは、どんな音楽を聴きますか」という問に対する結果が、図 4-7 である。中学生が「一番よく聴く」音楽はやはり「ニューミュージック」であり、39.9%と群を抜いている。次に、「歌謡曲・演歌」が16.7%、「ロック」が14.9%の順となっている。「前回調査」では、「歌謡曲」が48.3%と一番だったが、この交代は

時代の流れであろう。ただ、「歌謡曲」について男女差をみると、男子が11.2%で、女子が22.7%と倍である。

図 4-8

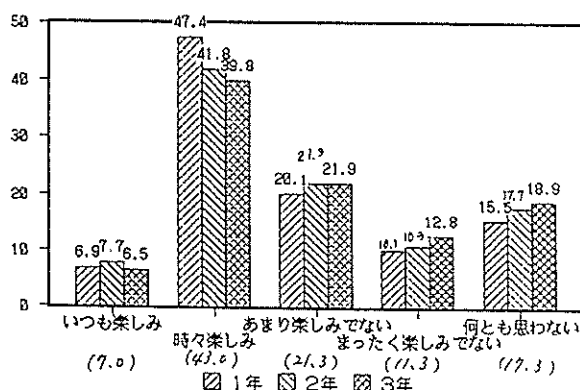
「あなたは、流行を気にするほうですか」



次に、中学生がどの程度「流行」について気にしているかをみてみよう。「あなたは、流行を気にするほうですか」という問の結果を示したのが、図4-8である。「とても気にする」17.3%、「まあまあ気にする」47.1%で、あわせて64.4%の中学生が「気にする」と答えている。「前回調査」の割合は、63.2%でありほとんど差異はない。これを、学年別にみると、1年生65.6%、2年生67.7%、3年生60.2%となり3年生で減少気味である。男女別では、女子の70.6%が気にしており、男子の58.9%に比べると、割合は高くなっている。

図 4-9

「あなたは、最近夜眠りにつくときに明日のことを考えて、朝起きることが楽しいと感じることがありますか」



「あなたは、最近夜眠りにつくときに明日のことを考えて、朝起きることが楽しいと感じることがありますか」という質問に対して、図4-9のように、「いつも楽しみにしている」7.0%、「ときどき楽しみにしている」43.0%とな

り、あわせると「楽しみにしている」中学生がちょうど半数の50.0%であった。ただ、「楽しみにしていない」が32.6%、「何とも思わない」が17.3%もあり、楽しい期待が持てないでいる中学生もかなりいることがわかった。学年別では、学年が進むにつされて、楽しくなくなっていく傾向がみられる。男女別では、楽しみにする割合は、男子が44.4%、女子が56.3%で、女子の方が明日に向けての生活をしている傾向が強い。

(3) まとめ

ここでは、中学生の地域生活の中で、特に、「帰宅後や休日の過ごし方」「中学生の関心」という2項目について、9つの質問により調査してみた。

まず、中学生が一番楽しいと感じる場所は、やはり「学校」であり、次に、「友だちの家」「家庭」という順になった。ところが、学年が進むにつれて「家庭」の比重がだんだん小さくなっており、家庭離れを志向しながら大人への成長の一つのステップを踏んでいるとみていいだろう。次に、休日の過ごし方は、最近のサッカーブームや個人でするスポーツの普及などにより、見るスポーツから自分でするスポーツへと転換していることを反映して、中学生もスポーツなどして外で遊ぶというものが増えてきている。しかし、依然として家でゴロゴロしたり、テレビを見たりなどの非活動的な過ごし方をしているものも少なくない。また、あいさつに関しては、中学生の4人のうち3人がとなり近所の大人たちとあいさつを交わしており、地域とのつながりはまだあるようである。

中学生の関心の度合いであるが、「異性」「性」「服装・髪形」「流行」の4項目に関して、最も高い割合を示したのが「服装・髪形」である。自己主張、自己顕示欲の現れであろう、美しくありたい、認めてもらいたいなどから流行や体裁を気にする中学生は依然として多いようである。また、どの項目でも女子の方が男子よりも高い割合を示しており、女子の方が精神的には、はやく大人に近づくようである。中学生期は、第2次性徴期にあり心と体のアンバランスな時期でもある。多くのことに興味・関心をもつが、それと同時に不安や悩みなども多くなる。子どもから大人へとスムーズに脱皮させるためには、親は子どもの成長をより深く見守る必要がある。

5. 自己評価

最近の中学生の中には、「どうせ俺（私）はだめだ」といった考えを持つものが多いと聞く。はたしてそうであろうか。また、実際にどのような悩みを持ち、だれを相談相手に選んでいるのであろうか。ここでは、中学生の「自己評価」や「悩み」について、その実態を明らかにしていきたい。

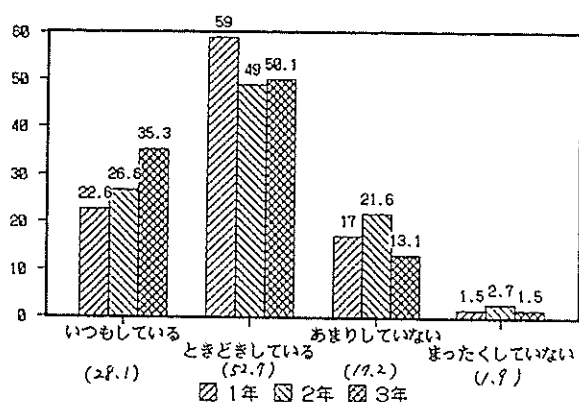
(1) 自己評価

中学生が自分自身をどのように評価しているかに関して、自主性、積極性、忍耐力の三つの内容の質問を設けた。

まず、自主性に関して「あなたは、自分で判断し行動しようとしていますか」という問をした。その結果が図5-1である。「いつもしている」が28.1%、「ときどきしている」が52.7%となり、あわせると80.8%であった。「あまりしていない」が17.2%、「まったくしていない」が1.9%であり、自分で判断し行動していると答えた中学生の割合の方がかなり高くなった。学年別にみると、学年が進むにつれて「いつもしている」割合が高くなっている。男女の差はあまりみられない。

図5-1

「あなたは、自分で判断し行動しようとしていますか」

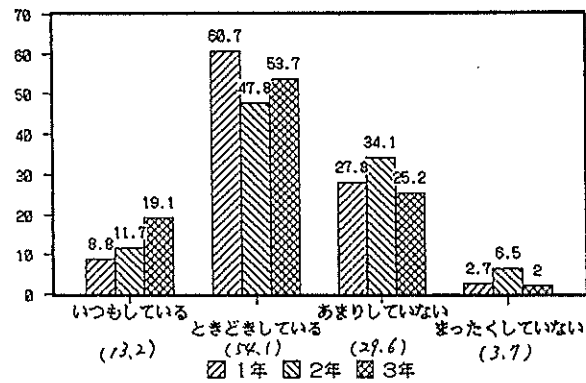


次に、積極性に関して「あなたは、自分から進んで物事に取り組もうとしていますか」という問をした。その結果が図5-2である。「いつもしている」が13.2%、「ときどきしている」が54.1%となり、あわせると67.3%である。三つの自己評価の中では、最も厳しい評価になっている。

学年別でみると、学年が進むにつれて「いつもしている」の割合が高くなる傾向は自主性の場合と同じだが、2年生の「あまり・まったくしていない」と

図5-2

「あなたは、自分から進んで物事に取り組もうとしていますか」

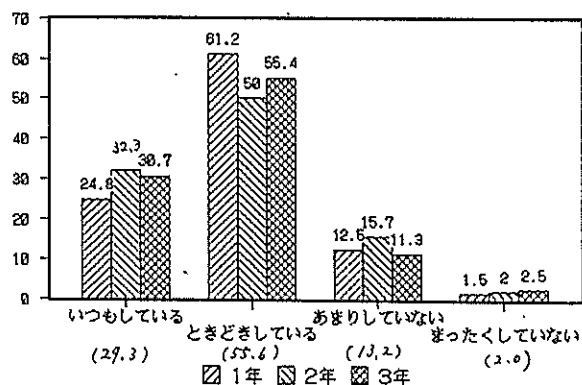


答えた割合が高いことが、他の評価内容より著しい。また、女子が積極性への数値は大きい、男女別の違いはわずかである。

次に、忍耐力に関して「あなたは、がまんすべき時はがまんしようとしていますか」という問をした。その結果が図5-3である。「いつもしている」が29.3%、「ときどきしている」が55.6%であり、あわせると84.9%となった。自主性と同様に高い評価である。学年別にみると、2年生の「いつもしている」の割合が他学年より高いことなども注目できる。また、女子の方が多少がまんしているようである。

図5-3

「あなたは、がまんすべき時はがまんしようとしていますか」



(2) 悩み

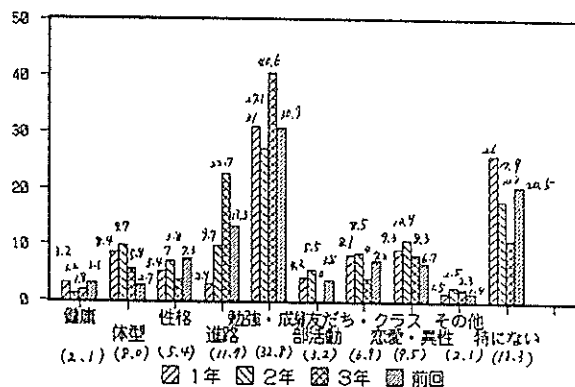
中学生はどんな悩みを持ち、それをだれに相談しているかについて、さらに、不登校への心の動きや心の休まる場所についての質問を設けた。

初めに、悩みに関して「あなたが、今もっとも悩んでいること、困っている

ことを次の順で選んでください」という問をした。その結果が図5-4である。最も悩んでいることについて、「勉強・成績」が32.8%、「進路」が11.7%、「恋愛・異性」が9.5%の順となった。また、「特にない」と答えた生徒も18.3%いた。学年別にみると、「前回調査」同様、どの学年も「勉強・成績」が大きな割合を占めている。進路に関する悩みが、直前に迫っている3年生で大幅に増加しているのも「前回調査」と同じ傾向を示している。男女間の差異は、「勉強・成績」「進路」については、男子の方が多く、一方、「体型」「性格」「友達・クラス」「恋愛・異性」といった悩みについて、女子の方が多くなっている傾向がみられた。また、「特にない」は、男子が22.7%、女子が13.5%であった。

図5-4

「あなたは、今もっとも悩んでいること、困っていることを次の順で選んでください」



次に、悩みの相談相手について「あなたは、困っていることや悩みをだれに相談しますか」という問をした。その結果が図5-5である。「もっとも相談する人」については、「友だち」が57.1%、「母」が15.6%となった。一方、「誰にも相談しない」が13.2%、「相談する人がいない」が3.8%いた。学年別にみると、「前回調査」同様の傾向であり、どの学年も「友だち」が大きな割合を占めている。また、「友だち」は、学年とともに増加しているが、母親は減少している。今回、「次に相談する人」も選択してもらったが、「母」が全体の26.8%で、次の相談相手としては最も高い割合を占めた。次が、「誰にも相談しない」の22.6%であった。悩みごとの相談は、まず友だちにしてそれから母親へというケースがかなり多いことがうかがえる。

男女別にみると、「一番目に相談する相手」として、「友だち」を選ぶ傾向は、女子の方が男子より強く、父親・母親を選ぶ傾向は、男子の方が女子より強いことがわかった。ただ、男子は「誰にも相談しない」「相談する相手がない」

図5-5

「あなたは、困っていることや悩みをだれに相談しますか」

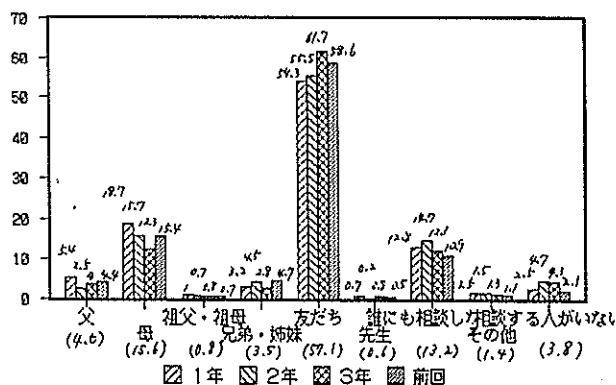
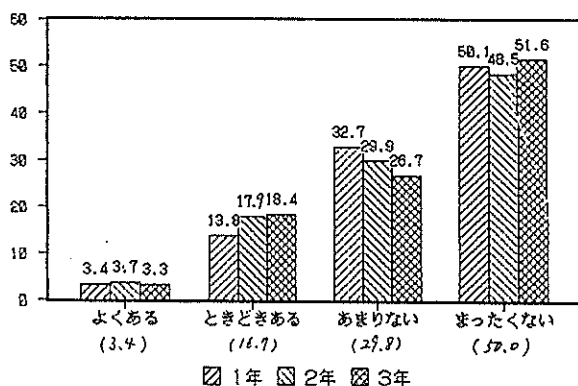


図5-6

「あなたは、最近『明日からもう学校に行かない』と思うことがありますか」



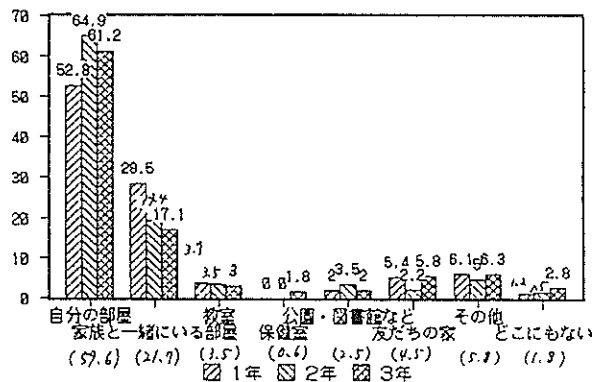
の割合が、女子のそれよりかなり高かった。中学生の悩みと関連して、不登校への心の動きの有無も気になるところである。そこで、「あなたは、最近『明日からもう学校に行かない』と思うことがありますか」という問をした結果が、図5-6である。「まったく・あまりない」が全体の8割を占めたが、2割程度はあると答えている。実際の行動としてあらわれるかどうかは別であるが、2割程度をどのようにみるか慎重に検討すべきであろう。男女間の差異は、「ある」割合が6.0%程度女子が多く、それほどみられない。学年が進むにつれて「ときどきある」は増加し、「あまりない」は減少するという逆の変化を示していることに注意したい。

さらに、「あなたが一番ほっとすることができる場所は、どこですか」という問をした。その結果を示したのが図5-7である。「自分の部屋」が59.6%、「家族と一緒にいる部屋」が21.7%となり、あわせると、81.3%となった。ま

た、「どこにもない」が1.8%いた。学年が進むにつれて「家族と一緒に部屋」の割合が減少しており、成長に伴う家族離れの傾向がうかがえる。さらに、男女間の差異では、男子の63.7%が「自分の部屋」と回答したのに対し、女子のそれは55.1%であった。それとは逆に、女子の26.4%が「家族と一緒にいる部屋」と回答したのに対し、男子のそれは17.5%であった。女子の方が、男子より家族志向型であることがうかがえる。

図5-7

「あなたが一番ほっとする場所は、どこですか、1つだけ選んでください」



(3) まとめ

「最近の子どもは、がまんすることができない」とよく言われるが、本人たちからすると、そうではないようである。自主性・忍耐力については、おおむね良好という自己評価になっているが、積極性については、いくらか課題意識を持っているようにみとれる。

悩みや悩みの相談相手の実態を見ると、勉強や成績に関することが一番多く、それらについて学校・学級などで身近に接している友だちに相談するといったことがよく行われていると推察できる。

不登校への心の動きなどから見て、相談相手や安心できる場所の有無がこれからの中学生にとって重要なものとなってくるであろう。

第Ⅱ章 父親・母親の養育態度・行動の実態

1. 家庭生活

家庭での親の世話や対応のあり方は、子どもの基本的な生活習慣を確立する上で非常に大きな影響を及ぼす。

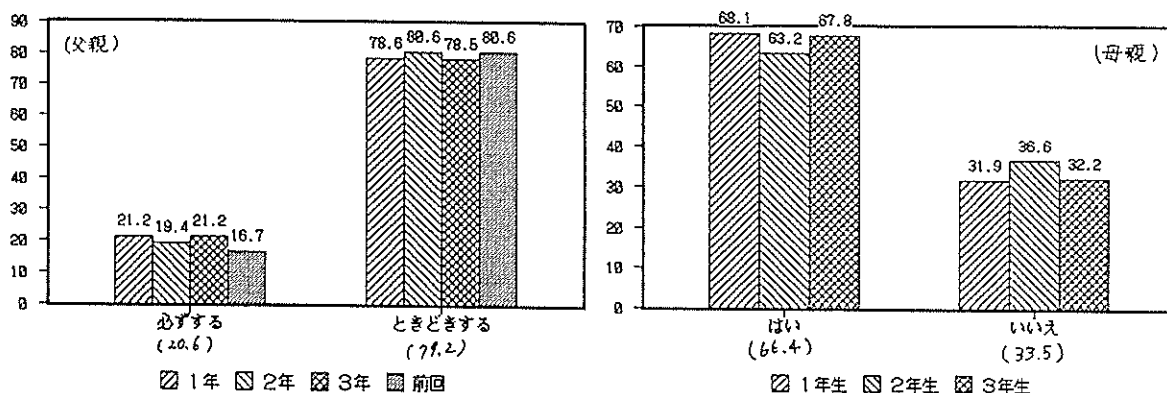
「前回調査」では子どもの身だしなみ、ことばづかい、反抗的態度に対する親の関心は総じて高く、対応の仕方も厳しいものであった。しかし、どの質問項目においても、少数ではあるがある一定の親の無関心、無対応の態度がみられる。さらにこの傾向は、母親より父親に多くみられることが判明した。ここでは、「前回調査」での質問項目を多く取り入れ、中学生をもつ親の家庭でのしつけや態度について、「基本的な生活習慣」、「言葉づかい」、「勉強」といったことから実態をみていきたい。

(1) 基本的な生活習慣

子どもの生活習慣に関する親のしつけや対応の実態をみるため、起床の世話、持ち物の世話、小遣いの使いみち、身だしなみに対する対応、宿題や手伝いを忘れた場合の対応、後始末をしなかった場合の対応に関する質問を用意した。

図1-1

「あなたは、今朝お子さんを起こしましたか」

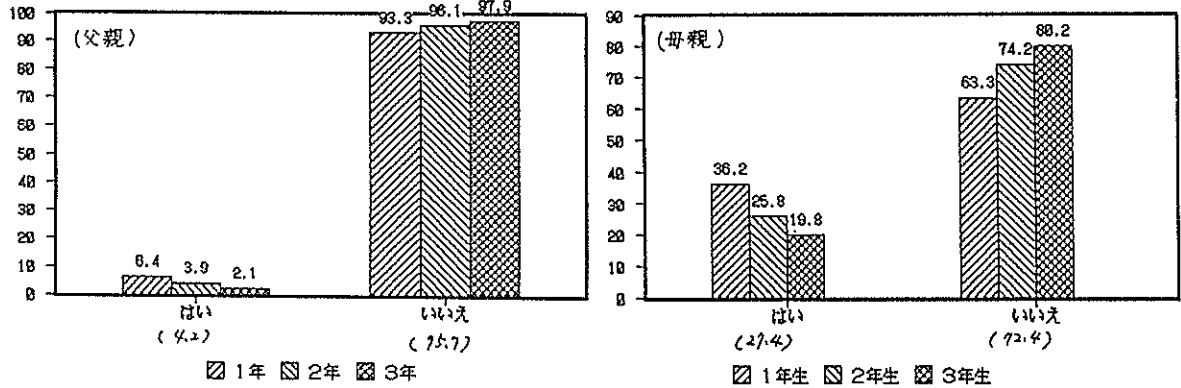


子どもの起床について、「あなたは、今朝お子さんを起こしましたか」とたずねると、図1-1に示すように「子どもを起こしてやった親」は、父親20.6%、母親66.4%で、このことに関しては、両親のどちらかが子どもを起こすと考えられるので、自分で起きる中学生は少なく、大半の子どもが起床を促されている状況がうかがえる。このことは「前回調査」父親16.7%、母親62.9%の結果と比較してもあまり差は認められないが、強いていうならば「今回調査」での割合が高い。これを男女別にみると女子にくらべて起床を促されている男

子の方が多い状況である。また、「小学生調査」と比較するとわずかではあるが「起こしてやった親」は、父親・母親とも中学生の場合の方が割合が少ない。

図1-2

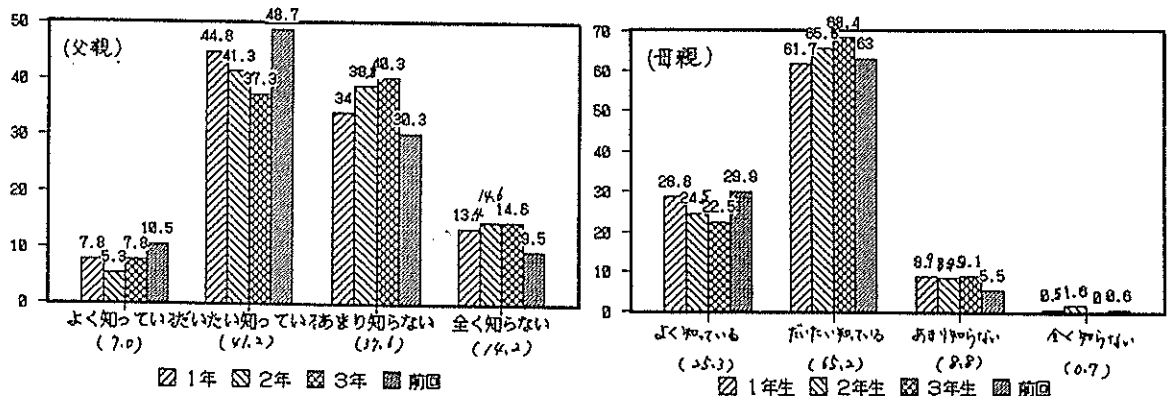
「あなたは、今朝お子さんが学校に出かける前に持ち物について注意しましたか」



「あなたは、今朝お子さんが学校に出かける前に持ち物について注意しましたか」とたずねると、「注意した親」は父親4.2%、母親27.4%、「注意していない親」は父親95.7%、母親72.4%である。これを子どもの学年別にみると、図1-2のように、学年が進むほど注意した親の割合は低くなっている。また注意する割合の高い母親の場合、「小学生調査」と比較すると「注意した母親」は小学生55.6%、中学生27.4%で、学年が進むほど子どもの自主性に任せている状況がうかがえる。

図1-3

「あなたは、お子さんが小遣いをどのように使っているか知っていますか」

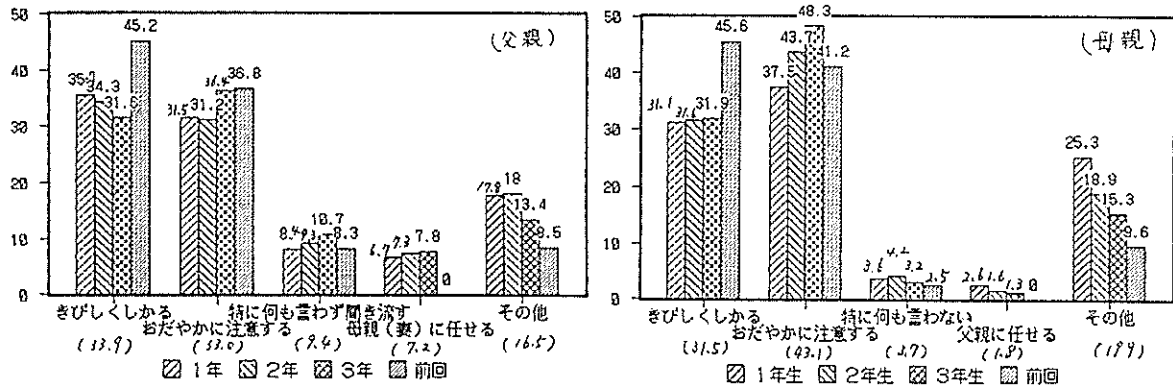


「あなたは、お子さんが小遣いをどのように使っているか知っていますか」とたずねると、図1-3に示すように、「よく知っている」「だいたい知っている」親は、父親48.2%、母親90.5%で、父親の場合は、母親に比べて知らない

とする率が高い。「前回調査」と比較すると、「知らない親」の割合が父親について高くなっている。

図 1-4

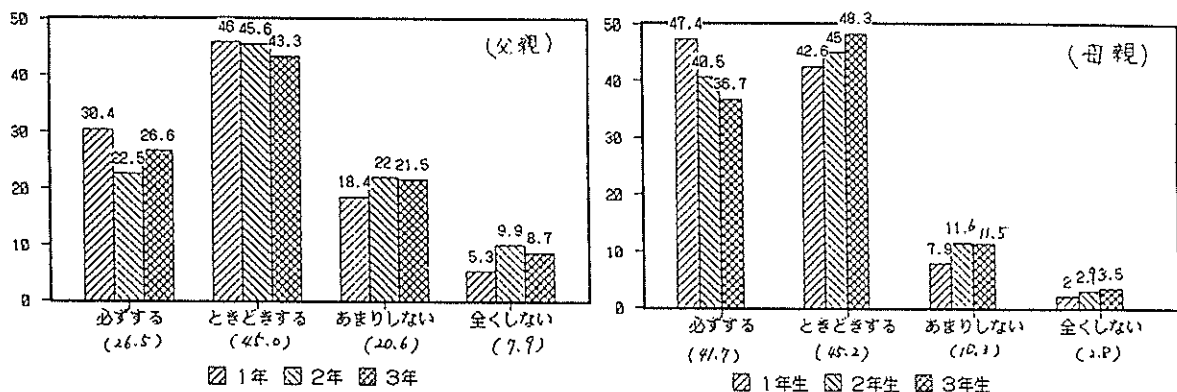
「あなたは、お子さんが校則に違反した服装や髪形をしている場合どのように対応していますか」



「あなたは、お子さんが校則に違反した服装や髪形をしている場合どのように対応していますか」とたずねると、図 1-4 に示されるように、「きびしくしかる」「おだやかに注意する」親は、あわせると、父親の場合66.9%、母親の場合74.6%である。「特に何も言わない」親は、父親9.4%、母親3.7%でここでも母親に比べ父親の放任的な態度の高い傾向がみられる。子どもの男女別に対する差異をみると、父親が男子に対しわずかにきびしく対応しているが、性別による差はない。また、「前回調査」と比較すると、父親、母親ともに子どもの身だしなみに留意し、きびしく注意する割合は低下している。

図 1-5

「あなたは、お子さんが宿題や手伝いを忘れていたら注意しますか」

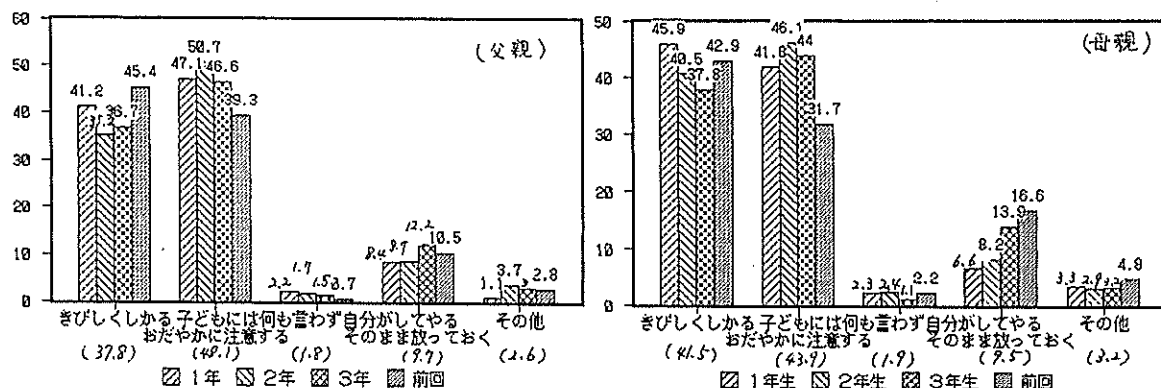


「あなたは、お子さんが宿題や手伝いを忘れていたら注意しますか」とたずねると、図 1-5 に示されるように、「必ず注意する」「ときどき注意する」をあわせ

て父親71.5%、母親86.9%であった。「小学生調査」では、父親79.4%、母親93.7%となり、比べてみると「注意する」割合は両親ともに減少している。父親については男子に対して、また、1年生に対して注意する割合が高くなっている。

図1-6

「あなたは、お子さんが自分の使った物の後始末をしなかった場合どのように対応していますか」



「あなたは、お子さんが自分の使った物の後始末をしなかった場合どのように対応していますか」とたずねると、図1-6からわかるように約40%の親がきびしくしかり、約45%の親がおだやかに注意している。母親の場合、男子に対してきびしくしかる割合は38.5%であるのに、女子には44.6%と高くなっている。また、学年とともに減少している。「前回調査」と比較すると、「きびしくしかる」父親の割合は減少しており、やさしくなった父親の姿が推測できる。

(2) 言葉づかい

ここでは、子どもの言葉づかいに対するしつけの実態をみるため親に対する言葉づかいへの対応、あいさつに対するしつけ、言葉づかい、に関する質問を用意してたずねた。

まず、「あなたは、お子さんのあなたに対する言葉づかいが乱暴であったとき、どのように対応をしていますか」という問の結果を示したのが図1-7である。48.6%の父親、52.3%の母親が「きびしくしかる」という対応をしている。父親と母親とを比較すると、母親の方が父親に比べてわずかではあるがきびしくしかっている。また、「何も言わず聞きながす」「妻にまかせる」と回答した父親の方が多く、母親まかせになっていることがうかがえる。しかし、これを男女別にみると母親には差異はそれほどみられないが、父親は女子より男子に対して「きびしくしかる」割合が高い。「前回調査」と比較すると父親・母親ともに「きびしくしかる」割合が低くなっている。

図1-7

「あなたは、お子さんのあなたに対する言葉づかいが乱暴であったとき、どのように対応をしていますか」

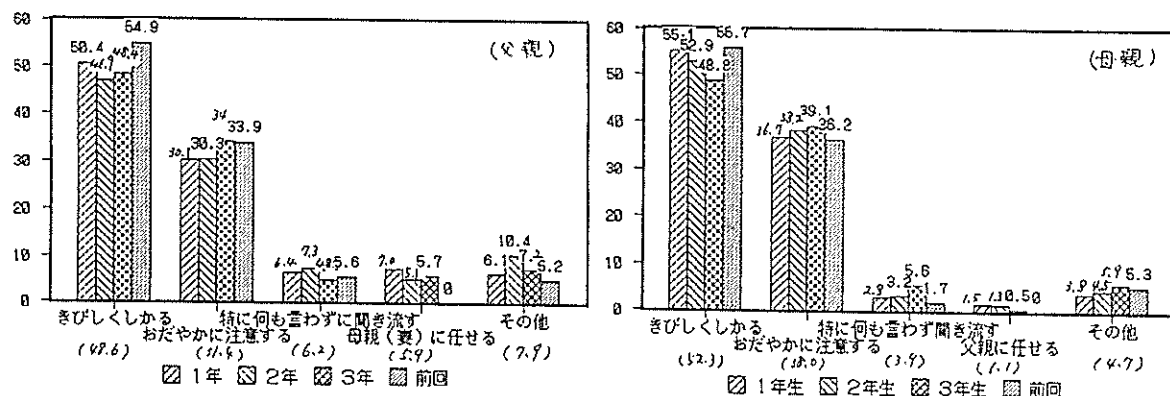
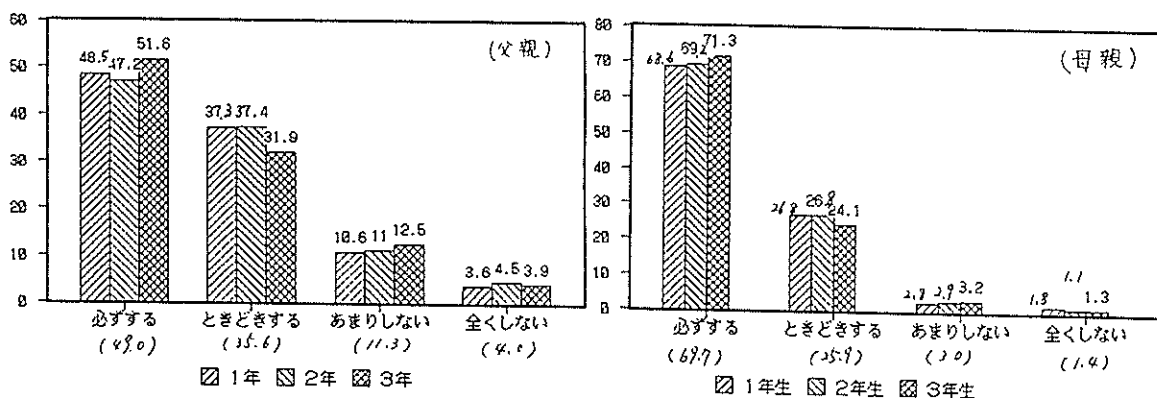


図1-8

「あなたは、お子さんが近所の人や友だちに会ってもあいさつしなかったら注意しますか」

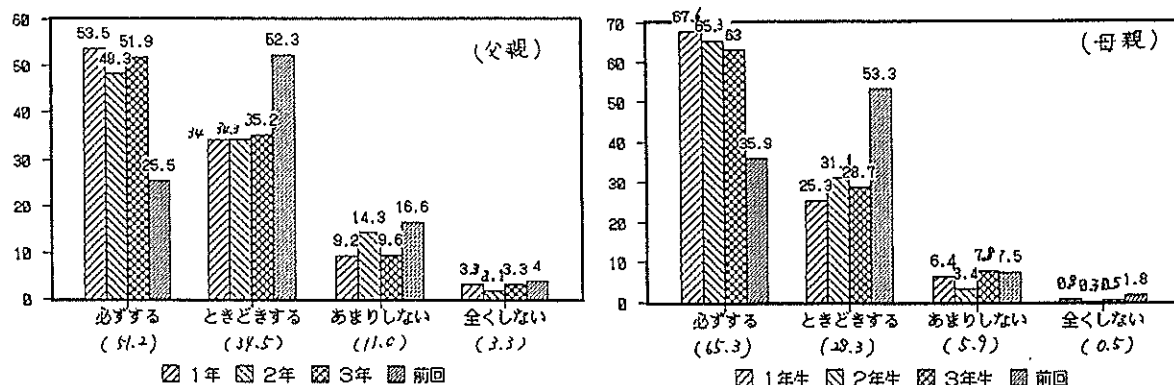


「あなたは、お子さんが近所の人や友だちに会ってもあいさつしなかったら注意しますか」という問の結果を示したのが、図1-8である。「必ず注意する」「ときどき注意する」をあわせると父親84.6%、母親95.6%で母親の方が父親に比べ割合が高い。これを男女別にみると、言葉づかいの注意とは違って、母親の方が、男子より女子に対して厳しい傾向がうかがえる。これを「小学生調査」と比較すると、「注意する」親は、中学生をもつ親の方が父親で3.5%、母親で1.4%よく注意している。これは小学生をもつ親の方がきちんとしつけていないのではなく、小学生の方が中学生にくらべてよくあいさつをしていることからかもしれない。

「あなたは、お子さんがあなたや目上の人に対して友だち同士のような乱暴な言い方をした場合、注意しますか」という問の結果を示したのが、図1-9である。父親51.2%、母親65.3%が「必ず注意する」としている。また、学年

図1-9

「あなたは、お子さんがあなたや目上の人に対して友だち同士のような乱暴な言い方をした場合、注意しますか」



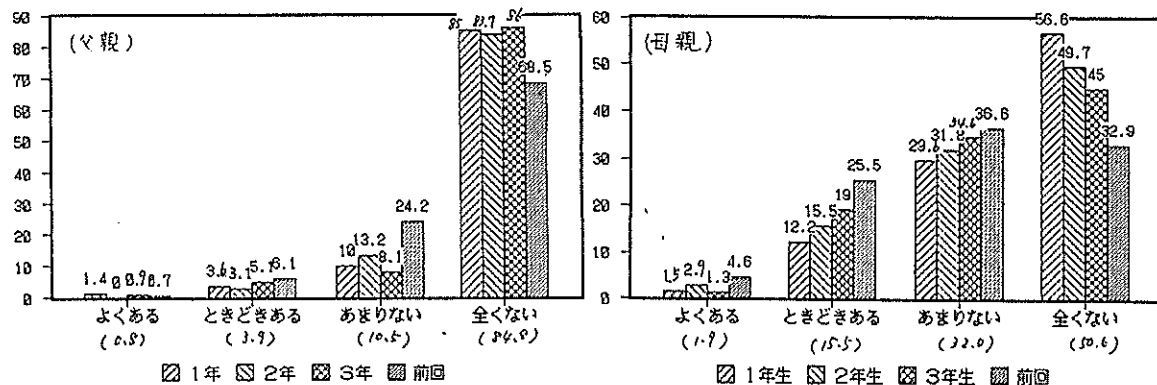
別の差異もあまりみられない。この場合もきちんと注意している割合は父親に比べ母親の方が高い。「前回調査」と比較すると、「必ず注意する」割合が、父親で25.7%、母親29.4%増加していることは目をひくところである。

(3) 勉強

ここでは、子どもの勉強に対する世話や子どもの成績についての考え方を知るため夜食の準備、勉強の注意、子どもの成績に影響するものに関する質問を用意した。

図1-10

「あなたは、お子さんのテスト前の勉強の時など夜食を作ってやったりすることがありますか」



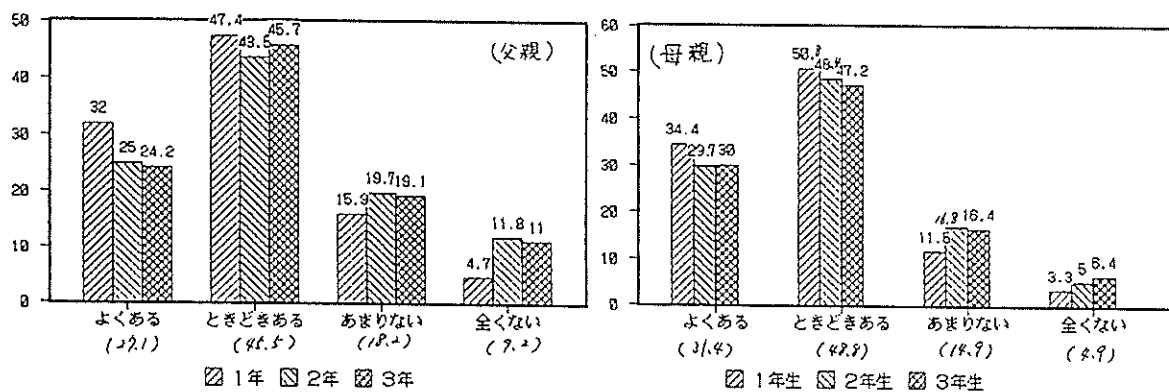
「あなたは、お子さんのテスト前の勉強の時など夜食を作ってやったりすることがありますか」という問の結果を示したのが、図1-10である。父親4.7%、母親17.4%が「ある」と答えている。大半の親は夜食の準備はしていない。子どもの学年別による差異は、母親の場合学年とともに増加している。また、女子よりも男子に対していくらか多くなっている。「前回調査」と比較すると

父親・母親ともに世話をしない割合が高くなっている。

「あなたは、お子さんが遊んだりテレビをみたりしているとき、『勉強は済んだか』と注意することがありますか」という問の結果を示したのが図1-11である。「よく注意する」「ときどき注意する」をあわせて、父親72.6%、母親80.2%であった。多くの親が子どもの勉強については意識し、注意していることがわかる。これは学年が進むにつれわずかではあるが減少している。また、父親・母親ともに男子に対して注意する割合が高い。「小学生調査」と比べると、父親で8.1%、母親で9.3%減少している。

図1-11

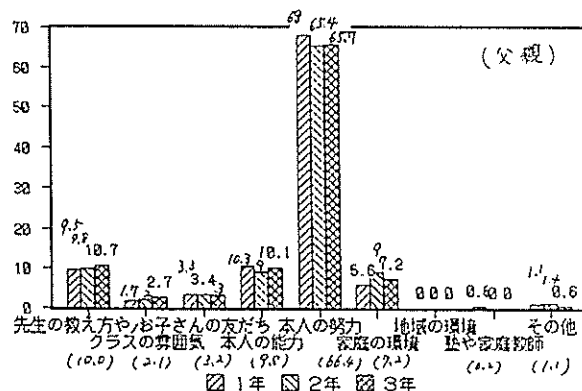
「あなたは、お子さんが遊んだりテレビをみたりしているとき、『勉強は済んだか』と注意することがありますか」



「あなたは、お子さんの成績に最も影響するものは次のどれだと思いますか」という問の結果を示したのが、図1-12である。子どもの成績に最も影響する要因は、「本人の努力」と大半の親が考えており、自助努力に力点を置く考え方の傾向にあることがうかがえる。これは「前回調査」と変わらない。以下、

図1-12

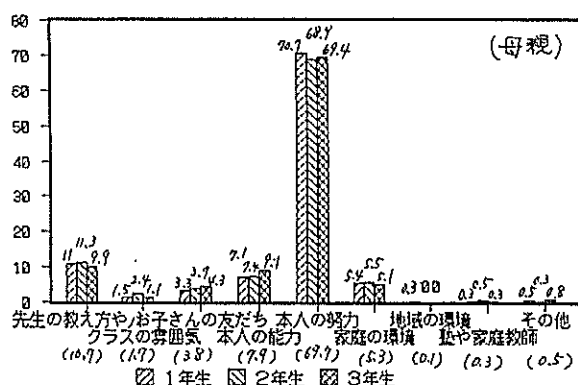
「あなたは、お子さんの成績に最も影響するものは次のどれだと思いますか」



父親・母親とも「先生の教え方や人柄」「本人の能力」をあげている。学年による違いはみられないが、母親の場合、男子の方に努力を求めているようである。

図1-12

「あなたは、お子さんの成績に最も影響するものは次のどれだと思いますか」



(4) まとめ

親の世話や対応の実態を「起床の世話」、「みだしなみの注意」、「言葉づかいの注意」、「後かたづけの注意」といった家庭での具体的な場面をとりあげ質問をこころみた。

結果は総じて多くの親がきちんと対応していることが判明した。しかし一方では「前回調査」と同じように少数ではあるが親の無関心・無対応の態度が依然としてみられる。また、この傾向は母親より父親に多くみられ子どものしつけは母親にまかせるといった実態がうかがえる。ただ、言葉づかいや勉強に関しては、父親の関心も高いようである。「前回調査」結果と比較すると多くはないが、「きびしく対応」する親の割合が減少し、「無関心」、「無対応」の親の割合が高くなっている傾向にあり、少し気になるところである。また、子どもをしかる場合、「きびしく」より「おだやかに」の親の割合が高くなっており、やさしくなった親の一面がうかがえる。

2. 親子交流

平成3年の厚生省の調査では、中学2年生の55.0%が学習塾にしている。また、家庭でのテレビ視聴も増加しこそすれ、減ることがないのが現状である。さらに、平成3年の宗像市の調査によると、「あなたは何もしたくないと思うことがありますか」という問に対し、「よくある」「ときどきある」をあわせると、中学2年生で89.9%という結果であった。無関心、無感動、無責任などが問題とされた時代を経て、現在では、無行為ということが指摘される。たとえ時間や場所があっても何もしない、何もできない子どもが増えているのである。子どもの活力の芽を育むために、家庭での親子交流はどうあればよいのであろうか。ここでは、父親・母親それぞれの視点から、「日常対話」、「食事」、「親子交流」の3つから現状を見てみた。

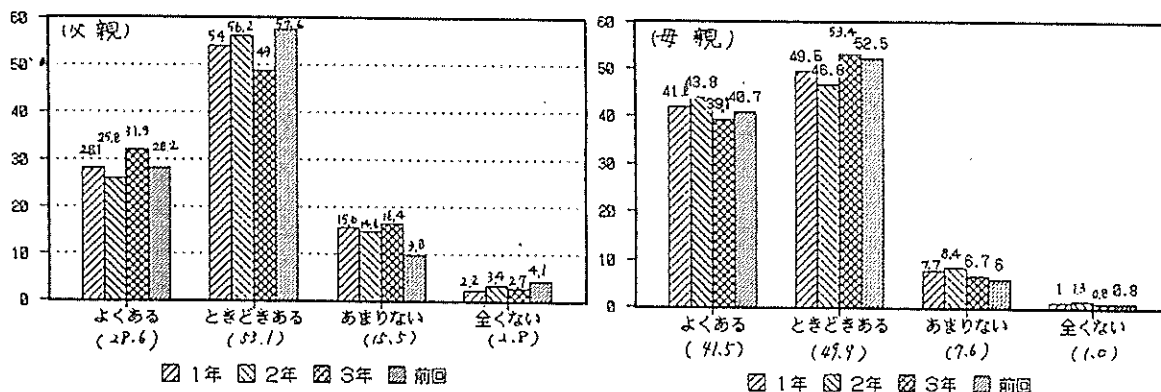
(1) 日常対話

日常、親と子でどのような対話をしているかということは、親子交流の様子を知る手がかりとなる。そこで、ここでは、中学生にもたずねているテレビ・スポーツのこと、将来・人生のこと、学校生活のこと、性のことについてと、親だけに尋ねた社会へのできごとについての5つについて現状をみてみた。

テレビやスポーツという話題については、「あなたは、お子さんとテレビや映画やスポーツのことなどについて話すことがありますか」という問に対し、結果をしめしたのが、図2-1である。話すことが「よくある」割合は、父親が28.6%、母親が41.5%となった。「ときどきある」をあわせると父親が81.7%、母親が91.4%となり、このような一般的な話題についてはかなり対話をも

図2-1

「あなたは、お子さんとテレビや映画やスポーツのことなどについて話すことがありますか」

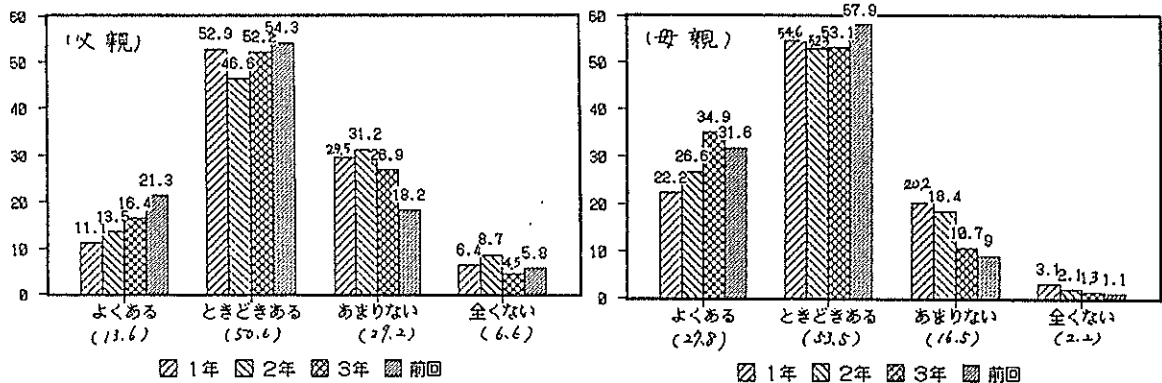


っていることがうかがえる。これを「中学生調査」と比べると、話すことが「よくある」割合は、父親で4.9%、母親で14.2%中学生の方が下回っており、親と子で意識の違いがうかがえる。「前回調査」と比べると、話を「しない」割合が、父親で4.4%、母親で1.8%増加している。

将来や人生については、「あなたは、お子さんとお子さんの将来や人生について話すことがありますか」という問に対しての結果を示したのが、図2-2である。話すことが「よくある」割合は、父親が13.6%、母親が27.8%となった。これに「ときどきある」をあわせると父親が64.2%、母親が81.3%となった。テレビやスポーツという話題に比べ、父親・母親とも対話の機会が減っていることがわかる。ところが、全体的な傾向として3年になると、進路決定という時期でもあるのか若干話す割合が増している。「中学生調査」と比較すると、話すことが「よくある」割合は父親で0.7%、母親で5.8%、中学生の方が下回った。「前回調査」と比較すると、話すことが「よくある」割合は、父親で7.7%、母親で3.8%減少している。逆に、「あまりない」「まったくない」をあわせた割合は父親で11.8%、母親で8.6%増加している。

図2-2

「あなたは、お子さんとお子さんの将来や人生について話すことがありますか」

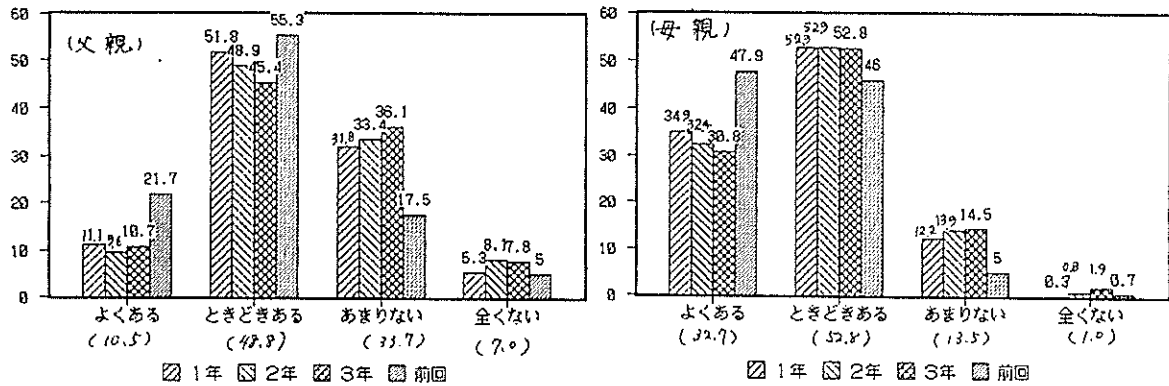


学校生活については、「あなたは、お子さんとお子さんの学校生活について話すことがありますか」という問に対し、父親・母親ごとに示したものが、図2-3である。話すことが「よくある」の割合は、父親が10.5%に対し、母親が32.7%となり22.2%も高くなった。これに「ときどきある」をあわせると、父親が59.3%、母親が85.5%となった。父親と母親で対話の機会の差が大きいことがうかがえる。「前回調査」では、「よくある」「ときどきある」をあわせた割合は、父親が77.0%、母親が93.9%であり今回は、父親で17.7%、母親で8.4

%減少した。これを男女別にみると、男子は父親と、女子は母親と話す割合がやや高い。「中学生調査」と比べると、「よくある」「ときどきある」をあわせた割合は、父親で21.9%、母親で17.7%親の方が上回り、親と子でかなりの意識のずれがうかがえる。

図2-3

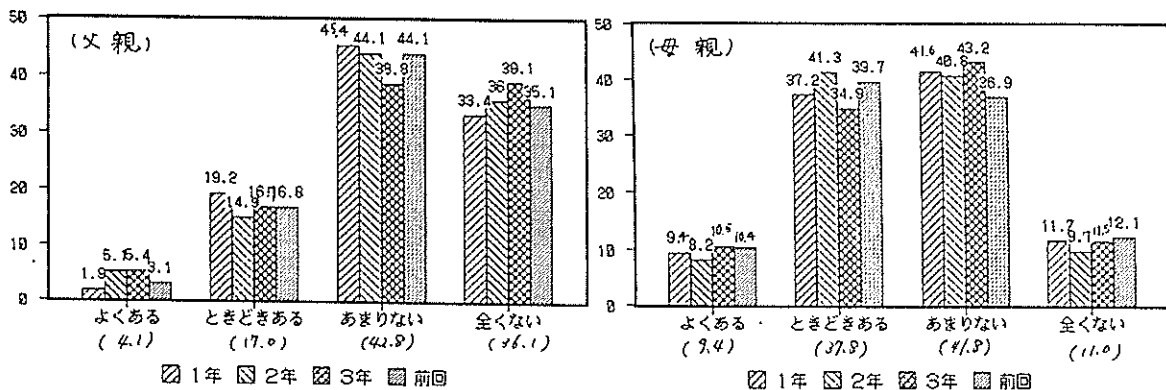
「あなたは、お子さんとお子さんの学校生活について話すことがありますか」



性については、「あなたは、お子さんに性のことについて教えたり、指導したり、話したりすることがありますか」という問に対し、父親・母親ごとに示したものが、図2-4である。話すことが「よくある」の割合は、父親が4.1%に対し、母親が9.4%となった。これに「ときどきある」をあわせると、父親が21.1%、母親が47.2%となった。他の内容と比べて父親・母親とも対話の機会がとても少ないことがうかがえる。特に、父親の子どもへの関わりが薄いのが気になるところである。「前回調査」と比べると、「よくある」「ときどきある」をあわせた割合は、父親で1.2%増加し、母親で2.9%減少している。

図2-4

「あなたは、お子さんに性のことについて教えたり、指導したり、話したりすることがありますか」

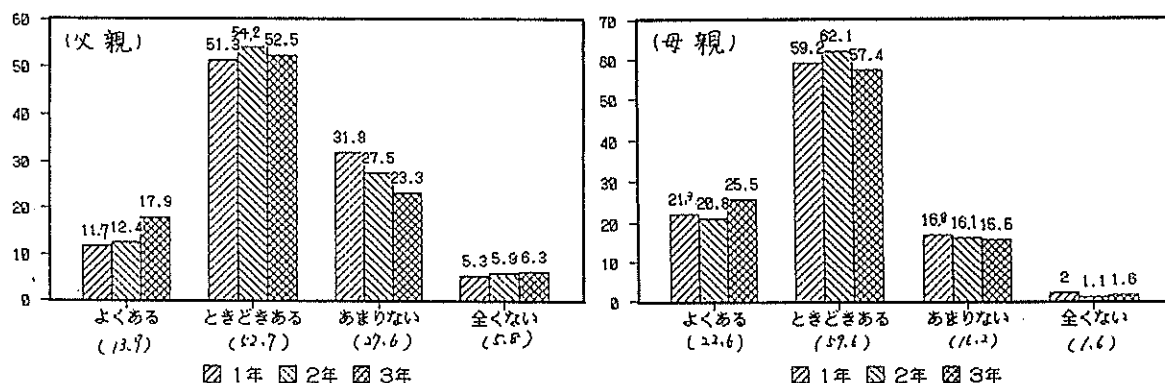


「中学生調査」と比べると、親の方が、父親で13.3%、母親で27.8%対話していると答えた割合が高くなった。子どもは、性に関して親子で対話があり存在しているとは考えておらず意識のずれが大きいことがうかがえる。

最後に、これは親だけに尋ねた「あなたは、お子さんに社会の出来事について話すことがありますか」という問に対し、父親・母親ごとに示したものが、図2-5である。話すことが「よくある」の割合は、父親が13.9%に対し、母親が22.6%となった。これに「ときどきある」をあわせると、父親が66.6%、母親が82.2%となり、やはりここでも父親より母親の方が対話をする機会が多いようである。また、この内容に関しては、男女差、学年差はほとんどない。

図2-5

「あなたは、お子さんに社会の出来事について話すことがありますか」



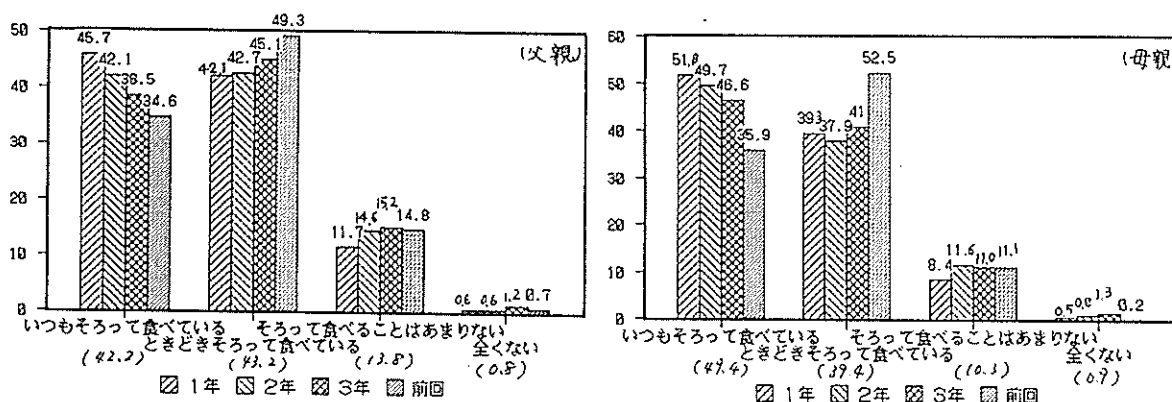
(2) 食 事

中学生になると親も子どもも忙しくなり、同一の時間を共有する機会が少なくなっているようである。食事に関してもばらばらに取ったり、食事を抜いて出かけたり、食事をしてもし話がなかったりでだんらんという親子のふれあいは必ずしも十分でないようである。そこで、家族と一緒に食事をする機会を確保しているのかをみるために、「あなたの家庭では、夕食を家族そろって食べていますか」という問に対し、父親・母親ごとに示したものが、図2-6である。仕事や他の事情で親子そろって夕食をとることが困難な状況があるので、そのこと自体に善し悪しをつけることはできないが、親子の交流をみる上で大切な指標となるために設問した。「いつもそろって食べている」の割合は父親が42.2%に対し、母親が49.4%となった。これに「ときどきそろって」をあわせると、父親が85.4%、母親が88.8%となった。父親・母親ともに概ね揃って食事を取る機会をもっていることがうかがえる。「前回調査」と比べると、「い

「いつもそろって食べている」の割合は、父親で7.6%、母親で13.5%増加しており努力している様子がうかがえる。また、全体的にみて学年が進むにつれて食事のそろう機会が減少傾向にあり、親子交流を考えその方策を探る場合、押さえて置くべき点であろう。

図2-6

「あなたの家庭では、夕食を家族そろって食べていますか」



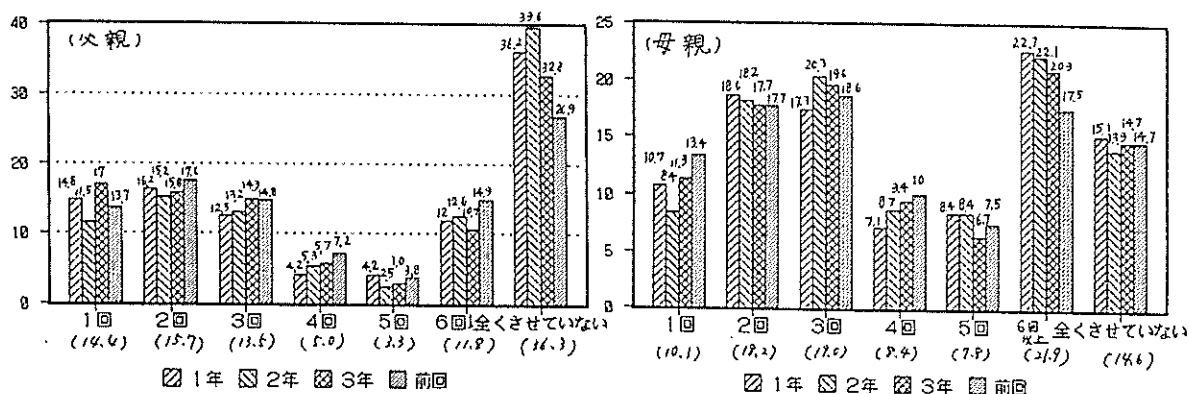
(3) 親子交流

現在、中学生の親は、子どもに対してどのような交流をもっているのだろうか。ここでは、親子交流の状況を少し広くとらえ、子どもに手伝いをさせるか、家庭のことで子どもに意見を聞くか、子どもの交友関係を知っているか、子どもをほめるかといった4つの視点から現状をみてみた。

家庭で手伝いをさせることは、家族の一員としての自覚と相互扶助の考えが芽生え、子どもの成長に好影響を与える。親は、子どもに家族の一員としての役割分担をどの程度課しているのだろうか。「あなたはお子さんにこの一週間

図2-7

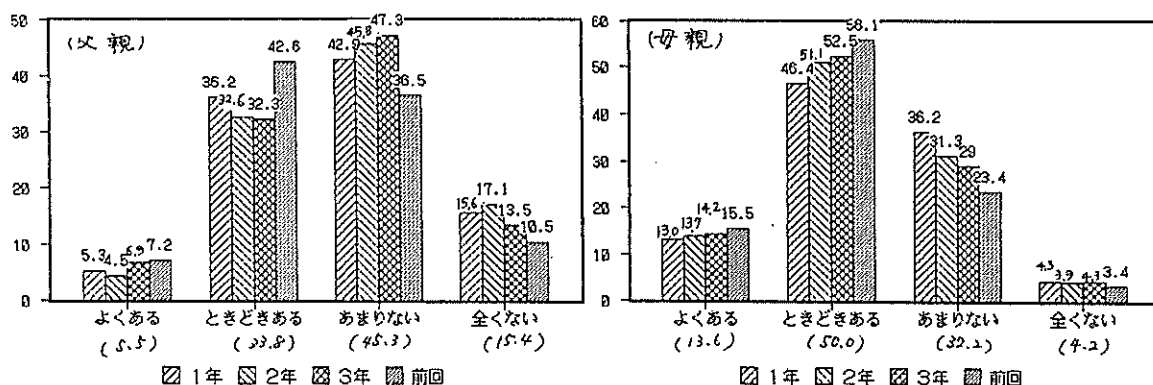
「あなたは、お子さんにこの一週間に体を動かす手伝いを何回ぐらいさせましたか」



に体を動かす手伝いを何回ぐらいさせましたか」という問に対し、父親・母親ごとに示したものが、図2-7である。一週間でほとんど毎日手伝いをさせている「5回」以上の割合は、父親が15.1%、母親が29.7%であった。一方、「まったくさせていない」割合は、父親が36.3%母親が14.6%となった。これらを、「前回調査」と比べると「5回」以上の割合は、父親で3.6%減少し、母親で4.7%増加した。「まったくさせていない」割合は、母親でほとんど差異はないが父親で9.4%増加しており、手伝いをさせない父親が増加していることがうかがえる。さらにみていくと、母親は、「まったくさせていない」割合が男子で18.3%に対し、女子で10.8%と「前回調査」と同様に相変わらず男子に多い。また、父親は「前回調査」と比べると女子で15.8%上昇しており、女子に手伝いをさせない父親が急増している。「中学生調査」で、手伝いを「言われてもしない」「言われてもしないことがある」割合が、21.1%あり、親子交流の困難な状況はあるが、「言われたらする」割合が56.0%あったことからするともっと積極的な対応が望まれよう。

図2-8

「あなたは、お子さんに家庭のことで意見を聞いたり、相談したりすることがありますか」



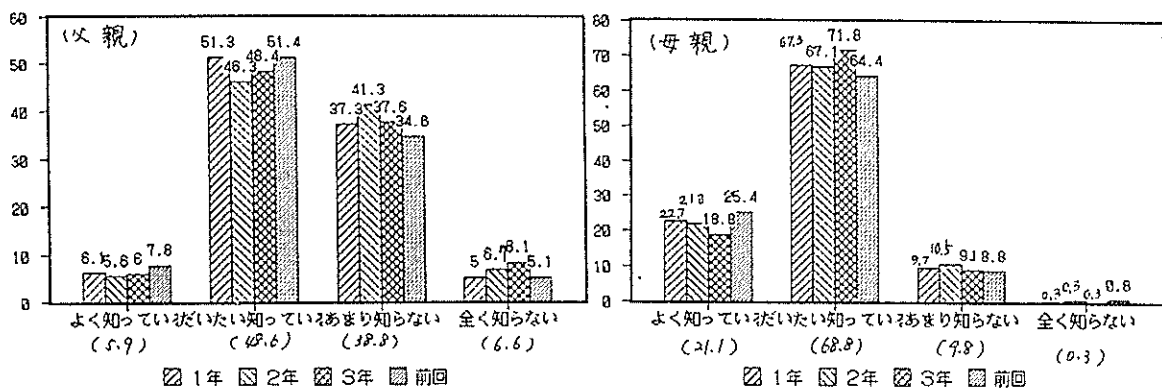
親は、子どもに家庭のことで意見を聞いたりしているのであろうか。「あなたは、お子さんに家庭のことで意見を聞いたり、相談したりすることがありますか」という問に対し、父親・母親ごとに示したものが、図2-8である。「よくある」の割合は、父親が5.5%に対し、母親が13.6%となった。これに「ときどきある」をあわせると、父親が39.3%、母親が63.6%となった。父親・母親ともに「前回調査」と比べて、父親で10.5%、母親で8.0%減少している。また、「まったくしない」の割合は、父親で4.9%、母親で0.8%増加している。家庭のことで意見を求めることは、子どもへの信頼をあらわすと同時に家族の

一員として存在を認めることであると考えると、気になる傾向である。

次に、「あなたは、お子さんの友だち関係について知っていますか」という問に対し、父親・母親ごとに示したものが、図2-9である。「よく知っている」の割合は、父親が5.9%に対し、母親が21.1%となった。これに「だいたい知っている」をあわせると、父親が54.5%、母親が89.9%となった。これを「前回調査」と比べると、「よく知っている」は、父親で1.9%、母親で4.3%減少した。父親の方が子どもとの交流が稀薄であることがうかがえ、母親との差がはっきりでたといえよう。子どもの交友関係を知ることは、友だちとの人間関係を含め子どもを理解することにつながり、親子交流を深化・拡充するうえからも重要なことである。

図2-9

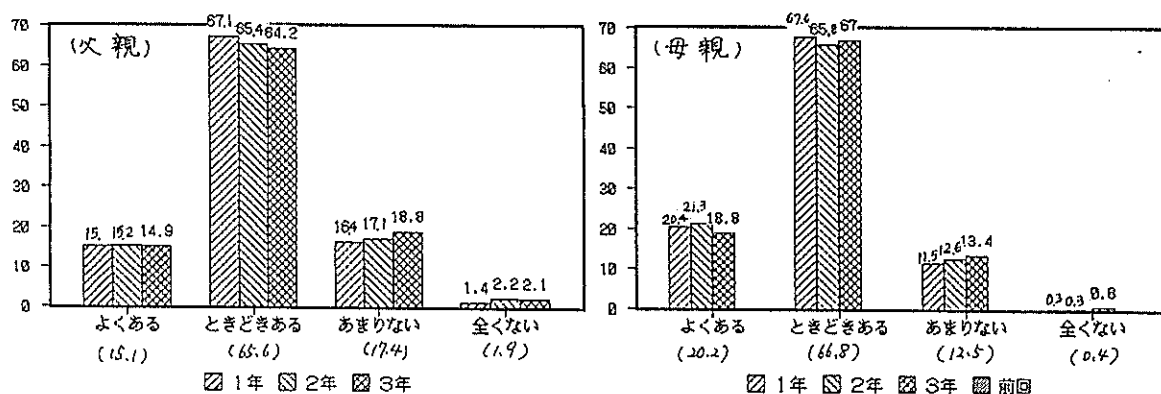
「あなたは、お子さんの友だち関係について知っていますか」



最後に、親は子どもの行為や態度にどのような評価をしているのであろうか。「あなたは、お子さんをほめてやることがありますか」という問に対し、父親・母親ごとに示したものが、図2-10である。子どもにとって親からほめられるということは、自信をもつとともに信頼感が強くなり親子のきずなも深まる。ところが、ほめることが「よくある」の割合は、父親が15.1%に対し、母親が20.2%であった。親は、子どもをあまり積極的にほめてないようである。これに、「ときどきある」をあわせると、父親が80.7%、母親が87.0%と約8割以上がほめている。ほめられることは、次の意欲につながることからすると、もっとほめてよいといえる。「小学生調査」では、「よくある」の割合は、父親で30.5%に対し、母親は37.1%であった。中学生になるとほめることがとても減少していることがわかる。学年別にみても、学年が進むにつれて若干ではあるが「ほめる」割合が減少している。このことは、「小学生調査」でも同様であった。

図2-10

「あなたは、お子さんをほめてやることがありますか」



(4) まとめ

親子交流について、(1)日常対話、(2)食事、(3)親子交流の3つの視点からみてきたが、次のことが特徴としていえよう。

まず第1は、親の養育態度が多様化していると同時に、手伝いをさせない親や、家庭の相談はしない親が増えているということである。つまり、子どもをあてにしなくなっているのである。第2は、子どもの友だちを「あまり知らない」ことに端的にあらわれたとおり、母親に比べ父親の方が子どもとの交流が稀薄になる傾向がある。自分の生き方や社会に関心をもち始めるこの時期にこそ、父親との親密な交流が求められよう。第3は親子の交流に関する親の回答は、必ずしも子どもの回答とは一致していないことである。つまり、子どもは、親ほどには交流があると感じていないようで、意識のずれが生じている。このことを考慮したうえで、親子の交流を図る必要がある。

3. 子ども評価

親が子どもに接する態度は、親が日頃から子どもをどのように評価しているかによって随分変わってくるであろう。例えば、自主性に乏しいと判断している場合は、どうしても指示や命令が多くなると考えられる。そして、そのことが、自主性をさらに乏しくさせていることもままあろう。ここでは、親の「子どもの評価」や「子どもへの接し方」の実態を明らかにしていきたい。

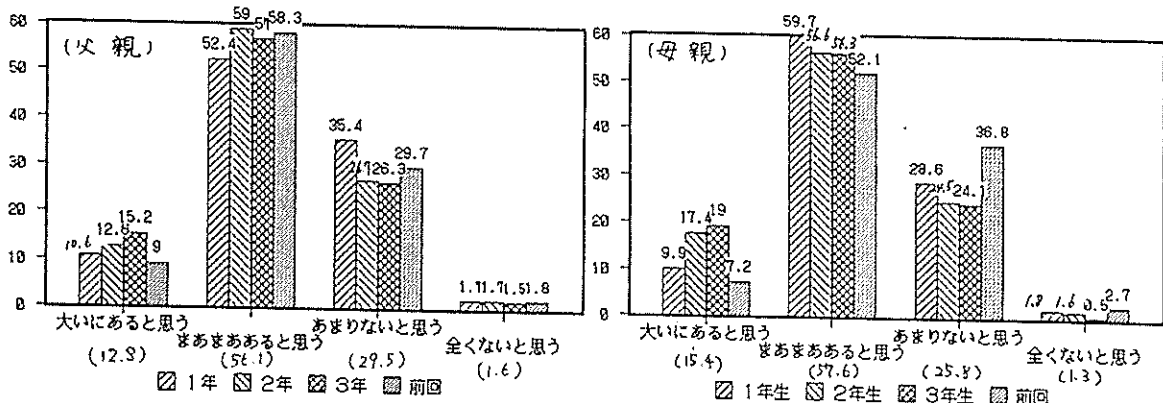
(1) 子どもの性格

親が子どもをどのように評価しているかに関して、中学生の自己評価同様、自主性、積極性、忍耐力の3つの内容の質問を設けた。

まず、自主性に関して「あなたは、お子さんに自主性（自分で判断し行動する）があると思いますか」という質問をした。図3-1は、父親・母親別の結果を示したものである。「前回調査」では、「ある」という割合でみると、母親が59.3%で、父親の67.3%に比べて厳しいものであったが、今回は、母親が73.0%に対し、父親が68.9%であり逆転をしている。特に、「大いにある」の割合が、前回より、父親で3.8%、母親で8.2%高くなっているところが目立った。また、学年が進むにつれて「大いにある」が高くなる傾向もみられた。「中学生調査」の「ある」という自己評価80.8%より全体的に親による評価は厳しいが、親の想定した自主的行動の実際と中学生のそれとは、かなりの食い違いがあるのかもしれない。次に、積極性に関して「あなたは、お子さんに積極性（自分から進んで物事に取り組む）があると思いますか」という問をした。その結果を父親・母親別に示したのが図3-2である。「ある」と思う割合は、父親

図3-1

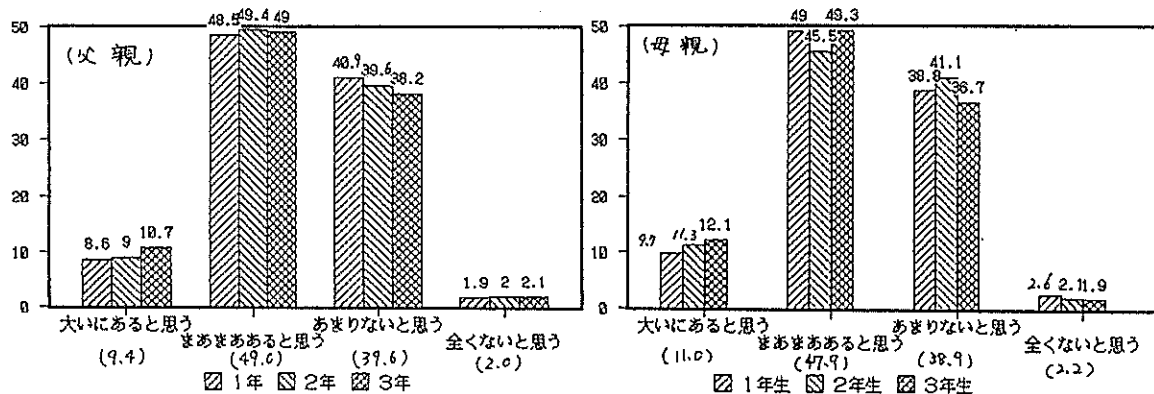
「あなたは、お子さんに自主性（自分で判断し行動する）があると思いますか」



で58.4%、母親で58.9%となり、父母間の差異は特に認められない。他の二つの項目と比べると、積極性については、中学生の自己評価と同じように厳しい評価をしている。また、学年が進むにつれて評価は高くなっていくが、自主性の場合ほどではない。子どもの男女差については、母親で「ある」という割合が女子に対して、1割程度多くなっている。親からの評価と中学生の「ある」という67.3%の自己評価を比べても、親からの評価がやや厳しい程度である。

図3-2

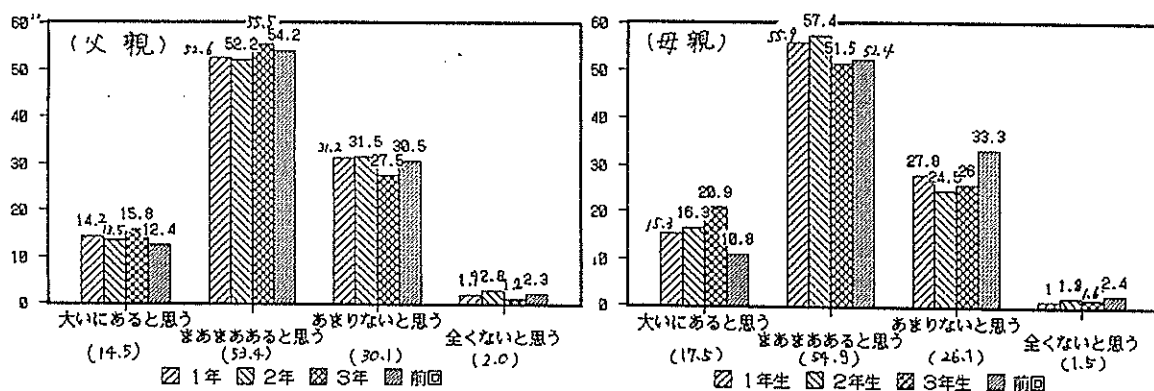
「あなたは、お子さんに積極性（自分から進んで物事に取り組む）があると思いますか」



次に、忍耐力に関して「あなたは、お子さんに忍耐力（がまんすべき時はがまんする）があると思いますか」という問をした。図3-3のような結果であったが、「あると思う」割合でみると、父親で67.9%、母親で72.4%となり、母親の方が子どもの忍耐力を認める割合は高かった。「前回調査」では、父親が66.6%、母親が63.2%であったことからすると、母親について今回の方が増加している。子どもの男女間では、父親の方はそれほど差異は認められないが、母親は女子の方がが

図3-3

「あなたは、お子さんに忍耐力（がまんすべき時はがまんする）があると思いますか」



まん強いと思っているようである。全体的にみて、中学生の「がまんしている」という84.9%の自己評価とはかなり違いがあり、親の方が厳しい見方をしている。中学生からすると「結構がまんしている」となるが、親から言わせると「もっと色々な事にがまん強くなってほしい」となるようである。

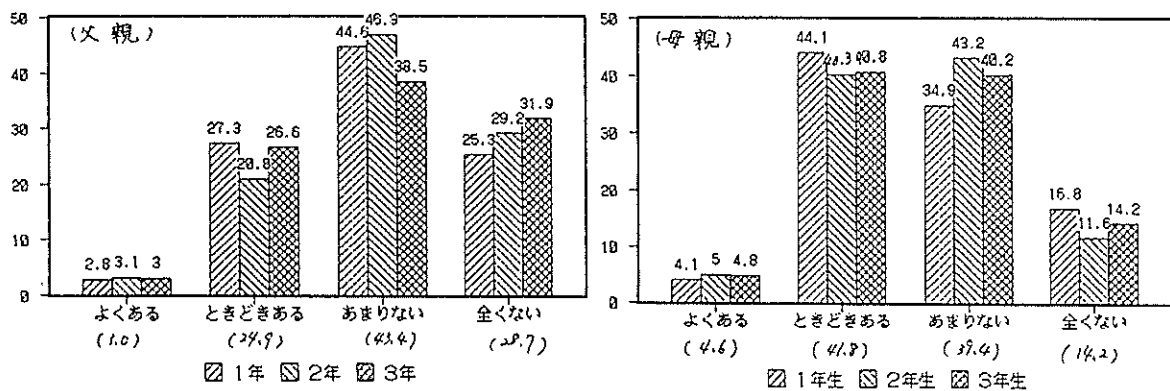
(2) 接し方

親からの子どもの評価については前項でいくぶん明らかになったが、子どもへの接し方は、果たしてどのようなものであろうか。本項では、注意したり叱ったりする場面を中心に、四つの間を設けた。

初めに、「あなたは、お子さんをきょうだいやよその子を引き合いに出して、注意したりしかったりすることがありますか」という問をした。図3-4はその結果であるが、母親の「よく・ときどきある」割合46.4%が父親の27.9%よりかなり高いことがわかる。「小学生調査」では「ある」割合は、父親が36.3%、母親が58.8%であったので、比べると傾向はほぼ同じであるが、その数値は減っている。父親の「よくある」や母親の「よく・ときどきある」では、子どもの男女間の差異は特に認められない。

図3-4

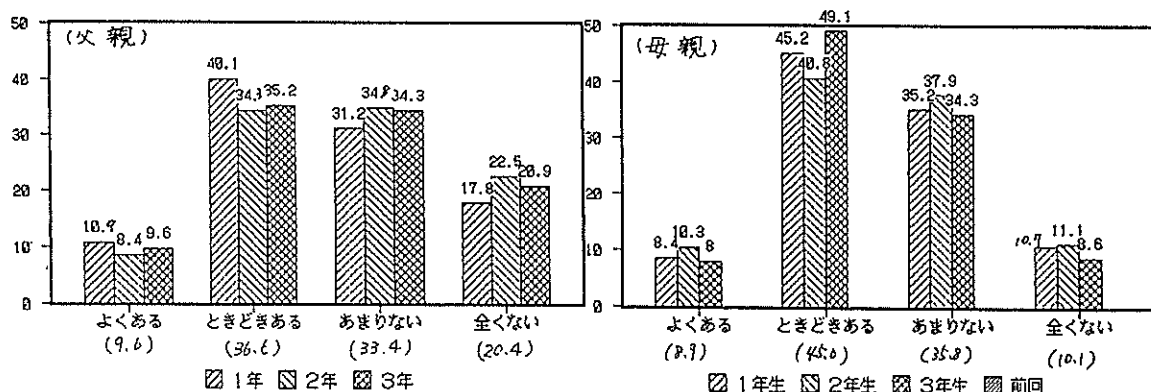
「あなたは、お子さんをきょうだいやよその子を引き合いに出して、注意したりしかったりする頻とがありますか」



次に、「あなたは、お子さんを『男の子だから、女の子だから』と注意することがありますか」という問をした。図3-5はその結果である。「よくある」「ときどきある」をあわせると、父親が46.2%、母親が53.9%であった。きょうだいやよその子を引き合いに出すことより、こちらの方が頻度が多いことがうかがえる。母親の「よく・ときどきある」の男女別の内訳をみると、女子に対する割合63.8%が、男子に対する44.5%よりかなり高くなっている。また、「小学生調査」と比較すると、母親の「ときどきある」の割合が高くなっており、母親からすると中学生時期の女子

図3-5

「あなたは、お子さんを『男の子だから、女の子だから』と注意することがありますか」

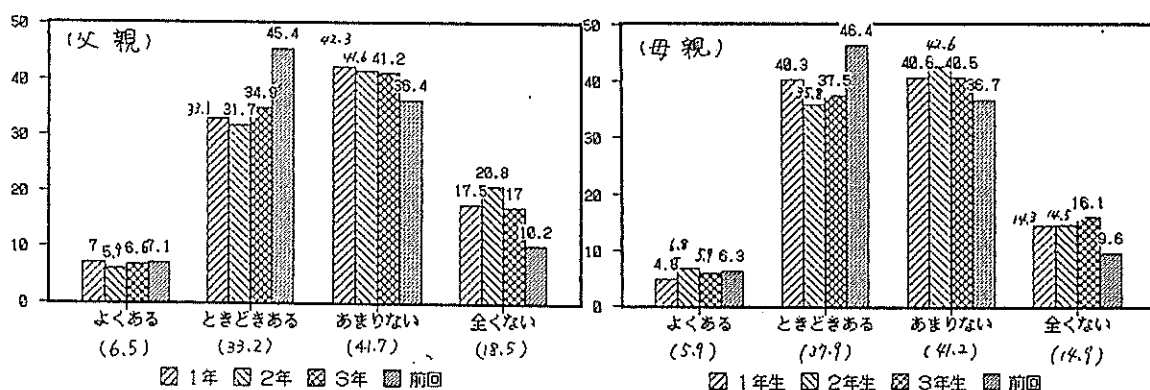


の言動がかなり気になると思われる。

次に、「あなたは、お子さんに対して腹が立ち、殴りたいと思うことがありますか」という問をした。図3-6はその結果であるが、「よくある」「ときどきある」をあわせると、父親が39.7%、母親が43.8%であり、父親・母親間の差異はそれほど認められない。「前回調査」と比較すると、「ある」という割合は、父親で12.8%、母親で8.9%低くなっていることがわかった。学年間の差異はほとんど認められない。

図3-6

「あなたは、お子さんに対して腹が立ち、殴りたいと思うことがありますか」

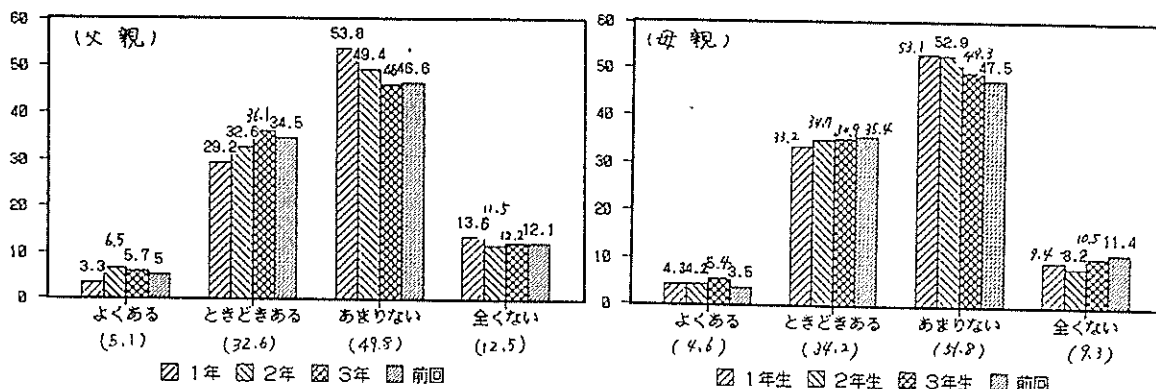


さらに、「あなたは、お子さんが何を考えているのか、その気持ちがわからずとまどうことがありますか」という問をした。図3-7はその結果であるが、「よくある」「ときどきある」をあわせると、父親が37.7%、母親が38.8%であり、父親・母親間の差異はほとんど認められない。「前回調査」と比較しても、ほぼ同じ割合である。気持ちがわからずとまどう割合は、男子に対しての

方がやや高めであることがわかった。学年間の差異は、学年が進むにつれ「よく・ときどきある」の割合が父親・母親とも徐々に高くなっている。

図3-7

「あなたは、お子さんが何を考えているのか、その気持ちがわからずとまどうことがありますか」

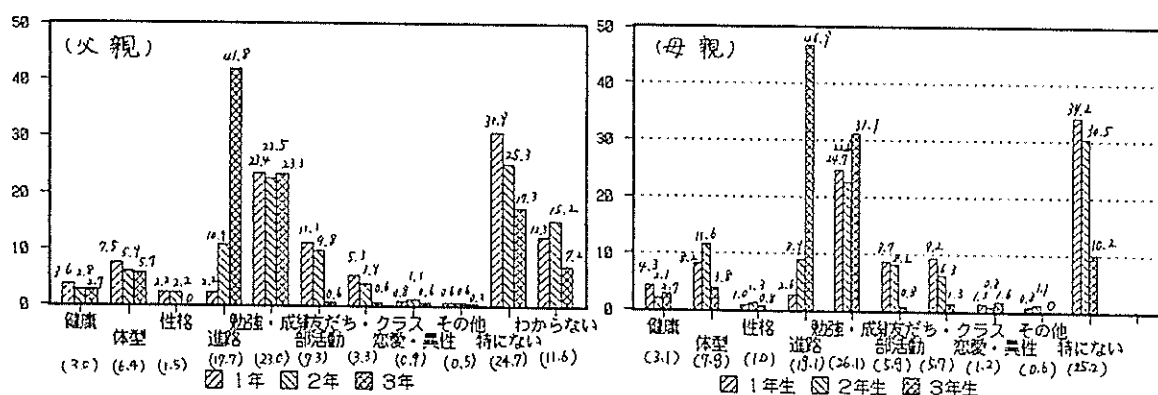


(3) 悩み

中学生を持つ親にとっては、子どもの進路あるいは勉強・成績といったことが気になるところである。親が子どもの悩みをどう考えているか。また、実際に親として悩んでいることは何かについて、それらの実態をみていきたい。

図3-8

「あなたは、お子さんが今抱えている悩みは次のうちどれだと思いますか」

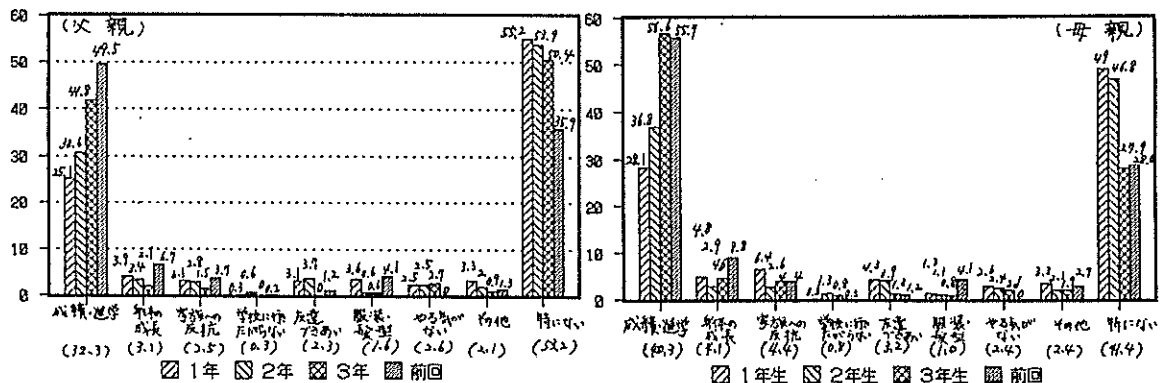


初めに、「あなたは、お子さんが今抱えている悩みは次のうちのどれだと思いますか。」という問をした。最も悩んでいると思うことをまとめたものが、図3-8である。「勉強・成績」「進路」の割合がそれぞれ、父親で23.0%、17.7%、母親で26.1%、19.1%となり高いことがわかった。この傾向は、中学生の回答と共通している。父親の「わからない」が11.6%あるのは、中学生が父親を相談相手として選ぶことが少ないという実態からもうなずける。母親をみて

みると、「進路」に関することは、1年生で2.6%、2年生で8.9%、3年生になると46.9%と、学年が進むにつれ急増している。父親の場合もほぼ同様な傾向となり、3年生では41.8%となった。中学生の回答をみると、実際は父親の割合に近いものになっているが、特に食い違いがみられるのは、「恋愛・異性」が9.5%で3番目であるのに対し、親のそれが1%程度と最も低いことである。さらに、「特にない」についてみると、男子が22.7%、女子が13.5%であるのに対し、父親・母親の割合は、男女ともに25%程度である。女子の悩みに気づいていない親がいる。

図3-9

「あなたは、現在お子さんについて困っていること、悩んでいることがありますか（最も悩んでいること）」



次に、「あなたは、現在お子さんについて困っていること、悩んでいることがありますか」という問をした。「最も悩んでいること」をまとめたものが、図3-9である。「成績・進学のこと」の割合は父親で32.3%、母親で40.3%であり、「前回調査」より15%以上減少している。また、「身体・成長のこと」の割合も若干下がり、「特にない」は、父親で前回35.9%から53.2%へ、母親で前回28.6%から41.4%へと逆に増えている。ただ、学年が進むにつれ、父親・母親ともに「成績・進学のこと」に関する悩みの割合が高くなっている傾向は、「前回調査」と同様である。男女別に「成績・進学のこと」をみると、父親が男子37.9%、女子25.8%母親が男子44.8%、女子35.5%となっており、ともに男子の方に多くなっている。「特にない」については、逆に父親・母親ともに女子に多い。男女の差がみえている。「次に悩んでいること」として最も多かったのは、父母のどちらも「友だちづきあい」で、父親が24.7%、母親が25.9%であった。

(4) まとめ

親からの子ども評価が厳しくなるのはある程度やむをえないが、子どもたちが成長発達過程にあり、これからの可能性を十分に秘めているという将来を展望した余裕のある接し方が大切であろう。したがって、性急に不十分さのみに目を向けるのではなく、その子なりにがんばっていることを適切に評価し、さらにその努力を伸ばしていけるように見守ることを心がけたいものである。

子どもが直面している悩みの解決の一助となるには、まず親も良き話し相手となり、子どもの抱えている悩みが何であるかを知らなければならない。そして、親の子どもに関する悩みについても冷静にまともに投げかけてみたりして、率直な意見の交換ができるように導くことが求められている。

4. 養育意識

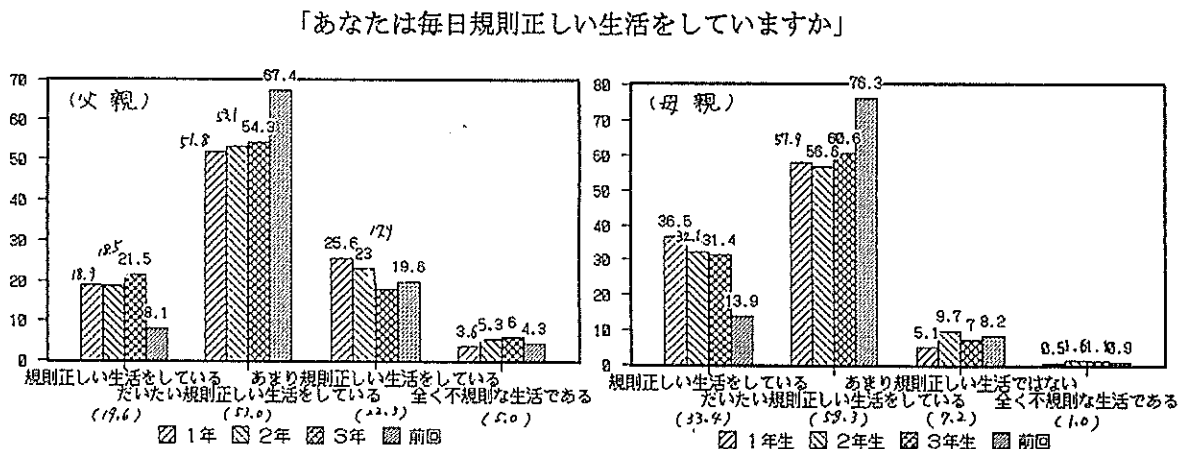
養育行動の陰には親の願いと反省、喜びや心配などの心の動きが潜んでいる。例えば、願いが強くとると過干渉、心配がつると過保護になったりすることがある。子どもを養育することは、子どもを鏡として自分の生き方を見つめなおす営みであると考えることができる。そのことに気付いたとき親であることが可能になるであろう。ここでは親自身の「生活」の一端とその「充実感」の調査から親の気持ちの余裕を、また親としての「自己評価」と「情報化」の調査から養育者観を、さらに「しつけの目標」の調査から養育観を明らかにすることを目標とする。

(1) 親の生活

親が規則的生活をすれば家庭には生活のリズムが定着する。このリズムが習慣化の指標になり、さらに家族を一体化する。図4-1に示すように「あなたは毎日規則正しい生活をしていますか」という問いに、父親では、「している」という割合が19.6%、「だいたいしている」が53.0%であり、あわせて72.6%であった。「前回調査」ではあわせて75.5%であり変化していないようにみえるが、「している」が8.1%、「だいたいしている」が、67.4%であって、今回の方が程度の上昇がある。母親については「している」という割合が33.4%、「だいたいしている」が58.3%であり、あわせて91.7%であった。「前回調査」では「している」が13.9%、「だいたいしている」が76.3%で、今回の方が「している」割合が2割ほど上昇している。

家庭における情報化がテレビの視聴であるなら、家族がそれぞれに情報を発

図4-1



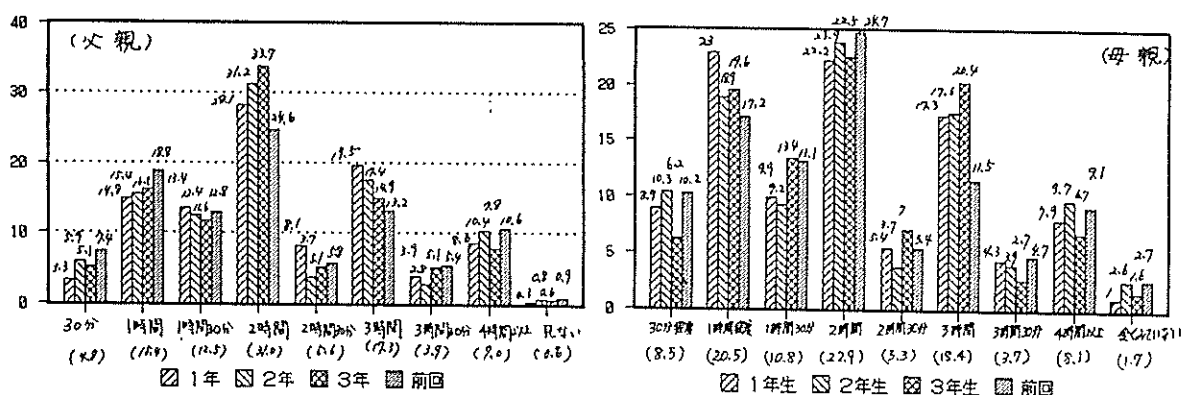
信する機会が少なくなり、ひいては生活感の伴わない会話に終始しかねない。

「あなたはテレビを一日平均してどのくらいみていますか」という問についての図4-2を見ると、父親は「2時間程度」が31.0%と最も多く、次に「3時間程度」が17.3%と続いている。「2時間以内」でまとめると63.7%であった。

「前回調査」では「2時間」が24.6%、次は「1時間」の18.8%であった。傾向として今回の方が視聴時間が増えているようである。母親は「2時間程度」が22.9%、「1時間程度」が20.5%、「3時間程度」が18.4%と続き、「2時間以内」でまとめると62.7%であった。「前回調査」に比べると、「2時間」が24.7%でほぼ同程度であるが、「1時間」が17.2%で増加気味で、「3時間」が11.5%で今回の方が増えてきている。

図4-2

「あなたはテレビを一日平均どのくらいみていますか」



規則的生活が定着しつつある一方で、テレビ視聴の時間が増えている。生活のゆとりが家族の向い合う時間に振向けられればよいのだが、中学生への調査で親とテレビなどについて話をするかという問に対する回答が前回に比べて増えていないことから考えると、それはなっていないようである。

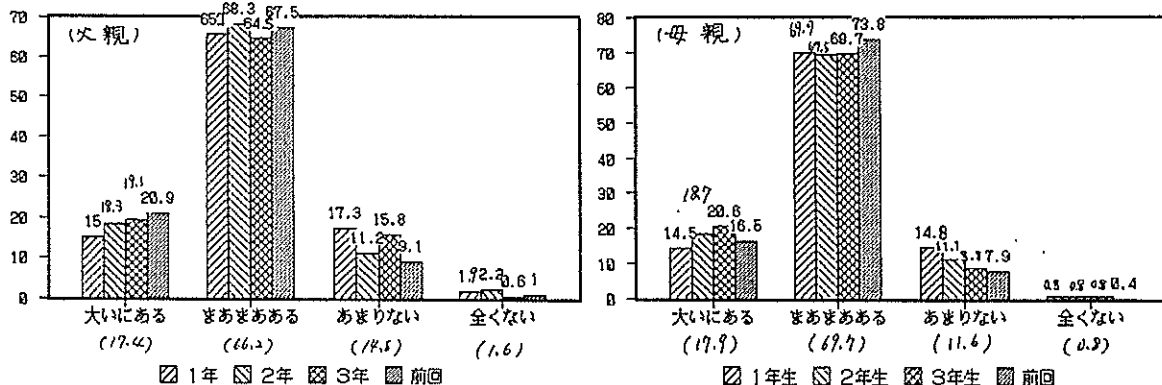
(2) 充実感

親が生活の充実感に溢れていれば、子どもは親の発散するエネルギーに包まれて豊かな落ち着きを得ることができる。「あなたは毎日の生活に充実感がありますか」という問に対する図4-3の結果からわかるように、父親では「大いにある」が17.4%、「まあまあある」が66.2%であり、あわせると83.6%であった。「前回調査」では、「大いにある」が20.9%であったので多少減っている。母親については、「大いにある」が17.9%、「まあまあある」が69.7%で、あわせて87.6%であった。学年別にみると「大いにある」が学年とともに増え、「あ

「あまりない」が減っている。「前回調査」との比較では「あまりない」がわずかに増えている。

図 4-3

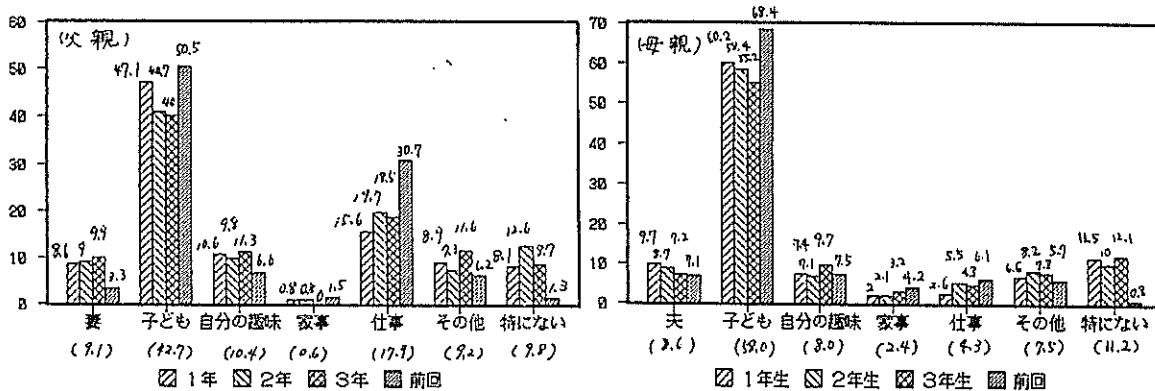
「あなたは毎日の生活に充実感がありますか」



充実感を生み出しているのが生きがいである。その生きがいの対象は何であろうか。「あなたの生きがいの対象は何ですか」と問うてみた結果が図 4-4 である。父親・母親ともに「子ども」が第一位で、その割合はそれぞれ42.7%と58.0%であった。父親の方が15%ほど少ないが、その分は「仕事」とする父親17.9%と母親4.3%の違いに現れている。「子ども」について学年別にみると、2・3年生になると父親・母親ともに生きがいの対象から外れてくる傾向がみえる。また男女別では、父親・母親ともに女子の方が生きがいの対象になる割合が高い。「前回調査」に比べると、父親については「子ども」・「仕事」の割合が減り、「妻」・「趣味」が増えているが、母親では「子ども」の割合の減少が他の生きがいの増加には現れていない。父親・母親ともに「特に

図 4-4

「あなたの生きがいの対象は何ですか」



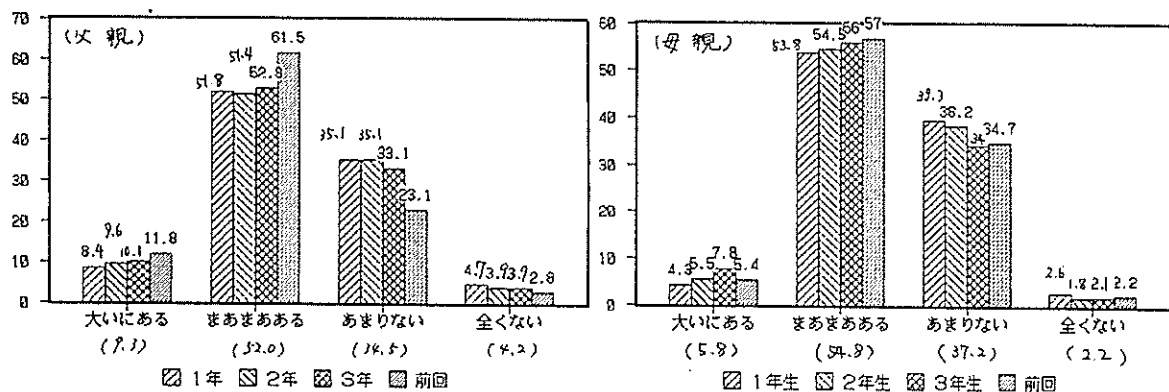
ない」の割合が10%ほど今回の調査で現れたことが気になることである。親の生きがいの対象としての「子ども」の割合が減少する傾向が、子どもの養育にどのように反映するのか、これからの課題である。

(3) 自己評価

子どもが親のしつけを納得して受入れるのは、親の自信ある態度が示されるときである。自信こそ説得力の源である。「あなたはお子さんのしつけについて自信がありますか」との問に、父親では「大いにある」が9.3%、「だいたいある」が52.0%をあわせると61.3%であった。「前回調査」では、それぞれ11.8%と61.5%で、あわせると73.3%であったから、12.0%の減少である。母親については、「大いにある」が5.8%、「だいたいある」が54.8%をあわせると60.6%であった。「前回調査」では、あわせた割合が62.4%であり、ほとんど変わっていない。学年別では図4-5に示されるように、母親について学年とともに自信がついていくようである。

図4-5

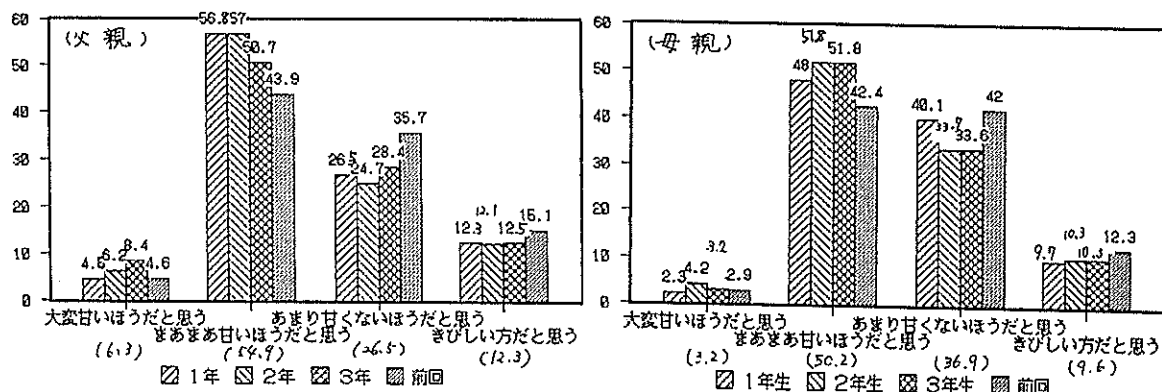
「あなたはお子さんのしつけについて自信がありますか」



しつけとは、子どもにとって強いられることが多く嫌がるために、親はどうしても忍びなくて甘くなりがちである。親は、自分が甘くなっているか自問自答することで、甘さにブレーキをかけることができる。「あなたはお子さんのしつけについて甘いほうだと思いますか」とたずねてみた。その結果を図4-6に示すと、父親については「大変甘い」という割合が6.3%、「まあまあ甘い」が54.9%で、あわせて61.2%であった。「前回調査」でのあわせた割合は、48.5%であったから12.7%の増加である。母親については、「大変甘い」が3.2%、「まあまあ甘い」が50.2%をあわせると53.4%であった。「前回調査」での45.3%と比べると8.1%の増加である。父親・母親ともに甘くなっている。

図 4-6

「あなたはお子さんのしつけについて甘い方だと思いますか」

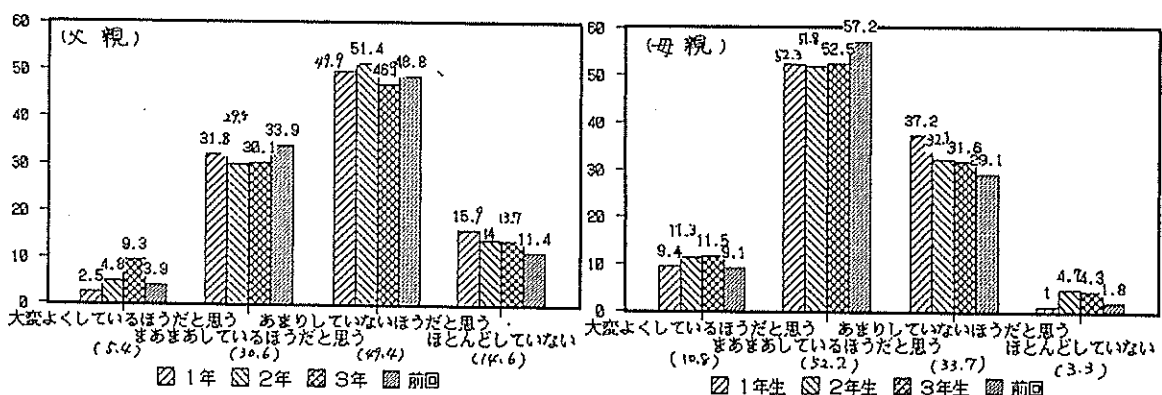


この間については子どもの性別による違いがみられた。「甘い」というあわせた割合でみると、父親は、男子に対して57.5%、女子に対して65.6%と女子に甘く、一方母親は、男子に対して56.4%、女子に対し50.3%と男子に甘くなっている。中学生から見た親の甘さに関する結果は、甘いと答えた割合が父親に対して51.6%、母親に対して46.2%であり、親が思うほどには甘いとみていないようである。男女差については、父親に対して男子は48.8%、女子は54.6%、母親に対しては男子は48.7%、女子の43.6%が甘いと思っており異性の子どもに甘いという親の自己評価の結果と一致している。

世話の内容にもよるが、通常親がなすべき世話は、子どもの成長とともに減っていくのが自然である。親の世話を必要としなくなっていくことで子どもの成長が実感できるはずである。ところで、「あなたはお子さんの世話をしているほうだと思いますか」という間に対する図 4-7 に示す結果をみてみよう。

図 4-7

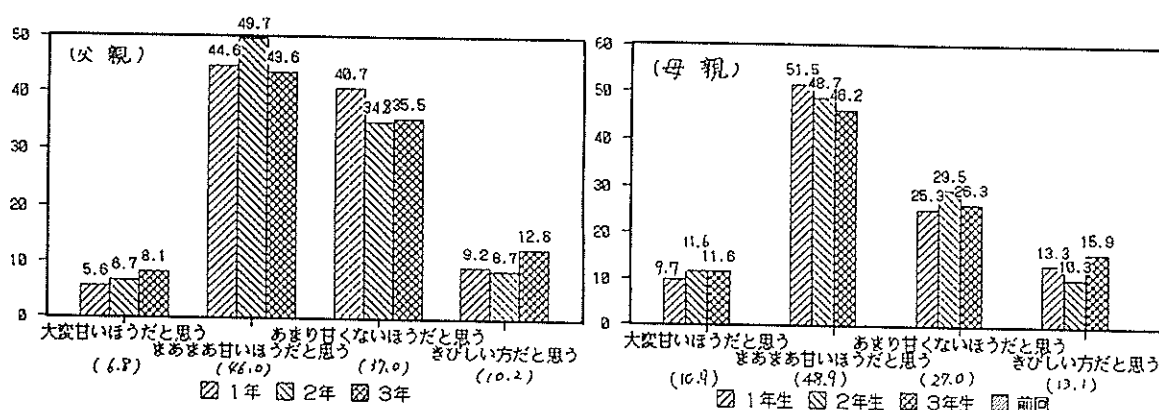
「あなたはお子さんの世話をしているほうだと思いますか」



父親では、「大変している」割合が5.4%、「だいたいしている」が30.6%、あわせて36.0%であった。「前回調査」では、あわせた割合が37.8%であったから、ほとんど変わっていない。母親では、「大変している」割合が10.8%、「だいたいしている」が52.2%で、あわせて63.0%であった。「前回調査」では、あわせて66.3%であった。男女別でみると、母親は、あわせた割合が男の子に対し66.1%、女の子に対し59.7%と男の子の方が多くなっている。父親では、男の子に対しての方がわずかに多くなっている。

図4-8

「あなたは父親（母親）のお子さんに対するしつけを甘いほうだと思いますか」

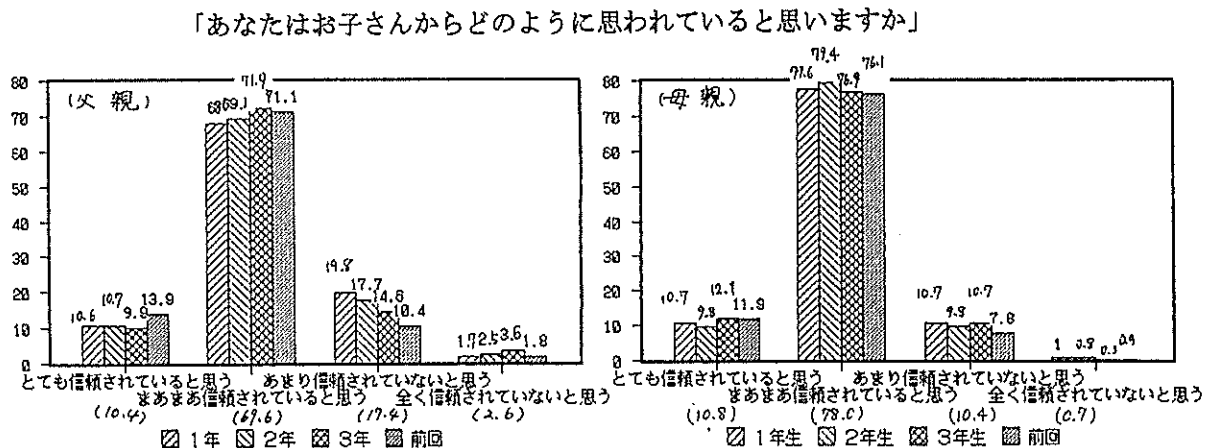


養育において、父親・母親は、子どもとの親子関係だけではなく、父と母という関係もつくり上げておく必要がある。お互いを補い合う関係とも言えるであろう。そのためには、お互いを認知しておくことが前提となる。そこで、「あなたは父親（母親）のお子さんに対するしつけを甘いほうだと思いますか」とお互いに相手の養育を評価してもらった。その結果を示したのが図4-8である。父親からみて母親のしつけは、「大変甘い」が6.8%、「まあまあ甘い」が46.0%で、あわせると52.8%であった。母親からみた父親のしつけは、「大変甘い」が10.9%、「まあまあ甘い」が48.9%で、あわせると59.8%になる。この相互評価の値はそれぞれの自己評価の値とよく一致している。また母親からみたとき、父親が男子に甘い割合は、54.7%であるのに対し、女子には65.2%と多くなっているが、これも父親の自己評価と符合している。

家庭教育が、親子の間の信頼関係の上に成り立つのは当然であるが、大切なことは信頼があるという自覚である。「あなたはお子さんからどのように思われていると思いますか」という問いかけで、信頼されていると思うかどうかをたずねた。図4-9にみられるように、父親・母親ともに信頼されていると思

っている。「とても信頼」が父親で10.4%、母親で10.8%とほぼ同じである。「まあまあ信頼」については、父親が69.6%、母親が78.0%と、母親の方が8.4%だけ多くなっている。「前回調査」に比べると、あわせた割合は母親で変わらないが、父親は5.0%だけ減っている。中学生が親を信頼している割合と比較をしておこう。あわせた割合でみると、父親を信頼する割合は81.4%で、父親の自己評価では80.0%、また、母親を信頼する割合は86.2%であるのに対して、母親の自己評価では88.8%であり、ともによい一致をしている。

図4-9



親自身の自己評価は中学生からの評価、あるいは親相互の評価とよく一致しており矛盾はみられない。しかし、その内容については、父親についてしつけの自信が薄らぎ、子どもに甘くなり、子どもからの信頼が揺らいでいるという傾向に対し、母親がカバーできていないことがうかがえる。父親不在という方向への流れは一段と進んでいるようである。

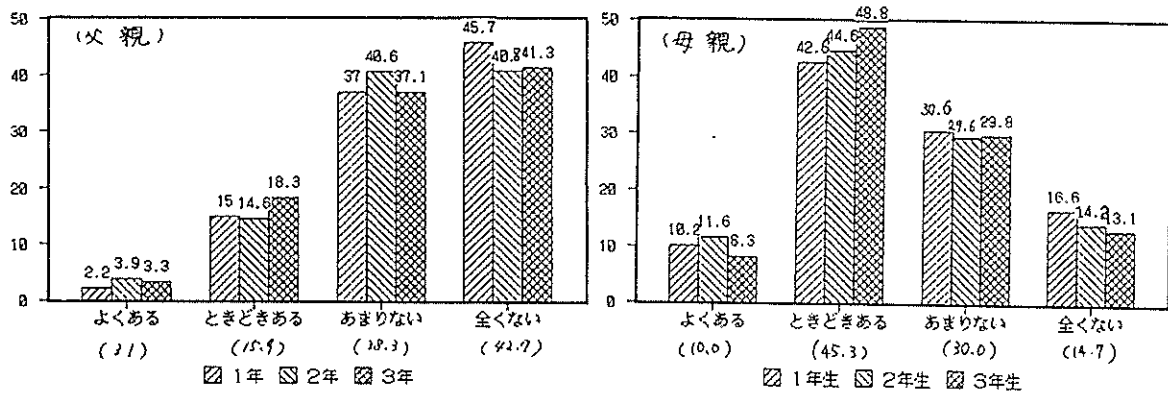
(4) 養育情報

養育の実際は、子どもの年齢に応じて変わっていくものが多い。親がいつまでも子ども扱いすることは適当ではないということである。子どもは親のしつけのレベルにあわせた振舞いをするので、中学生にふさわしいしつけを行うためには、親も学ばなければならないことが出てくるはずである。「あなたは、しつけについて本を読んだりテレビ番組をみたり講演会にいったりすることがありますか」という問の結果をみてみよう。図4-10にみられるように、父親と母親では大きく違っている。父親では、「よくある」が3.1%、「ときどきある」が15.9%で、あわせると19.0%となり、「小学生調査」の割合よりも6.6%の減少である。母親は、「よくある」が10.0%、「ときどきある」が45.3%であ

わせると55.3%となり父親よりも多くなっている。「小学生調査」でのあわせ
た割合に比べると5.9%だけ減少している。

図4-10

「あなたは、しつけについて本を読んだりテレビ番組をみたり講演会にいたりすることがありますか」

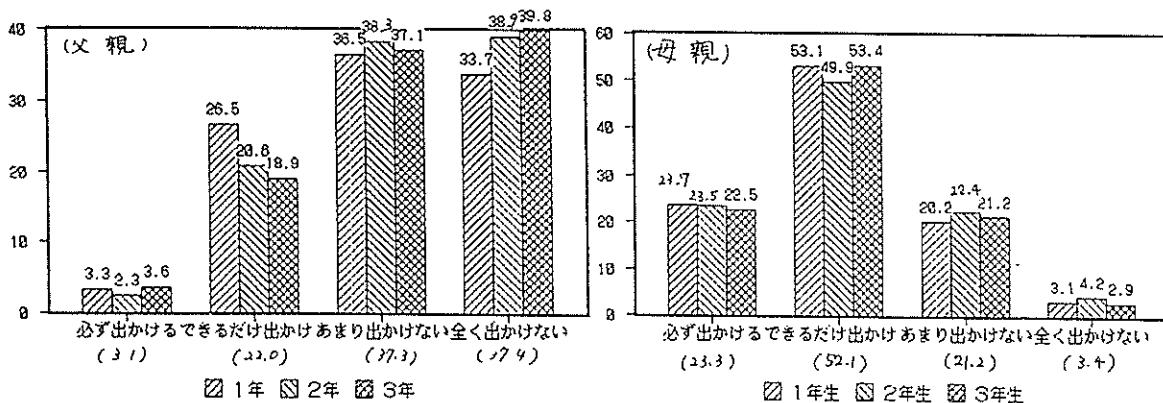


子どもがみえなくなると言われることがあるが、親の側にも一因がある。わ
が子だけをみているとあまりに近すぎて、かえって子どもを見失ってしまう。
子どもたちを視野に入れる機会をもつことで、わが子のことがわかることが多
い。学校に出かけるのはその絶好のチャンスである。

「あなたは、学校の授業参観や説明会などに出かけていますか」とたずねて
みた。父親では、「必ず出かける」が3.1%、「できるだけ出かける」が22.0%
で、あわせると25.1%となった。図4-11に示されるように、学年別にみると、
1年生から2年生にかけて「でかける」割合が、29.8%から22.9%に減ってし
まい、その分「全くでかけない」が増えている。また男子の父親の方が27.1%
で、女子の父親の22.7%よりも多い。母親では、「必ずでかける」が23.3%、「で

図4-11

「あなたは、学校の授業参観や説明会などに出かけていますか」



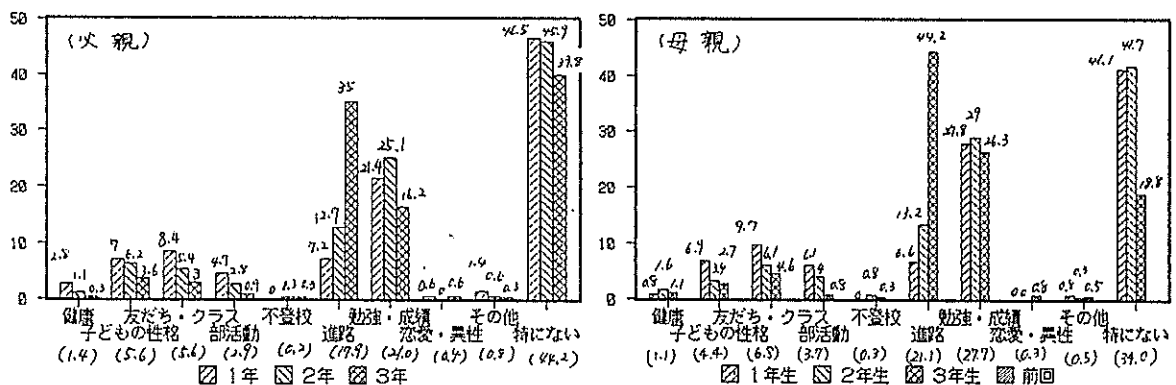
きるだけ」が52.1%となり、あわせると75.4%で、父親のそれの3倍である。

学校の先生は、養育について親のパートナーである。子どもたちをいつも視野に納めているので豊富な養育情報を持っている。学校が持っている情報を積極的に利用するためには、親の方からも自分が抱えている問題も含めて情報を提供することである。情に報いることがパートナーの間の情報化である。「あなたが学校の先生に相談したい内容は次のうちどれですか（最も相談したい内容）」という問についてみてみよう。結果は図4-12に示してある。最も多いのは、「特にない」で、父親44.2%、母親34.0%であった。2番目は、「勉強・成績」で父親21.0%、母親27.7%であり、3番目は、「進路」で父親17.9%、母親21.1%となっている。学年別では「進路」に関して変化が大きい。父親では、子どもが3年生になると他の項目を差し置いて「進路」の相談に傾いていく。しかし、「特にない」の割合は、減っていない。母親でも同じように3年生になると「進路」が急増する。父親と違っているのは、「特にない」が激減していることである。3年生になって急に進路問題が浮上してくるようである。子どもの人間関係に関する「友だち・クラス」「部活動」などの相談が1割程度ある。その割合は、学年とともに減っているので一見して安心かとも思えるが、進路問題に擦り変わっていることも考えておくべきであろう。

養育情報を積極的に取り入れようとしているのは母親で父親はあまり熱心ではない。父親の情報音痴が父親としての養育が見えてこない原因であろう。

図4-12

「あなたが学校の先生に相談したい内容は次のどれですか」

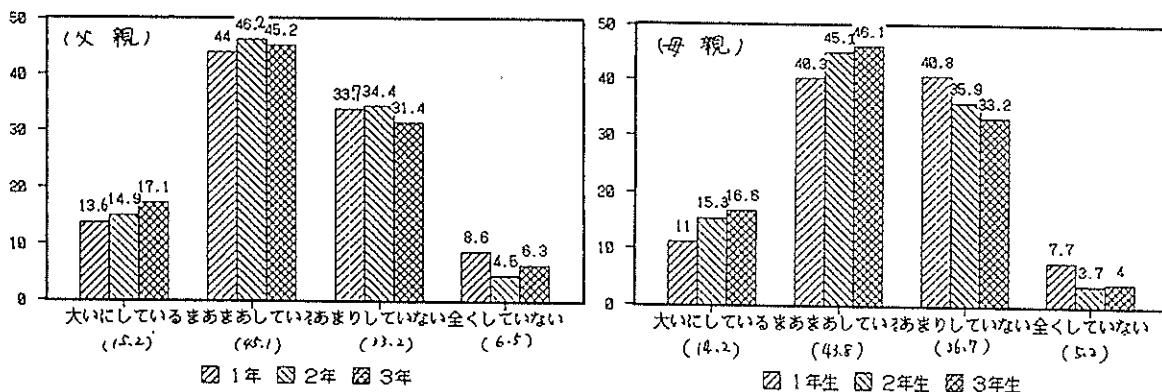


(5) しつけの目標

生きることには喜びを持つのは、自分を大切に思う心である。子どもの育ちたいという気持ちを支えているのが自尊心であり、人として自分はどうあればと自己を高める意識を目覚めさせてくれる。「あなたは、お子さんにプライドを持たせようとしていますか」と親に問いかけてみた。父親については、「大いにしている」が15.2%、「まあまあしている」が45.1%母親については、「大いにしている」が14.2%、「まあまあしている」が43.8%であることが図4-13に示されている。あわせて「している」という割合でみると、父親60.3%、母親58.0%で変わらないが、学年別では、母親が1年生に対する51.3%から2年生60.4%、3年生62.7%へと10%増えている。また、男女別では、父親の「している」割合が男子に対し63.9%、女子に56.1%、さらに母親が男子に対し60.4

図4-13

「あなたは、お子さんにプライドを持たせようとしていますか」

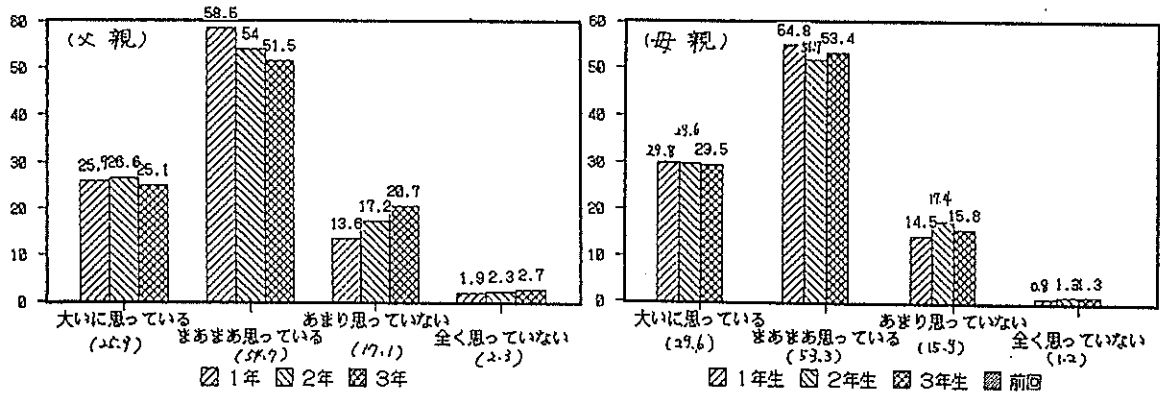


%、女子に55.5%といずれも男子のほうに高くなっている。

子どもにとっては、人とのつながりがある安心できる場が育ちの場である。安心できるのはこうあったらいいのといった条件は付けずに受け入れてもらえることであり、言い換えればただ一緒にいたいと望まれているということである。「あなたは、休みの日にお子さんといっしょにすごしたいと思っていますか」という問に対して、父親では、「大いに思う」が25.9%、「まあまあ思う」が54.7%で、あわせると80.6%になる。学年が進むにつれて「まあまあ思う」の割合が減り、「あまり思わない」が増えている様子が図4-14から読み取れる。母親については、「大いに思う」が29.6%、「まあまあ思う」が53.3%で、あわせると82.9%であった。男女別にみたとき、父親は、分け隔てせずとともに80%程度であるが、母親は、男子に対し80.5%、女子には85.5%と差がつい

図4-14

「あなたは、休みの日にお子さんといっしょにすごしたいと思っていますか」



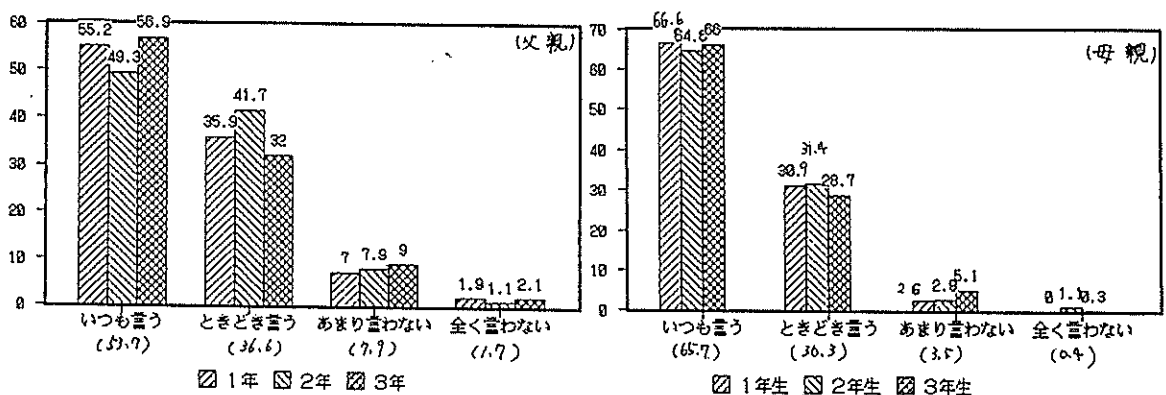
ている。

よい人間関係とは、どうぞと手を貸して、ありがとうとお礼を返す関係である。この形が定着したとき心を通い合わせることができる。親子の関係では、相手の言葉が素直に耳に入るようになる。「あなたは、お子さんに用事を頼んだ後、ありがとうと言っていますか」という問に対する結果が図4-15に示されている、父親では、「いつも言う」が53.7%、「ときどき言う」が36.6%で、あわせて90.3%に達している。母親の方も「いつも言う」が65.7%で、「ときどき言う」が30.4%、あわせて96.1%となった。

口を聞かない間柄と言えは犬猿の仲が連想される。相手を認めたくない間柄である。逆に考えれば、言葉を交わす間柄とは、相手を認め合うことになる。挨拶は認知の大切なサインである。何気ない言動の中に大事な心が込められている。「あなたは、お子さんやお子さんの友だちに自分から先に挨拶などの声

図4-15

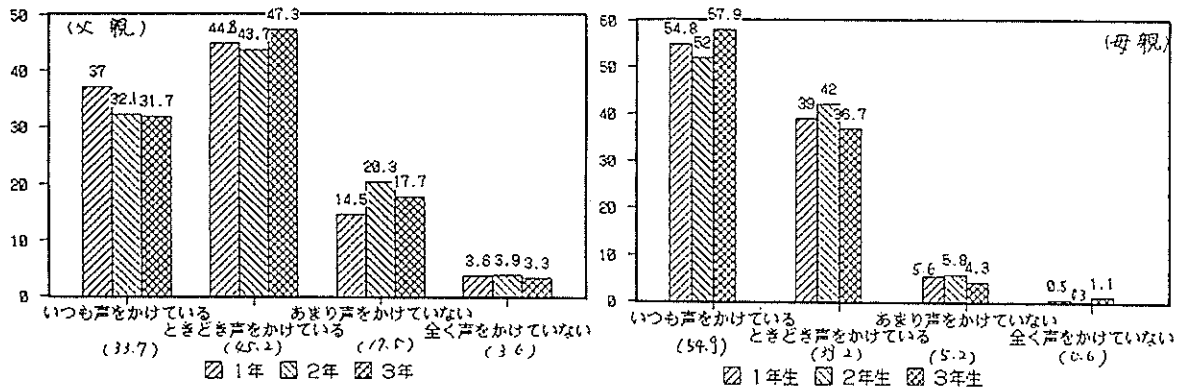
「あなたは、お子さんに用事を頼んだ後、ありがとうと言っていますか」



をかけていますか」の間に、親はどのように回答しているだろうか。図4-16をみてみよう。父親では、「いつも声を」の割合が33.7%、「ときどき声を」が45.2%、母親では、「いつも声を」が54.9%、「ときどき声を」が39.2%となっており、母親の方が積極的である。男女別では、母親には違いは見られないが、父親には女子に対し多少声のかけにくさがみてとれる。

図4-16

「あなたは、お子さんやお子さんの友だちに自分から先に挨拶などの声をかけていますか」

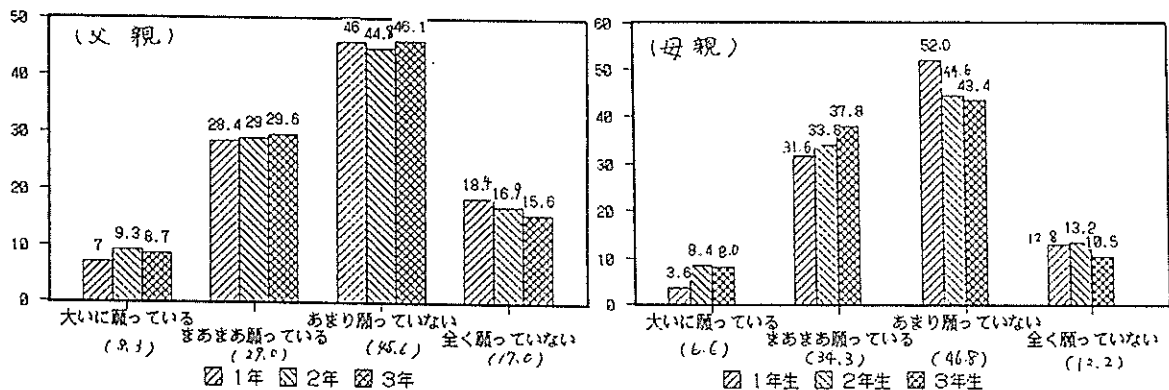


子どもは、親に似ると言われ続けてきた。それならより良い子どもに育てほしいと願うとき、親は自分がより良い大人でなければならない。後悔を身に背負う親は思い通りにならない自分に直面させられる。自分を悔やむことは後ろ向きでしかない。親が自分をありのまま好きになれば親の後ろ姿は自然になり、子どもはどれほどか楽になれることであろう。

「あなたは、お子さんがあなたの生き方をまねてくれることを願っていますか」という、親にとってはつらい問をあえてしてみた。父親では、「大いに願う」

図4-17

「あなたは、お子さんがあなたの生き方をまねてくれることを願っていますか」

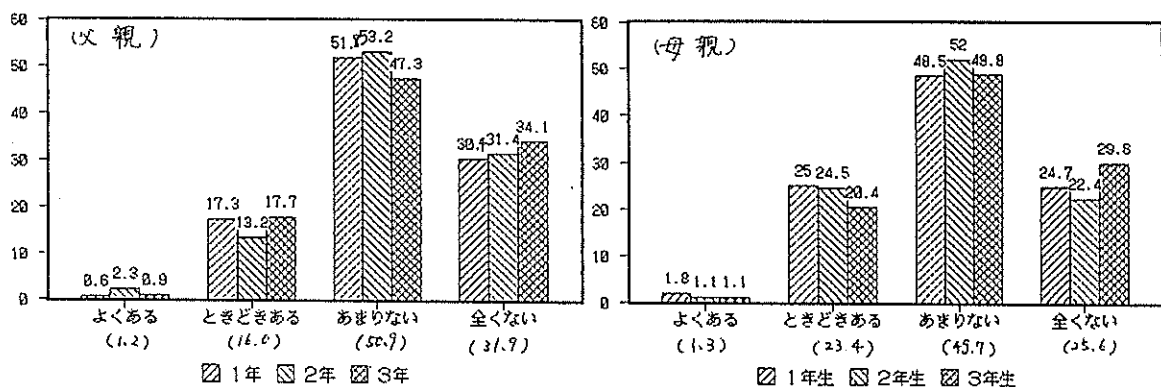


が8.3%、「まあまあ願う」が29.0%で、あわせて37.3%であった。母親では、「大いに願う」が6.6%、「まあまあ願う」が34.4%で、あわせて41.0%であった。図4-17からわかるように、父親・母親ともに「大いに願う」が一桁にすぎない。学年差、男女差は父親にはみられないが、母親には1年生35.4%から3年生45.8%に願う割合の増加がみられ、また、男子に対し43.3%と女子の38.5%より大きな割合があらわれた。

人を育てるこつは信頼することである。子どもでも信頼に応えることには、喜びが感じられるはずである。信頼するとはたとえ失敗することがあっても任せて心配を抑え込むことである。「あなたは、お子さんが失敗することを心配して用事を頼むことをためらうことがありますか」という問は逆の意味を持っている。父親では、「全くない」が31.9%、「あまりない」が50.9%で、あわせると82.8%であった。母親では、「全くない」が25.6%、「あまりない」が49.7%で、あわせると75.3%となり、父親の割合よりも少ない。図4-18に示す学年別には、母親が、1年生に対し「ない」が73.2%であるのに3年生では78.6%に増えている。男女別では、父親・母親ともに女子の方に若干「ない」が多い。

図4-18

「あなたは、お子さんが失敗することを心配して用事を頼むことをためらうことがありますか」

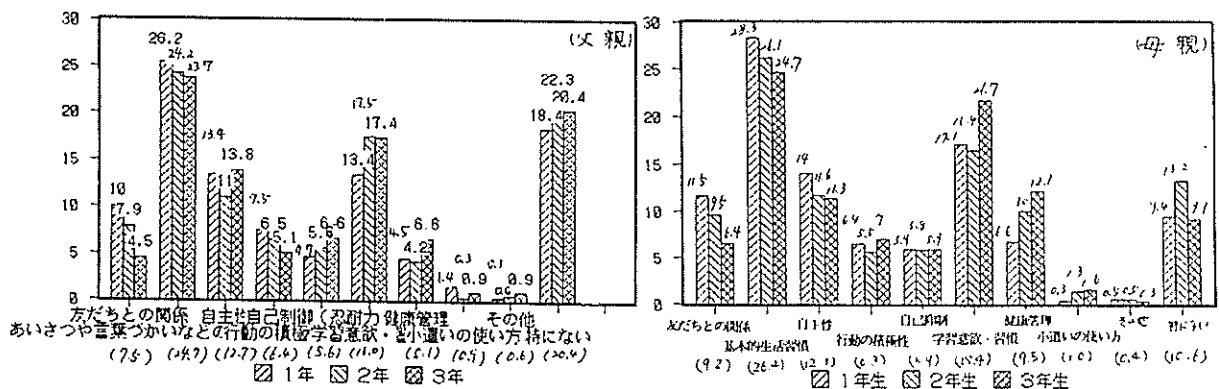


親になるのは簡単だが親であることは困難である。それは親としての心配の種が尽きないからであろう。親の心配はどんな傾向にあるのだろうか。「あなたは、お子さんのしつけについて今どんなことに心を配っていますか」（最も心を配っていること）という問についてみてみよう。結果は図4-19に示すとおりである。第一位は、「あいさつや言葉づかいなどの基本的な生活習慣」で、父親が24.7%、母親が26.4%であった。第二位は、「学習意欲・習慣」で、父親・母親それぞれ16.0%、18.4%となり、第三位は、「自主性」で、それぞれ12.7

％、12.3％であった。全体の傾向は、父親と母親でとてもよく似ている。「特
にない」については、父親が20.3％、母親が少なくとも10.6％であった。項目別
にみていくと、まず「学習意欲」は、父親・母親ともに学年進行につれて他の
項目の割合を減らしながら増えている。また、男女別では、父親が男子に対し
20.1％、女子に対し11.3％、一方、母親がそれぞれ20.7％、16.0％といずれも
男子の方の割合が高くなっている。ただ、母親で「健康管理」が学年とともに
増えているのは進学に向けた無理な生活をうかがわせてくれる。次に、「生活
習慣」については、学年とともに減少気味であるが、学習意欲に引きずられた
可能性が強い。男女別にみると、父親は男子に対し20.8％、女子に対し29.3％
で、一方、母親はそれぞれ20.8％、32.3％であり、ともに女子の方の割合が1
割ほど高くなっている。

図4-19

「あなたは、お子さんのしつけについて今どんなことに心を配っていますか」



子どもが育つためには、親はバランスのとれた養育を施すことが求められる。子どもの問題行動や親の心配の種は、バランスの壊れた部分に現れ易い。親が自分の生き方にもっと自信を持てるようになれば、バランスが壊れることはなく子どもも育ち易くなるのではないかという期待が調査の結果から見えてくる。

(6) まとめ

養育者としての親が意識しようといまいと、親の生き方が子どもの育ちに最も影響を及ぼす。親子が似るといえることがそのことを証明している。社会状況の変化の中で親である大人の社会は大きく揺れている。そのあおりを家庭も受けざるを得ない。ゆとりがキーワードになって久しいがそのゆとりが家族の間で共有されるようになっていないようである。例えば、テレビの視聴時間

が増えているが、親と子どものみる番組は別になり、共有するものではない。子どもが生きがいから外れたとき、父親は妻にも移るが、父親・母親ともに生きがいがないという割合が増えている。何となく生きるという若者のライフスタイルが蔓延し始めてきたように見える。親という懐の深い役割が薄れつつある。

子どもの育ちに直接に関わっている親がしつけに甘くなっているが豊かな社会の中では、甘えることも豊かさの一面と考えられないこともない。社会と無縁ではあり得ない現れであろう。しかし、養育者としては、甘えさせているという自覚を失ってはならない。しつけが甘いと自己評価しているために、これで良いのかという反省と懐疑が自信喪失につながっていく。この循環を断つには、養育者としての自分を高める必要がある。最初にやるべきことは、意図的な家庭生活の再構築に両親がとりかかることである。その一環として養育情報の収集があるが、中学生時代に横たわる進学という壁に足元をすくわれ、しつけの学習もままならないようである。家庭を動かすために父親の一層の奮起が望まれる。価値観の多様化は、しつけの目標を分散させかねない。選択できるということは、選択しなければならないということである。そこには、見識と責任が求められる。その重みに耐えられなければ安易さに流されてしまう。しつけとは価値観の定着行為である。生きていく上であるいは人としての価値は幾つか考えられる。親がそれらを子どもに過不足なく与えることが養育である。何を選び取るか、親の責任は重いが、自分の中にある価値が親にとって十分であるなら、それは、子どもにとっても不可欠なものであろうという推察は成り立つ。しかしながら、子どもに自分の生き方をまねしてほしいと思う親が少ないという結果は、自分の中にある価値が見えていないことを示している。見えにくい価値を見つける方策は、親相互の養育観の交流から手に入るはずである。

第Ⅲ章 まとめと今後の課題

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

これまでの調査で明らかにされているポイントは、親の養育態度がバランスを欠き、その背後には育てねばという過剰な養育意識が働いているということであった。そのために子どもたちは受け身の立場に置かれ、今日一日の自分の生活の中に閉じ込められて、伸び伸びと育つ場が与えられていない。例えば、忍耐するためには、忍耐することが明日につながるという自覚を必要とする。今日だけを満足して生活する状態では、子どもに忍耐を求めることは無理なことである。

子どもたちの問題行動は、子どもの問題ではなくて親の問題である。子どもは、与えられた環境の中でごく素直に育っているだけである。家庭や地域という大人が用意した「子育て」の環境に解決の糸口が存在している。子どもの問題点を指摘することから一歩踏み込んで、親や大人たちの側に投影することによって、原因の把握が可能になる。

本報告書は、中学生とその親に対するアンケート調査から、「子育て」と「子育て」のマッチングの実態を解き明かし、親が解決すべき課題を探ることを意図している。詳しい実情の報告は本文に譲り、ここでは全体的な傾向をまとめ、今後の課題になる要点を抽出しておくことにする。

1. 中学生の実態

さまざまに指摘されている中学生の実態を中学生自身に答えてもらうことによって、大人が抱えている印象を検討し、なおその違いが何かを探ってみることにする。

(1) 全体的な特徴

自意識の面では、自分のことは自分でしようと考えている。確かに遅刻をする中学生は少なく自主的であると言えそうである。ところが、実態は朝ほとんど親に起こされ、さらに当番にまじめに取り組んだり、クラス活動に積極的に関わっているとは言い切れないし、手伝いも言われてはじめてしている。自主性の核となる自分のあるべき姿を、社会の一員という視点でとらえているのではなく、ただ自分一人のことと意識しているようである。さらに流行を気にして友の目も気になるというのは自分を守ろうという傾向が強く、自分を出そうという意欲が見られない。暮らしの面では、父母を信頼し、生活に満足し、友人も多く、親友もいて、学校も楽しく、近所の大人との交流も適当に持っていて、落ち着いている。また悩みの多い年頃であるが相談相手もいる。しかし、

それでもなお家族・同級生という限定された人間関係の中で、2割の中学生に居場所の欠落が現れている。

学習面では、何らかの目標を持って勉強に取り組み、したがってやる気もある。しかし一方では、間違った所をやり直してみようという気持ちは強くはなく、勉強が分からないこともあり、塾へ通っている。家庭での勉強時間は1時間以内で済ませている。中学生が考えているやる気というのは自発的なものではなく、追随型である。ここでも3割の中学生に、皆についていくため、学校に行っているから、勉強しろと言われるからという、目標の欠落が現れている。

将来展望の面では、親と将来について話してはいるが、だからと言って明日を楽しみに過ごしているとも言い切れない。そのために、自分から進んで物事に取り組もうという積極性も伸び悩んでいる。勉強・成績のことで叱られ注意されるといった状況が受験という因子で増幅されて、壁として高く立ちはだかってしまい、先の見通しを遮っているようである。中学生時期が受験という囲みに閉じ込められている。

親認識の面では、父母を自分にとって大切な人、必要な人と肯定的にみているが、親にとって自分が受容されているとはイメージされていない。叱られたり感謝されたりしているが、養育者としては、甘い親と厳しい親とに評価が分れている。中学生が求める親概念と現実の親とのくいちがいを感じ取っている。親に叱られて家を出たいと思う中学生が三人に一人いるということは、中学生のわがままもあるが、信頼の弱さを表している。親離れするとき、同時に向かうべき目標を必要とする。親は大人らしさを求められている。

(2) 学年による変化

学年が進むにつれて、性への成熟が進み、ドラマを好み、クラス活動に関わり、相談し合うといった人間としての体験が深まっている。一方で、将来を会社と見定めて、その入場券獲得のための入試競争の日が近づく圧迫感を感じ、勉強・成績の悩みが増してくる。人付き合いや周りの雰囲気にも協調せざるを得ないことから生じる疲れは、自分の部屋でゴロゴロすることによって解放されている。学年が進むにつれて人としての成長が深まっていくが、その分暮らしの幅が狭められている。

他方、学校に行くのが気重になり遅刻しがちで、悩みが現れ、流行などもよその世界のことと思えてくる。甘い親への信頼や尊敬が薄れ、会話や相談も減り、なるべく一緒に過ごしたくなくなり、親が中学生にとって味方と思えない

存在になってくる。明日の世界が狭まっていくような思いにとらわれている。

(3) 父母別による差異

男子が尊敬し、女子が甘いと思うのは父親の方であった。また、いろいろな話をし、理解してくれる人は母親の方であった。父親は離れた所にいて母親は身近にいるというパターンがみえてくる。

(4) 男女別による差異

男子は勉強の圧力を強く感じて悩んでいる。多くの友人とスポーツを楽しみ、テレビアニメなどの趣味的な話題を共有しているが、付き合いは浅いようである。父母を信頼していても叱られることは勉強であり、部屋で一人の方が安心できる。悩みも相談せずに抱え込んでいる。

一方、女子は仲の良い友達と異性や流行やドラマの話をしたり、恋愛の悩みを相談できるので、学校が楽しいと感じている。ところが友人の目が気になったり、勉強にも分からないことがあって、学校に行きたくないと思うためか遅刻してしまうことがある。休日は家でゴロゴロして親と一緒に過ごし、あれこれおしゃべりをするが、言葉遣いを厳しく叱られることがあり、つい家を出ようと思ってしまう。それでも当番にまじめに取り組み、間違いをやり直ししようという前向きな姿勢が、明日の楽しみを見出だしている。

(5) 前回調査からの変化

友人関係では異性も含めて広がりや親密さが増して、休日には外でスポーツを楽しむなど、集団的な世界をしっかりとつくり上げている。また甘くなった親に頼りきりの家庭生活にはすっかり満足している。

他方で、学校は楽しくなくなって、行きたくないという気持ちが遅刻を増やしているようである。さらに尊敬できる父親が減ってきて家庭は中心を失い、中学生にとっても生活や勉強の場ではなくなってきている。家庭が中学生にとっては単に居心地の良いものになっていて、育ちを促す機能が低下している。学校と家庭から身を引きはじめた中学生は、親の影響から離脱することになる。

2. 親の養育の実態

養育は全体のバランスを不可欠とする。部分的な過剰や欠落は、子どもの育ちに直接影響してくる。養育態度や意識をいろいろな視点から検討することによって、問題として取り上げるべき要点を探ってみることにする。

(1) 全体的な特徴

自意識の養成の面では、子どもに自主性があると認めてはいても、朝は起こし、勉強の催促はし、手伝いや宿題の忘れは注意している。自主性の基になるプライドを持たせようという意図は形ばかりである。

親子関係の面では、子どもから信頼されていると思っていて、子どもと一緒に過ごしたいという気持ちもあり、受け入れている。中学生になると用事も安心して頼めるし、世話をやくことも少なくなっている。かといって家のことを相談する程の成長ぶりとは思っていない。子どもを生きがいとしてはいるが、親にとっての子どもの位置づけが揺れ動いている。

言葉の交流の面では、テレビやスポーツ、学校生活の話題で話をしている。言葉遣いについての厳しいしつけは低調である。おしゃべりの段階に止まっているのか、子どもの気持ちが分からないこともあり、つい殴りたいと思うことも少なくない。子どもと共感できるような交流の間合いが、うまく取れていない。

指導の面では、親自身が毎日規則正しい生活をしている中で充実感を持っていて、子どもをよく褒め、将来や人生についての話もするような余裕がある。ただ子どもとじかに関わらねばならないしつけという場面になると、余裕は甘さに軟化し、よその子との比較や男らしさ・女らしさという相対的尺度を相変わらず手放せないでいる。親が子どもに自分の生き方をまねしてほしいと思いつつ切れないことが、厳しさを手控えさせしつけの自信の足を引っ張っている。生きていく上で大切なことを親がしっかりと自覚し、子どもに伝えようという準備が遅れている。

子ども認識の面では、成績向上などに向けた努力を期待しているが、積極性がもう少し足りないと思っている。それを補佐するつもりで注意をするとき、子どもが言われたらする忍耐力は持っているとわかってくる。前向きな姿勢を育てようとするあまり、後始末を厳しく注意することにまで気配りが及んでいない。後始末は次への準備であり、物事の流れを自覚させてくれる大事な課題である。子ども自身がやる気を生み出せるチャンスを奪い取っている。

(2) 学年による変化

父親については、子どもが進路に悩み始めると、毎日の暮らしのことよりも将来や人生の話、あるいは社会のことを語り合ったりするようになる。子どもの自主性も認知できるので勉強などの注意は減ってくる。ただ、今一つ子ども

の気持ちが握めないために、別の人格として存在を主張しているような感じを受け、生きがいの対象から外されていく。

母親については、親子ともに進路に悩み将来を考えるようになる。子どもの自主性が見えてきて、用事を安心して頼んだり家の相談も持ちかけ、勉強や言葉遣いの注意も減ってきて、プライドを持たせようと思っている。しつけにも自信が出てきて、自分の生き方をまねしてくれたらと思う一方で、子どもの親離れにつられて母親も生き甲斐の対象から子どもを外していく。

(3) 父母別による差異

父親は母親に比べて世話や注意や話をしていない。朝起こさない、よその子を引き合いに出さないといった消極的によい面もあるが、子どもとの積極的な関わりは薄い。父親は子どもにとって尊敬の対象である。関わりが量的に少ないということよりも、質的な父親らしさが見えてこないことが問題である。母親の陰に隠れているような感じを子どもたちに与えている。

母親は優しさと厳しさの両面で子どもに働きかけている。ただ、働きかけることが養育と思い込んでいるのか、子どもに任せて関わらない方がよいことまで親から関わっている。親に対して受け身の立場にいる子どもだけを見ているので、子どもの気持ちを握めなくなっている。

(4) 男女別による差異

父親は男子に対して関わりが多くなっている。勉強、言葉遣い、挨拶、将来のことなどの注意や話をしている。特に男子には成績に関して強い関心に向け、女子には女らしさを求め生活習慣のしつけに気を配る程度で総体的に甘いと自覚している。

母親は男子に対して勉強・成績への努力を求め、他方で夜食などの世話をしやりしつけも甘くなりがちである。女子には挨拶や後始末などの生活習慣を主としてしつけて、女らしさを求め忍耐力や積極性が備わることを願っている。

(5) 前回調査からの変化

父親は子どもについて悩まなくなり、しつけも甘くなっている。子どもとの接触が減ってきて、褒めてやったり将来を語り合ったりということをしなくなって、しつけに自信が失われている。

母親は子どもが自主性を持っていると認めてよその子との比較はしなくなったが、男らしさや女らしさを求める思いは強くなっている。

(6) 親子間の差異

子ども自身が自主性、忍耐力、積極性について有りだと評価しても、親はほぼ10%引の評価をしている。子どもは子どもなりに頑張っていると思っても、親からみればまだ足りないと見える。この違いは程度の問題と領域の問題という二つのことを示している。例えば学習に対する積極性の程度の多寡と、学習以外のことにも積極的であるという領域の広がりと考えられる。親の方は領域の広さを求めている。

親子の交流については、親が話をしていると思っても、子どもの方ではほぼ20%引の受け止めしかしていない。特に母親と男子の間で食い違いが大きい。話をすると双方向であるはずなのに、親からの話しかけが過ぎていると思われる。

親はしつけが甘いと思っても、子どもの方ではそれほどとは思っていない。親は関わっていくことがしつけであると思いがちであるが、子どもの方では親の存在自体がしつけの力を持っているように感じている。

子どもの悩みについて、子どもは勉強や成績に悩んでいるのに、親は進路に悩んでいると先回りをしている。またあれこれ悩んでいるのに親はそれに気づいていない。特に女子に対して多い、例えば恋愛に悩むなどは親は思ってもいない。

親が子どもに信頼されていると感じていることはおおむね当たっている。信頼は親子の絆であり、その信頼に食い違いがないことはすばらしいことである。

3. 今後の課題

子どもは明日の社会に住む人である。価値観の多様化が進む近未来社会で生きていくためには、確かな価値観を選び取る能力が求められている。家庭教育は親がどう子どもを育てるかという親対子どもの関係だけでなく、どう生きていくかという親と子どもの相互関係の上に成り立つものである。その過程を踏むことで子どもは生きるために必要な資質と能力を身につける。ところで、社会の発達地域社会を拡散し家庭すら分解してきた。人を集団の一員、家族の一員というヴェールで包み込むことを拒否し、個人という剥き出しの人間に解き放ってきた。人はあらゆることを自分で考え、選び、実行しなければならない。この時代雰囲気画一化から個性化への転換として顕在している。個性化とはあらゆることが個人の責任に帰せられるということである。家族においては、親は親、子どもは子どもという孤立化に行き着いていく。家庭が家族の住家ではなく個人の集合住

居に変容しつつあることは明らかである。その結果は、家庭教育を洗い流している。教育とは人と人とが関わり合うことである。家族の共同生活が教育の場であった。今部屋の仕切りに隔絶された人たちが住む家には教育機能は自然にはあり得ない。それぞれが意図的に関わりを持とうと努力しない限り、教育力は生まれない。親が気配りをしないと地域から隔絶した鉢植えのような家庭はすぐに干し上がってしまい、子どもは育たない。

家庭教育は家族として生きていく営みの中にある。家庭教育の目的は家族という生き方をバトンタッチすることで、子どもたちの未来の家庭を設計することである。そこに生きるうえでの要素がバランスよく注入できるのである。子どもを育てるには複数の不可欠な要素群があることを忘れてはならない。親は自分の生き方の中にある要素群を自覚し、それを子どもに確実に渡すことを果たす役割がある。繰り返すが家庭教育は家族生活と一体である。例えば子育てへの父親の関与は家族としての生活への関与と不離の問題である。子育ては生活の中に秘められたものであり、だからこそ免許不要なのである。父親の家事参加を求める趨勢も失われた家族生活を新しい形で樹立し直すための具体的な表象として、同根の課題なのである。家庭とは子どもにとっては在るものであるが、親にとっては作るものである。そして作る覚悟を持つ人が、中学生の探している大人である。お互いのために少しの貢献ができるという喜びが、家族を結び付ける絆であり、同時に家族生活の動因である。そこに子どもも参加することで、例えば人間関係に必須の信頼という要素を身につけることができる。子どもは勉強に、親は仕事に、それぞれが一極集中しては、家族として生活の喜びは生まれない。親子関係を考えるとき、家族という概念を抜きにしては、教育力は見えてこない。そのような視点から調査結果を見直し、意図的な関わりの在り方を確認することが今後の課題である。

資

料

(資料1)

平成5年度 家庭教育充実事業 指導資料作成に係わる調査実施要項

1 調査の趣旨

子どもに対する保護者の養育態度・行動は、子どもの意欲や自主性・耐性などパーソナリティの健全な発達に大きく関係しているといわれている。

このような観点から、保護者が具体的な生活の場面で子どもにどのように関わっているのか、また、子どもは、成長過程で保護者をはじめまわりの人や地域社会との係わりの中で、どのような意識が育ち実際の行動をとっているのか、それらの実態を明らかにしていく必要があると考える。

この意味で、子どもをもつ保護者の養育態度・行動が今日どのような実態にあるかを明らかにしていくことは、今後の望ましい家庭教育のあり方を探究していく上で極めて重要な課題と思われる。

特に本年度は、中学生及びその保護者を対象に「中学生の生活実態のアンケート調査」および「中学生をもつ保護者のしつけに関するアンケート調査」を実施することとなった。

この調査によって、「中学生の意識・行動」と「中学生をもつ保護者の養育態度行動」の実態を明らかにするとともに、昭和57年に実施した同様な調査結果と対比することにより、「子どもが生き生きと育つ家庭のあり方」を探究し、本県の家庭教育の充実に資するものとする。

2 調査の実施者

福岡県立社会教育総合センター

3 調査の対象及び人数

前回実施した調査（昭和57年）の協力校を、今回調査の協力校とし、その生徒およびその保護者を対象に、各学年2クラスを抽出する。

調査対象人数は、約3,600人。

4 調査の実施時期

9 月

5 調査の方法

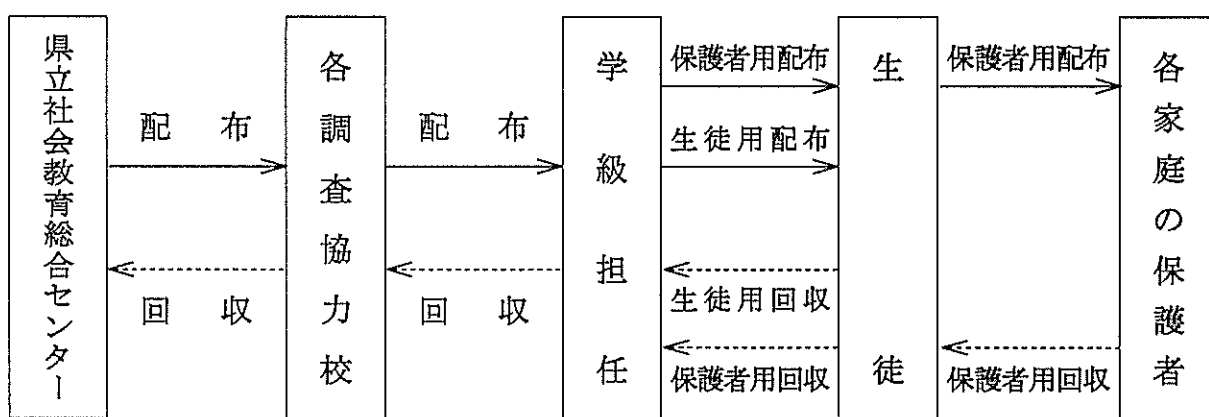
調査は、中学生用、男性の保護者用、女性の保護者用の3種類の質問形式の調査票を作成する。ただし、保護者用は、同一内容とする。

(1) 調査票の配布

調査票は、県立社会教育総合センターが直接各調査協力校へ持参し、生徒用は、学級担任をとおして、保護者用は、生徒をとおして各家庭に配布する。

(2) 調査票の回収

調査票の保護者用は、各家庭の保護者から生徒をとおして、また、生徒用は、学級担任をとおして各調査協力校ごとに県立社会教育総合センターが回収する。



6 調査票（次ページ参照）

調査票は、中学生用を白色（別紙2）、男性の保護者用をうぐいす色（別紙3）、女性の保護者用を桃色（別紙4）とする。

7 調査結果の処理

調査結果を家庭教育指導資料としてまとめ、関係機関・団体等に配布する。

8 調査協力校

嘉穂郡穂波町立穂波東中学校	三潞郡三潞町立三潞中学校
宗像市立日の里中学校	福岡市立那珂中学校
八女郡星野村立星野中学校	北九州市立菅生中学校

生徒用

名前を記入する必要はありません。

生活に関するアンケート

◎ 記入の仕方についてのお願い

- 各質問に対する答えは、回答項目のうちもっともあてはまるものの番号(1 2 3 …)を○をかこんでください。また、()の中には番号や必要事項を記入してください。
- 次の欄に答えてください。

あなたの学年	あなたの性別	あなたのきょうだいの中での位置
1. 1年	1. 男	1. 1人
2. 2年	2. 女	2. ()人きょうだいの()番目
3. 3年		

問1. あなたは、学校に遅刻をしますか。

- よくする
- ときどきする
- ほとんどしない
- まったくしない

問2. あなたは、こづかいをどのようにもらっていますか。

- 一か月分まとめて
- 毎日定額
- 必要時に
- もらっていない
- その他()

問3. あなたが、もらうこづかいは、月平均いくらですか。

- 1,000円以内
- 2,000円以内
- 3,000円以内
- 4,000円以内
- 5,000円以内
- 6,000円以内
- その他()円
- まったくもらっていない

問4. あなたは、平均してテレビを1日どのくらいみていますか。(日曜日や休日はのぞく)

- 30分程度
- 1時間程度
- 1時間30分程度
- 2時間程度
- 2時間30分程度
- 3時間程度
- 3時間30分程度
- 4時間以上
- まったくみていない

問5. あなたは、ふだん家庭で平均して1日どのくらい勉強していますか。(日曜日や休日はのぞく)

- 30分程度
- 1時間程度
- 1時間30分程度
- 2時間程度
- 2時間30分程度
- 3時間程度
- 3時間30分程度
- 4時間以上
- まったくしていない

問6. あなたは、ふだんラジオの深夜放送を聞きますか。

- よく聞く
- ときどき聞く
- あまり聞かない
- まったく聞かない

問7. あなたは、今学習塾に通ったり、家庭教師についたりしていますか。(おけいごことはのぞく)

- 学習塾に通っている
- 家庭教師についている
- 両方ともしている
- どちらともしていない

問8. あなたが、ふだん勉強するのはどうしてですか。もっともあてはまるものを1つえらんで○をつけてください。

- よい成績をとりたから
- 希望する学校や会社にはいりたいから
- 人や社会の役に立ちたいから
- いろいろなことを知りたいから
- 学校でみんなについて行けないと困るから
- 学校に行っているから
- 親やまわりの人が勉強しろというから
- なんとなく
- その他()

問9. あなたは、掃除当番やクラスの決められた仕事をどのようにしていますか。

- まじめに責任をもってする
- 仕方がないからする
- ときどき人にまかせてさぼる
- まったくしない

問10. あなたは、体育祭、クラスマッチ、文化祭などクラス全体で何か活動するとき、どのような態度をとりますか。

- 積極的に参加する
- 一応参加する
- 参加しない
- わからない

問11. あなたは、どこにいる時に楽しいと感じることが多いですか。

- 学校
- 家庭
- 友だちの家
- その他()

問12. あなたは、休日をどのように過ごしていますか。多いものから2つえらんでください。(部活動をのぞく)

1 位 () 2 位 ()

1. 家でなんとなくゴロゴロしている
2. 音楽やラジオを聞く
3. テレビをみる
4. 読書をしたり、まんがや雑誌などを読む
5. 家で勉強をしたり、学習塾に行ったりする
6. スポーツなどして外で遊ぶ
7. 家でファミコンなどをして遊ぶ
8. 趣味などをやる
9. ボランティア活動や奉仕活動に参加する
10. その他 ()

問13. あなたは、最近「明日からもう学校に行かない」と思うことがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問14. あなたは、自分で判断し行動しようとしていますか。

1. いつもしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

問15. あなたは、自分から進んで物事に取り組もうとしていますか。

1. いつもしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

問16. あなたは、がまんすべき時はがまんしようとしていますか。

1. いつもしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

問17. あなたは、異性に関心がありますか。

1. とてもある
2. まあまあある
3. あまりない
4. まったくない

問18. あなたは、どんなテレビ番組をみますか。次の順でえらんでください。なお、テレビ番組をみない場合は、「みない」に○をつけてください。

一番よくみる番組 () 次によくみる番組 ()

1. ドラマ
2. 歌謡
3. アニメーション
4. 映画
5. クイズ、バラエティー
6. スポーツ
7. ニュース
8. その他 ()
9. みない

問19. あなたは、どんな音楽を聴きますか。次の順でえらんでください。なお、音楽を聴かない場合は、「聴かない」に○をつけてください。

一番よく聴く音楽 () 次によく聴く音楽 ()

1. 歌謡曲・演歌
2. ニューミュージック
3. ポピュラー
4. クラシック
5. ロック
6. マンガ・アニメ主題歌
7. ジャズ
8. その他 ()
9. 聴かない

問20. あなたは、何人くらいの仲のよい友だちを持っていますか。

1. 0人
2. 1人
3. 2人
4. 3人
5. 4人
6. 5人
7. 6人
8. 7人
9. ()人以上

問21. あなたの友だちの中で、よく話題になるのは何ですか。次の順で選んでください。

もっとも話題になるもの () 次に話題になるもの ()

1. 勉強や進路のこと
2. 部活動や学級でのできごと
3. 趣味や遊びのこと
4. 芸能やスポーツのこと
5. 服装や髪型のこと
6. ラジオ・テレビ番組のこと
7. 雑誌やマンガのこと
8. 友だちのこと
9. 異性のこと
10. その他 ()

問22. あなたは、おたがいに理解し、心をうちあけて話せる「親友」がいますか。

1. いつもいる
2. 前はいなかったが今はいる
3. 前はいたが今はいない
4. ずっといない

問23. あなたは、特定の異性の友だちがいますか。

1. いつもいる
2. 前はいなかったが今はいる
3. 前はいたが今はいない
4. ずっといない

問24. あなたが、今もっとも悩んでいること、困っていることを次の順で選んでください。なお、悩んだり、困ったりしていることがない場合は、「特にない」に○をつけてください。

もっとも悩んだり困ったりしていること () 次に悩んだり困ったりしていること ()

1. 健康
2. 体型
3. 性格
4. 進路
5. 勉強・成績
6. 部活動
7. 友だち・クラス
8. 恋愛・異性
9. その他 ()
10. 特にない

問25. あなたは、困っていることや悩みをだれに相談しますか。次の順でえらんでください。なお、相談する人がいない場合は、「相談する人がいない」に○をつけてください。

もっとも相談する人は() 次に相談する人は()

1. 父 2. 母 3. 祖父・祖母 4. 兄弟姉妹 5. 友だち 6. 先生
7. 誰にも相談しない 8. その他() 9. 相談する人がいない

問26. あなたは、学校の勉強でわからないことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問27. あなたは、学校の勉強についてどう感じていますか。

1. ととてもやる気がある 2. まあまあやる気がある 3. あまりやる気がない 4. まったくやる気がない

問28. あなたは、家庭生活に満足していますか。

1. ととても満足している 2. まあまあ満足している 3. あまり満足していない 4. まったく満足していない

問29. あなたは、近ごろ栄養剤や胃薬を飲んだことがありますか。

1. 毎日飲んでいる 2. ときどき飲んでいる 3. まったく飲んでいない

問30. あなたは、家の手伝いをしていますか。

1. 言われなくてもする 2. 言われたらする 3. 言われてもしないことがある
4. 言われてもしない 5. 言われないのでしない

問31. あなたは、服装や髪型などファッションに関心がありますか。

1. ととてもある 2. まあまあある 3. あまりない 4. まったくない

問32. あなたは、性について関心がありますか。

1. ととてもある 2. まあまあある 3. あまりない 4. まったくない

問33. あなたは、流行を気にするほうですか。

1. ととても気にする 2. まあまあ気にする 3. あまり気にしない 4. まったく気にしない

問34. あなたは、家族の人とテレビのことやスポーツのことなどについて話すことがありますか。

お父さんと() お母さんと() その他の家族の誰かと()

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問35. あなたは、家族の人と将来や人生のことについて話すことがありますか。(どんな仕事につくか、どんな生き方をするかなど、受験以外のことで)

お父さんと() お母さんと() その他の家族の誰かと()

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問36. あなたは、家族の人と学校生活のことについて話すことがありますか。

お父さんと() お母さんと() その他の家族の誰かと()

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問37. あなたの家族の顔を思い浮かべてください。どんな表情をしていますか。それぞれ1つずつえらんでください。

お父さんは() お母さんは() その他の家族の誰かは()

1. 笑顔 2. やさしい顔 3. 怒った顔 4. 心配した顔 5. 疲れた顔 6. 暗い顔
7. 横を向いた顔 8. その他() 9. わからない

問38. あなたは、家族のことをどう思っていますか。

お父さんを() お母さんを() その他の家族の誰かを()

1. ととても信頼している 2. まあまあ信頼している 3. あまり信頼していない 4. まったく信頼していない

問39. あなたは家族の人が、先生に対する不平・不満・批判を言うのを聞いたことがありますか。

お父さんは() お母さんは() その他の家族の誰かは()

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問40. あなたにとって、家族の人はどのような存在ですか。それぞれ1つずつえらんでください。

お父さんは() お母さんは() その他の家族の誰かは()

1. 尊敬ができ、たよりになる人
2. 理解のある人
3. 友だちのような親しみのもてる人
4. いろいろ教え指導してくれる人
5. 自分勝手に無責任な人
6. 口うるさい人
7. 生活費をかせいでくれる人
8. 放任で甘い人
9. その他()

問41. あなたは、友だちがあなたのことをどう思っているか気にしますか。

1. とても気にする
2. まあまあ気にする
3. あまり気にしない
4. まったく気にしない

問42. あなたが一番ほっとすることができる場所は、どこですか。1つだけえらんでください。

1. 自分の部屋
2. 家族と一緒にいる部屋
3. 教室
4. 保健室
5. 公園・図書館など
6. 友だちの家
7. その他()
8. どこにもない

問43. あなたは、家や学校で手伝いをして、「ありがとう」と言われたことがありますか。

1. いつも言われる
2. ときどき言われる
3. あまり言われたい
4. まったく言われたい

問44. あなたは、となり近所の大人の人たちとあいさつしたり、話しをしたりすることがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問45. あなたは、最近夜眠りにつくときに明日のことを考えて、朝起きることが楽しいと感じることがありますか。

1. いつも楽しみ
2. ときどき楽しみ
3. あまり楽しみでない
4. まったく楽しみでない
5. 何とも思わない

問46. あなたは、試験で間違えたところを、後でやり直してみますか。

1. いつもする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. まったくしない

問47. あなたが家族の人にきびしくしかられたり、注意されたりするのはどのようなことですか。それぞれ1つずつえらんでください。

お父さんからは() お母さんからは() その他の家族の誰かからは()

1. 勉強や成績のこと
2. 兄弟姉妹とのこと(ケンカなど)
3. 家業や家事の手伝い
4. テレビのみすぎ
5. 食べ物の好き嫌い
6. むだ使いやお金のこと
7. いたずら
8. ことばづかい
9. その他()
10. 特にない

問48. あなたの家族の人は、あなたに対して甘い方だと思いますか。

お父さんは() お母さんは() その他の家族の誰かは()

1. たいへん甘い
2. まあまあ甘い
3. あまり甘くない
4. きびしい

問49. あなたは、家族の人にしかられて家を出てしまおうと思ったことがありますか。

お父さんには() お母さんには() その他の家族の誰かには()

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問50. あなたの家族の人は、あなたに性のことについて話してくれることがありますか。

お父さんからは() お母さんからは() その他の家族の誰かからは()

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

◇ご協力ありがとうございました。

問12. あなたは、お子さんとテレビや映画やスポーツのことなどについて話すことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問13. あなたは、お子さんに社会の出来事について話すことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問14. あなたは、お子さんに性のことについて教えたり、指導したり、話したりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問15. あなたは、お子さんと、お子さんの将来や人生について話すことがありますか。(どんな仕事につくか、どんな生き方をするかなど、受験以外のことで)

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問16. あなたは、お子さんと、お子さんの学校生活について話すことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問17. あなたは、お子さんがあなたやお母さん(妻)や目上の人に対して、友だち同士のような乱暴な言い方をした場合、注意しますか。

1. 必ずする 2. ときどきする 3. あまりしない 4. 全くしない

問18. あなたは、お子さんに家庭のことで意見を聞いたり、相談したりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問19. あなたのご家庭では、夕食を家族そろって食べていますか。

1. いつもそろって食べている 2. ときどきそろって食べている 3. そろって食べることはあまりない
4. 全くない

問20. あなたは、お子さんの友だち関係について知っていますか。

1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. あまり知らない 4. 全く知らない

問21. あなたは、現在お子さんについて困っていること、悩んでいることがありますか。次の順で記入ください。なお、困っていることや悩みのない人は、最後の「特になし」に○をつけてください。

最も困っていること、悩んでいること() 次に困っていること、悩んでいること()

1. 成績・進学のこと 2. 身体の成長のこと 3. 家族への反抗・暴言など
4. 学校に行きたがらない 5. 友だちづきあい 6. 服装・髪型・言葉づかいなどがみだれている
7. 生活がだらしくやる気がない 8. その他() 9. 特になし

問22. あなたは、お子さんをきょうだいやよその子を引き合いに出して、注意したりしかったりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問23. あなたは、お子さんを「男の子だから、女の子だから」といって注意することがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問24. あなたは、お子さんの成績に最も影響するものは次のどれだと思いますか。1つえらんでください。

1. 先生の教え方や人柄 2. クラスの雰囲気 3. お子さんの友だち 4. 本人の能力
5. 本人の努力 6. 家庭の環境 7. 地域の環境 8. 塾や家庭教師
9. その他()

問25. あなたは、お子さんに対して腹が立ち、殴りたいと思うことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問26. あなたは、お子さんが何を考えているのか、その気持ちがわからずとまどうことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問27. あなたは、お子さんをほめてやることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問28. あなたは、テレビを1日平均してどのくらいみていますか。

1. 30分程度 2. 1時間程度 3. 1時間30分程度 4. 2時間程度
5. 2時間30分程度 6. 3時間程度 7. 3時間30分程度 8. 4時間以上
9. 全くみていない

問29. あなたは、毎日規則正しい生活をしていますか。

1. 規則正しい生活をしている 2. だいたい規則正しい生活をしている
3. あまり規則正しい生活ではない 4. 全く不規則な生活である

問30. あなたは、毎日の生活に充実感がありますか。

1. 大いにある 2. まあまあある 3. あまりない 4. 全くない

問31. あなたの生きがいの対象は何ですか。1つえらんでください。

1. 妻 2. 子ども 3. 自分の趣味 4. 家事
5. 仕事 6. その他 () 7. 特にない

問32. あなたは、お子さんに自主性（自分で判断し行動する）があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問33. あなたは、お子さんに積極性（自分から進んで物事に取組む）があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問34. あなたは、お子さんに忍耐力（がまんすべき時はがまんする）があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問35. あなたは、お子さんのしつけについて自信がありますか。

1. 大いにある 2. まあまあある 3. あまりない 4. 全くない

問36. あなたは、お子さんのしつけについて甘いほうだと思いませんか。

1. 大変甘いほうだと思 2. まあまあ甘いほうだと思
3. あまり甘くないほうだと思 4. きびしい方だと思

問37. あなたは、お子さんの世話をしているほうだと思いませんか。

1. 大変よくしているほうだと思 2. まあまあしているほうだと思
3. あまりしていないほうだと思 4. ほとんどしていない

問38. あなたは、母親（妻）のお子さんに対するしつけを甘いほうだと思いませんか。

1. 大変甘いほうだと思 2. まあまあ甘いほうだと思
3. あまり甘くないほうだと思 4. きびしい方だと思

問39. あなたは、お子さんからどのように思われていると思いませんか。

1. とても信頼されていると思 2. まあまあ信頼されていると思
3. あまり信頼されていないと思 4. 全く信頼されていないと思

問40. あなたは、お子さんが今抱えている悩みは次のうちどれだと思いませんか。次の順でえらんでください。なお、お子さんが今抱えている悩みがないと思う方は、「特にない」に○をつけてください。

- 今抱えている大きな悩み () 次に今抱えている悩み ()
1. 健康 2. 体型 3. 性格 4. 進路 5. 勉強・成績 6. 部活動
7. 友だち・クラス 8. 恋愛・異性 9. その他 () 10. 特にない 11. わからない

問41. あなたが、学校の先生に相談したい内容は次のうちどれですか。次の順でえらんでください。なお、相談したい内容がない方は、「特にない」に○をつけてください。

最も相談したい内容は() 次に相談したい内容は()

1. 健康 2. 子どもの性格 3. 友だち・クラス 4. 部活動 5. 不登校 6. 進路
7. 勉強・成績 8. 恋愛・異性 9. その他() 10. 特にない

問42. あなたは、お子さんにプライドを持たせようとしていますか。

1. 大いにしている 2. まあまあしている 3. あまりしていない 4. 全くしていない

問43. あなたは、休みの日にお子さんといっしょにすごしたいと思っていますか。

1. 大いに思っている 2. まあまあ思っている 3. あまり思っていない 4. 全く思っていない

問44. あなたは、お子さんに用事を頼んだ後、「ありがとう」と言っていますか。

1. いつも言う 2. ときどき言う 3. あまり言わない 4. 全く言わない

問45. あなたは、お子さんやお子さんの友だちに自分から先にあいさつなどの声をかけていますか。

1. いつも声をかけている 2. ときどき声をかけている
3. あまり声をかけていない 4. 全く声をかけていない

問46. あなたは、お子さんがあなたの生き方をまねてくれることを願っていますか。

1. 大いに願っている 2. まあまあ願っている 3. あまり願っていない 4. 全く願っていない

問47. あなたは、お子さんが失敗することを心配して、用事を頼むことをためらうことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問48. あなたは、しつけについて本を読んだりテレビ番組をみたり講演会にいたりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問49. あなたは、学校の授業参観や説明会などに出かけていますか。

1. 必ず出かける 2. できるだけ出かける 3. あまり出かけない 4. 全く出かけない

問50. あなたは、お子さんのしつけについて今どんなことに心を配っていますか。次の順でえらんでください。なお、しつけについて取り立てて心を配っていない方は、「特にない」に○をつけてください。

最も心を配っていること() 次に心を配っていること()

1. 友だちとの関係 2. あいさつや言葉遣い等の基本的生活習慣 3. 自主性
4. 行動の積極性 5. 自己抑制(忍耐力) 6. 学習意欲・習慣 7. 健康管理
8. 小遣いの使い方 9. その他() 10. 特にない

◇ご協力ありがとうございました。

問12. あなたは、お子さんとテレビや映画やスポーツのことなどについて話すことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問13. あなたは、お子さんに社会の出来事について話すことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問14. あなたは、お子さんに性のことについて教えたり、指導したり、話したりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問15. あなたは、お子さんと、お子さんの将来や人生について話すことがありますか。(どんな仕事につくか、どんな生き方を
をするかなど、受験以外のことで)

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問16. あなたは、お子さんと、お子さんの学校生活について話すことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問17. あなたは、お子さんがあなたやお父さん(夫)や目上の人に対して、友だち同士のような乱暴な言い方をした場合、
注意しますか。

1. 必ずする 2. ときどきする 3. あまりしない 4. 全くしない

問18. あなたは、お子さんに家庭のことで意見を聞いたり、相談したりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問19. あなたのご家庭では、夕食を家族そろって食べていますか。

1. いつもそろって食べている 2. ときどきそろって食べている 3. そろって食べることはあまりない
4. 全くない

問20. あなたは、お子さんの友だち関係について知っていますか。

1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. あまり知らない 4. 全く知らない

問21. あなたは、現在お子さんについて困っていること、悩んでいることがありますか。次の順で記入ください。なお、困
っていることや悩みのない人は、最後の「特になし」に○をつけてください。

最も困っていること、悩んでいること() 次に困っていること、悩んでいること()

1. 成績・進学のこと 2. 身体の成長のこと 3. 家族への反抗・暴言など
4. 学校に行きたがらない 5. 友だちづきあい 6. 服装・髪型・言葉づかいなどがみだれている
7. 生活がだらしくやる気がない 8. その他() 9. 特になし

問22. あなたは、お子さんをきょうだいやよその子を引き合いに出して、注意したりしかつたりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問23. あなたは、お子さんを「男の子だから、女の子だから」といって注意することがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問24. あなたは、お子さんの成績に最も影響するものは次のどれだと思いますか。1つえらんでください。

1. 先生の教え方や人柄 2. クラスの雰囲気 3. お子さんの友だち 4. 本人の能力
5. 本人の努力 6. 家庭の環境 7. 地域の環境 8. 塾や家庭教師
9. その他()

問25. あなたは、お子さんに対して腹が立ち、殴りたいと思うことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問26. あなたは、お子さんが何を考えているのか、その気持ちがわからずとまどうことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問27. あなたは、お子さんをほめてやることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問28. あなたは、テレビを1日平均してどのくらいみていますか。

1. 30分程度 2. 1時間程度 3. 1時間30分程度 4. 2時間程度
5. 2時間30分程度 6. 3時間程度 7. 3時間30分程度 8. 4時間以上
9. 全くみていない

問29. あなたは、毎日規則正しい生活をしていますか。

1. 規則正しい生活をしている 2. だいたい規則正しい生活をしている
3. あまり規則正しい生活ではない 4. 全く不規則な生活である

問30. あなたは、毎日の生活に充実感がありますか。

1. 大いにある 2. まあまあある 3. あまりない 4. 全くない

問31. あなたの生きがいの対象は何ですか。1つえらんでください。

1. 夫 2. 子ども 3. 自分の趣味 4. 家事
5. 仕事 6. その他 () 7. 特にない

問32. あなたは、お子さんに自主性(自分で判断し行動する)があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問33. あなたは、お子さんに積極性(自分から進んで物事に取組む)があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問34. あなたは、お子さんに忍耐力(がまんすべき時はがまんする)があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問35. あなたは、お子さんのしつけについて自信がありますか。

1. 大いにある 2. まあまあある 3. あまりない 4. 全くない

問36. あなたは、お子さんのしつけについて甘いほうだと思いますか。

1. 大変甘いほうだと思う 2. まあまあ甘いほうだと思う
3. あまり甘くないほうだと思う 4. きびしい方だと思う

問37. あなたは、お子さんの世話をしているほうだと思いますか。

1. 大変よくしているほうだと思う 2. まあまあしているほうだと思う
3. あまりしていないほうだと思う 4. ほとんどしていない

問38. あなたは、父親(夫)のお子さんに対するしつけを甘いほうだと思いますか。

1. 大変甘いほうだと思う 2. まあまあ甘いほうだと思う
3. あまり甘くないほうだと思う 4. きびしい方だと思う

問39. あなたは、お子さんからどのように思われていると思いますか。

1. とても信頼されていると思う 2. まあまあ信頼されていると思う
3. あまり信頼されていないと思う 4. 全く信頼されていないと思う

問40. あなたは、お子さんが今抱えている悩みは次のうちどれだと思いますか。次の順でえらんでください。なお、お子さんが今抱えている悩みがないと思う方は、「特にない」に○をつけてください。

今抱えている大きな悩み () 次に今抱えている悩み ()

1. 健康 2. 体型 3. 性格 4. 進路 5. 勉強・成績 6. 部活動
7. 友だち・クラス 8. 恋愛・異性 9. その他 () 10. 特にない 11. わからない

問41. あなたが、学校の先生に相談したい内容は次のうちどれですか。次の順でえらんでください。なお、相談したい内容がない方は、「特にない」に○をつけてください。

最も相談したい内容は（ ） 次に相談したい内容は（ ）

1. 健康 2. 子どもの性格 3. 友だち・クラス 4. 部活動 5. 不登校 6. 進路
7. 勉強・成績 8. 恋愛・異性 9. その他（ ） 10. 特にない

問42. あなたは、お子さんにプライドを持たせようとしていますか。

1. 大いにしている 2. まあまあしている 3. あまりしていない 4. 全くしていない

問43. あなたは、休みの日にお子さんといっしょにすごしたいと思っていますか。

1. 大いに思っている 2. まあまあ思っている 3. あまり思っていない 4. 全く思っていない

問44. あなたは、お子さんに用事を頼んだ後、「ありがとう」と言っていますか。

1. いつも言う 2. ときどき言う 3. あまり言わない 4. 全く言わない

問45. あなたは、お子さんやお子さんの友だちに自分から先にあいさつなどの声をかけていますか。

1. いつも声をかけている 2. ときどき声をかけている
3. あまり声をかけていない 4. 全く声をかけていない

問46. あなたは、お子さんがあなたの生き方をまねてくれることを願っていますか。

1. 大いに願っている 2. まあまあ願っている 3. あまり願っていない 4. 全く願っていない

問47. あなたは、お子さんが失敗することを心配して、用事を頼むことをためらうことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問48. あなたは、しつけについて本を読んだりテレビ番組をみたり講演会にいたりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問49. あなたは、学校の授業参観や説明会などに出かけていますか。

1. 必ず出かける 2. できるだけ出かける 3. あまり出かけない 4. 全く出かけない

問50. あなたは、お子さんのしつけについて今どんなことに心を配っていますか。次の順でえらんでください。なお、しつけについて取り立てて心を配っていない方は、「特にない」に○をつけてください。

最も心を配っていること（ ） 次に心を配っていること（ ）

1. 友だちとの関係 2. あいさつや言葉遣い等の基本的な生活習慣 3. 自主性
4. 行動の積極性 5. 自己抑制（忍耐力） 6. 学習意欲・習慣 7. 健康管理
8. 小遣いの使い方 9. その他（ ） 10. 特にない

◇ご協力ありがとうございました。

6 集約表の集約結果

(%)

問	肢	父親	母親	父 親			母 親			父 親		母 親	
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	男子	女子	男子	女子
1	1	20.6	66.4	21.2	19.4	21.2	68.1	63.2	67.8	23.2	17.5	67.3	65.4
	2	79.2	33.5	78.6	80.6	78.5	31.9	36.6	32.2	76.5	82.5	32.7	34.4
	NA	0.2	0.1	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2
2	1	4.2	27.4	6.4	3.9	2.1	36.2	25.8	19.8	5.0	3.3	30.3	24.4
	2	95.7	72.4	93.3	96.1	97.9	63.3	74.2	80.2	94.8	96.7	69.5	75.4
	NA	0.1	0.2	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2
3	1	0.8	1.9	1.4	0.0	0.9	1.5	2.9	1.3	0.7	0.8	2.4	1.4
	2	3.9	15.5	3.6	3.1	5.1	12.2	15.5	19.0	5.3	2.3	17.5	13.5
	3	10.5	32.0	10.0	13.2	8.1	29.6	31.8	34.6	10.5	10.5	34.6	29.2
	4	84.9	50.6	85.0	83.7	86.0	56.6	49.7	45.0	83.5	86.4	45.5	55.9
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	1	7.0	25.3	7.8	5.3	7.8	28.8	24.5	22.5	8.3	5.4	23.2	27.6
	2	41.2	65.2	44.8	41.3	37.3	61.7	65.5	68.4	44.1	37.9	67.4	62.7
	3	37.6	8.8	34.0	38.8	40.3	8.9	8.4	9.1	35.0	40.6	8.7	9.0
	4	14.2	0.7	13.4	14.6	14.6	0.5	1.6	0.0	12.6	16.1	0.7	0.7
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	1	14.4	10.1	14.8	11.5	17.0	10.7	8.4	11.3	15.4	13.2	11.2	9.0
	2	15.7	18.2	16.2	15.2	15.8	18.6	18.2	17.7	17.5	13.6	20.3	15.9
	3	13.5	19.0	12.5	13.2	14.9	17.3	20.3	19.6	14.3	12.6	19.4	18.6
	4	5.0	8.4	4.2	5.3	5.7	7.1	8.7	9.4	5.8	4.1	7.2	9.7
	5	3.3	7.8	4.2	2.5	3.0	8.4	8.4	6.4	2.7	3.9	6.1	9.5
	6	11.8	21.9	12.0	12.6	10.7	22.7	22.1	20.9	10.3	13.6	17.5	26.5
	7	36.3	14.6	36.2	39.6	32.8	15.1	13.9	14.7	34.0	39.0	18.3	10.8
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	1	48.6	52.3	50.4	46.9	48.4	55.1	52.9	48.8	52.0	44.5	50.3	54.5
	2	31.4	38.0	30.1	30.3	34.0	36.7	38.2	39.1	29.9	33.2	39.0	36.9
	3	6.2	3.9	6.4	7.3	4.8	2.8	3.2	5.6	5.7	6.8	4.4	3.2
	4	5.9	1.1	7.0	5.1	5.7	1.5	1.3	0.5	4.4	7.6	1.4	0.9
	5	7.9	4.7	6.1	10.4	7.2	3.8	4.5	5.9	8.0	7.9	4.9	4.5
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	1	33.9	31.5	35.7	34.3	31.6	31.1	31.6	31.9	36.1	31.3	31.2	31.9
	2	33.0	43.1	31.5	31.2	36.4	37.5	43.7	48.3	34.9	30.7	41.2	45.0
	3	9.4	3.7	8.4	9.3	10.7	3.6	4.2	3.2	9.0	9.9	2.9	4.5
	4	7.2	1.8	6.7	7.3	7.8	2.6	1.6	1.3	5.0	9.9	2.9	0.7
	5	16.5	19.9	17.8	18.0	13.4	25.3	18.9	15.3	15.0	18.2	21.8	17.9
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	1	49.0	69.7	48.5	47.2	51.6	68.6	69.2	71.3	50.1	47.8	66.6	72.9
	2	35.6	25.9	37.3	37.4	31.9	26.8	26.8	24.1	34.5	36.9	29.1	22.6
	3	11.3	3.0	10.6	11.0	12.5	2.8	2.9	3.2	11.9	10.7	2.7	3.2
	4	4.0	1.4	3.6	4.5	3.9	1.8	1.1	1.3	3.6	4.6	1.6	1.3
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9	1	27.1	31.4	32.0	25.0	24.2	34.4	29.7	30.0	30.3	23.5	34.4	28.3
	2	45.5	48.8	47.4	43.5	45.7	50.8	48.4	47.2	47.8	42.9	48.6	49.1
	3	48.2	14.9	15.9	19.7	19.1	11.5	16.8	16.4	15.2	21.6	12.6	17.2
	4	9.1	4.9	4.7	11.8	11.0	3.3	5.0	6.4	6.7	12.0	4.4	5.4
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

問	肢	父親	母親	父 親			母 親			父 親		母 親	
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	男子	女子	男子	女子
10	1	26.5	41.7	30.4	22.5	26.6	47.4	40.5	36.7	26.9	26.0	40.4	43.0
	2	45.0	45.2	46.0	45.6	43.3	42.6	45.0	48.3	48.7	40.7	47.0	43.4
	3	20.6	10.3	18.4	22.0	21.5	7.9	11.6	11.5	17.9	23.8	10.2	10.4
	4	7.9	2.8	5.3	9.9	8.7	2.0	2.9	3.5	6.5	9.5	2.4	3.2
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11	1	37.8	41.5	41.2	35.2	36.7	45.9	40.5	37.8	39.5	35.8	38.5	44.6
	2	48.1	43.9	47.1	50.7	46.6	41.8	46.1	44.0	46.7	49.8	45.8	41.9
	3	1.8	1.9	2.2	1.7	1.5	2.3	2.4	1.1	2.3	1.2	2.4	1.4
	4	9.7	9.5	8.4	8.7	12.2	6.6	8.2	13.9	9.0	10.5	10.7	8.3
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12	1	28.6	41.5	28.1	25.8	31.9	41.8	43.8	39.1	32.6	23.9	41.3	41.6
	2	53.1	49.9	54.0	56.2	49.0	49.5	46.8	53.4	54.1	52.0	50.9	48.7
	3	15.5	7.6	15.6	14.6	16.4	7.7	8.4	6.7	11.5	20.2	7.2	8.1
	4	2.8	1.0	2.2	3.4	2.7	1.0	1.3	0.8	1.8	3.9	0.6	1.6
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13	1	13.9	22.6	11.7	12.4	17.9	21.9	20.8	25.5	13.6	14.2	23.0	22.4
	2	52.7	59.6	51.3	54.2	52.5	59.2	62.1	57.4	57.0	47.6	59.6	59.5
	3	27.6	16.2	31.8	27.5	23.3	16.8	16.1	15.5	24.4	31.4	16.4	15.9
	4	5.8	1.6	5.3	5.9	6.3	2.0	1.1	1.6	5.0	6.8	1.0	2.2
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14	1	4.1	9.4	1.9	5.1	5.4	9.4	8.2	10.5	4.6	3.5	6.2	12.7
	2	17.0	37.8	19.2	14.9	16.7	37.2	41.3	34.9	20.0	13.4	31.3	44.6
	3	42.8	41.8	45.4	44.1	38.8	41.6	40.8	43.2	46.9	38.1	47.7	35.7
	4	36.1	11.0	33.4	36.0	39.1	11.7	9.7	11.5	28.5	45.0	14.8	7.0
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15	1	13.6	27.8	11.1	13.5	16.4	22.2	26.6	34.9	15.1	12.0	24.9	30.8
	2	50.6	53.5	52.9	46.6	52.2	54.6	52.9	53.1	53.0	47.0	55.7	51.3
	3	29.2	16.5	29.5	31.2	26.9	20.2	18.4	10.7	27.4	31.3	17.9	15.0
	4	6.6	2.2	6.4	8.7	4.5	3.1	2.1	1.3	3.9	9.7	1.5	2.9
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16	1	10.5	32.7	11.1	9.6	10.7	34.9	32.4	30.8	10.8	10.1	25.7	40.1
	2	48.8	52.8	51.8	48.9	45.4	52.9	52.9	52.8	51.3	45.8	58.3	47.0
	3	33.7	13.5	31.8	33.4	36.1	12.2	13.9	14.5	32.8	34.8	15.3	11.6
	4	7.0	1.0	5.3	8.1	7.8	0.3	0.8	1.9	5.1	9.3	0.7	1.3
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17	1	51.2	65.3	53.5	48.3	51.9	67.6	65.3	63.0	53.1	49.1	64.1	66.7
	2	34.5	28.3	34.0	34.3	35.2	25.3	31.1	28.7	34.5	34.4	28.1	28.5
	3	11.0	5.9	9.2	14.3	9.6	6.4	3.4	7.8	9.9	12.4	7.3	4.3
	4	3.3	0.5	3.3	3.1	3.3	0.8	0.3	0.5	2.5	4.1	0.5	0.5
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18	1	5.5	13.6	5.3	4.5	6.9	13.0	13.7	14.2	5.8	5.2	12.3	15.1
	2	33.8	50.0	36.2	32.6	32.3	46.4	51.1	52.5	36.3	30.8	50.8	49.1
	3	45.3	32.2	42.9	45.8	47.3	36.2	31.3	29.0	43.4	47.5	33.5	30.8
	4	15.4	4.2	15.6	17.1	13.5	4.3	3.9	4.3	14.5	16.5	3.4	5.0
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

問	肢	父親	母親	父 親			母 親			父 親		母 親	
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	男子	女子	男子	女子
19	1	42.2	49.4	45.7	42.1	38.5	51.8	49.7	46.6	43.9	40.2	48.6	50.3
	2	43.2	39.4	42.1	42.7	45.1	39.3	37.9	41.0	42.1	44.5	41.0	37.6
	3	13.8	10.3	11.7	14.6	15.2	8.4	11.6	11.0	13.6	14.0	9.9	10.8
	4	0.8	0.9	0.6	0.6	1.2	0.5	0.8	1.3	0.4	1.3	0.5	1.3
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20	1	5.9	21.1	6.1	5.6	6.0	22.7	21.8	18.8	6.4	5.4	18.9	23.5
	2	48.6	68.8	51.3	46.3	48.4	67.3	67.1	71.8	51.7	45.2	70.0	67.4
	3	38.8	9.8	37.3	41.3	37.6	9.7	10.5	9.1	36.8	41.0	10.9	8.6
	4	6.6	0.3	5.0	6.7	8.1	0.3	0.5	0.3	5.1	8.2	0.2	0.5
	NA	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
21 の 1	1	32.3	40.3	25.1	30.6	41.8	28.1	36.8	56.6	37.9	25.8	44.8	35.5
	2	3.1	4.1	3.9	3.4	2.1	4.8	2.9	4.6	4.1	2.1	4.4	3.8
	3	2.5	4.4	3.1	2.8	1.5	6.4	2.6	4.0	1.4	3.7	3.4	5.4
	4	0.3	0.8	0.3	0.6	0.0	0.3	1.3	0.8	0.4	0.2	1.0	0.5
	5	2.3	3.2	3.1	3.7	0.0	4.3	3.9	1.3	1.8	2.9	3.3	3.2
	6	1.6	1.0	3.6	0.6	0.6	1.3	1.1	0.8	1.3	2.1	0.3	1.8
	7	2.6	2.4	2.5	2.5	2.7	2.6	2.4	2.1	3.0	2.1	2.4	2.3
	8	2.1	2.4	3.3	2.0	0.9	3.3	2.1	1.9	2.3	1.9	3.1	1.8
	9	53.2	41.4	55.2	53.9	50.4	49.0	46.8	27.9	48.0	59.4	37.3	45.7
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21 の 2	1	21.2	18.2	30.0	24.1	9.5	22.9	19.1	13.6	19.7	23.6	17.9	18.4
	2	13.9	14.3	15.7	11.5	14.9	10.4	18.3	13.6	15.5	11.2	15.2	13.2
	3	10.8	13.4	7.1	10.3	14.9	13.5	13.9	12.8	9.9	12.4	10.9	16.5
	4	0.9	2.1	0.0	0.0	2.7	0.0	3.5	2.4	0.7	1.1	0.5	3.9
	5	24.7	25.9	24.3	24.1	25.7	24.0	22.6	30.4	25.4	23.6	31.0	19.7
	6	8.7	9.8	5.7	9.2	10.8	11.5	7.8	10.4	7.0	11.2	6.0	14.5
	7	17.7	13.1	11.4	20.7	20.3	12.5	12.2	14.4	20.4	13.5	14.7	11.2
	8	1.7	3.0	5.7	0.0	0.0	5.2	1.7	2.4	1.4	2.3	3.3	2.6
	9	0.4	0.3	0.0	0.0	1.4	0.0	0.9	0.0	0.0	1.1	0.5	0.0
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
22	1	3.0	4.6	2.8	3.1	3.0	4.1	5.0	4.8	2.5	3.5	4.8	4.5
	2	24.9	41.8	27.3	20.8	26.6	44.1	40.3	40.8	27.6	21.6	40.2	43.4
	3	43.4	39.4	44.6	46.9	38.5	34.9	43.2	40.2	43.4	43.5	39.9	38.9
	4	28.7	14.2	25.3	29.2	31.9	16.8	11.6	14.2	26.5	31.4	5.1	13.2
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
23	1	9.6	8.9	10.9	8.4	9.6	8.4	10.3	8.0	8.5	10.9	6.8	11.1
	2	36.6	45.0	40.1	34.3	35.2	45.2	40.8	49.1	34.1	39.4	37.7	52.7
	3	33.4	35.8	31.2	34.8	34.3	35.2	37.9	34.3	35.8	30.7	42.9	28.3
	4	20.4	10.1	17.8	22.5	20.9	10.7	11.1	8.6	21.6	19.0	12.4	7.7
	NA	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2

(%)

問	肢	父親	母親	父 親			母 親			父 親		母 親	
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	男子	女子	男子	女子
24	1	10.0	10.7	9.5	9.8	10.7	11.0	11.3	9.9	11.3	8.5	9.5	12.0
	2	2.1	1.7	1.7	2.0	2.7	1.5	2.4	1.1	1.8	2.5	1.5	1.8
	3	3.2	3.8	3.3	3.4	3.0	3.3	3.7	4.3	3.5	2.9	3.6	3.9
	4	9.8	7.9	10.3	9.0	10.1	7.1	7.4	9.1	8.9	10.9	7.0	8.8
	5	66.4	69.7	68.0	65.4	65.7	70.7	68.9	69.4	66.2	66.6	72.6	66.7
	6	7.2	5.3	5.6	9.0	7.2	5.4	5.5	5.1	6.7	7.8	4.3	6.4
	7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
	8	0.2	0.3	0.6	0.0	0.0	0.3	0.5	0.3	0.2	0.2	0.5	0.2
	9	1.0	0.5	1.1	1.4	0.6	0.5	0.3	0.8	1.4	0.6	0.8	0.2
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25	1	6.5	5.9	7.0	5.9	6.6	4.8	6.8	5.9	6.5	6.4	6.1	5.6
	2	33.2	37.9	33.1	31.7	34.9	40.3	35.8	37.5	33.5	33.0	37.5	38.4
	3	41.7	41.2	42.3	41.6	41.2	40.6	42.6	40.5	43.2	40.0	39.2	43.3
	4	18.5	14.9	17.5	20.8	17.0	14.3	14.5	16.1	16.8	20.4	17.2	12.5
	NA	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2
26	1	5.1	4.6	3.3	6.5	5.7	4.3	4.2	5.4	5.0	5.4	5.6	3.6
	2	32.6	34.2	29.2	32.6	36.1	33.2	34.7	34.9	33.8	31.1	35.8	32.6
	3	49.8	51.8	53.8	49.4	46.0	53.1	52.9	49.3	48.7	51.1	50.3	53.4
	4	12.5	9.3	13.6	11.5	12.2	9.4	8.2	10.5	12.5	12.4	0.3	10.4
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
27	1	15.1	20.2	15.0	15.2	14.9	20.4	21.3	18.8	14.2	16.1	19.6	20.8
	2	65.6	66.8	67.1	65.4	64.2	67.6	65.8	67.0	68.5	62.2	69.0	64.5
	3	17.4	12.5	16.4	17.1	18.8	11.5	12.6	13.4	15.9	19.2	11.2	13.8
	4	1.9	0.4	1.4	2.2	2.1	0.3	0.3	0.8	1.4	2.5	0.2	0.7
	NA	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
28	1	4.8	8.5	3.3	5.9	5.1	8.9	10.3	6.2	5.0	4.5	7.8	9.1
	2	15.4	20.5	14.8	15.4	16.1	23.0	18.9	19.6	15.2	15.7	21.3	19.7
	3	12.5	10.8	13.4	12.4	11.6	9.9	9.2	13.4	13.3	11.5	10.6	11.1
	4	31.0	22.9	28.1	31.2	33.7	22.2	23.9	22.5	30.1	32.0	22.7	23.1
	5	5.6	5.3	8.1	3.7	5.1	5.4	3.7	7.0	6.7	4.3	5.1	5.6
	6	17.3	18.4	19.5	17.4	14.9	17.3	17.6	20.4	16.3	18.6	18.7	18.1
	7	3.9	3.7	3.9	2.8	5.1	4.3	3.9	2.7	3.4	4.5	4.8	2.5
	8	9.0	8.1	8.6	10.4	7.8	7.9	9.7	6.7	9.3	8.5	7.0	9.3
	9	0.6	1.7	0.3	0.8	0.6	1.0	2.6	1.6	0.7	0.4	2.0	1.4
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
29	1	19.6	33.4	18.9	18.5	21.5	36.5	32.1	31.4	21.8	17.1	34.4	32.3
	2	53.0	58.3	51.8	53.1	54.3	57.9	56.6	60.6	53.6	52.4	57.8	59.0
	3	22.3	7.2	25.6	23.0	17.9	5.1	9.7	7.0	20.4	24.5	6.8	7.7
	4	5.0	1.0	3.6	5.3	6.0	0.5	1.6	1.1	4.2	5.8	1.0	1.1
	NA	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
30	1	17.4	17.9	15.0	18.3	19.1	14.5	18.7	20.6	19.1	15.5	17.5	18.3
	2	66.2	69.7	65.7	68.3	64.5	69.9	69.5	69.7	65.9	66.6	71.4	67.9
	3	14.8	11.6	17.3	11.2	15.8	14.8	11.1	8.8	13.6	16.1	10.7	12.5
	4	1.6	0.8	1.9	2.2	0.6	0.8	0.8	0.8	1.4	1.9	0.3	1.3
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

問	肢	父親	母親	父 親			母 親			父 親		母 親	
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	男子	女子	男子	女子
31	1	9.1	8.6	8.6	9.0	9.9	9.7	8.7	7.2	8.8	9.5	10.6	6.5
	2	42.7	58.0	47.1	40.7	40.0	60.2	58.4	55.2	41.4	44.1	56.2	60.0
	3	10.4	8.0	10.6	9.8	11.3	7.4	7.1	9.7	11.0	9.7	8.0	8.1
	4	0.6	2.4	0.8	0.8	0.0	2.0	2.1	3.2	0.4	0.8	2.7	2.2
	5	17.9	4.3	15.6	19.7	18.5	2.6	5.5	4.8	19.6	15.9	4.3	4.3
	6	9.2	7.5	8.9	7.3	11.6	6.6	8.2	7.8	9.4	9.1	6.0	9.1
	7	9.8	11.2	8.1	12.6	8.7	11.5	10.0	12.1	9.4	10.3	12.3	10.0
	NA	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
32	1	12.8	15.4	10.6	12.6	15.2	9.9	17.4	19.0	12.0	13.6	14.1	16.7
	2	56.1	57.6	52.4	59.0	57.0	59.7	56.6	56.3	55.4	56.9	56.7	58.4
	3	29.5	25.8	35.4	26.7	26.3	28.6	24.5	24.1	30.6	28.2	28.1	23.3
	4	1.6	1.3	1.7	1.7	1.5	1.8	1.6	0.5	1.9	1.2	1.0	1.6
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
33	1	9.1	11.0	8.6	9.0	10.7	9.7	11.3	12.1	8.8	10.1	8.5	13.6
	2	49.0	47.9	48.5	49.4	49.0	49.0	45.5	49.3	48.0	50.1	46.2	49.8
	3	39.6	38.9	40.9	39.6	38.2	38.8	41.1	36.7	41.2	37.7	43.3	21.3
	4	2.0	2.2	1.9	2.0	2.1	2.6	2.1	1.9	1.9	2.1	2.0	2.3
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
34	1	14.5	17.5	14.2	13.5	15.8	15.3	16.3	20.9	15.0	13.8	16.7	18.3
	2	53.4	54.9	52.6	52.2	55.5	55.9	57.4	51.5	52.2	54.8	52.5	57.5
	3	30.1	26.1	31.2	31.5	27.5	27.8	24.5	26.0	31.0	29.1	29.3	22.8
	4	2.0	1.5	1.9	2.8	1.2	1.0	1.8	1.6	1.8	2.3	1.5	1.4
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
35	1	9.3	5.8	8.4	9.6	10.1	4.3	5.5	7.8	8.8	9.9	5.6	6.1
	2	52.0	54.8	51.8	51.4	52.8	53.8	54.5	56.0	53.5	50.3	54.9	54.7
	3	34.5	37.2	35.1	35.1	33.1	39.3	38.2	34.0	34.5	34.4	38.0	36.4
	4	4.2	2.2	4.7	3.9	3.9	2.6	1.8	2.1	3.2	5.4	1.5	2.8
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
36	1	6.3	3.2	4.5	6.2	8.4	2.3	4.2	3.2	3.9	9.1	2.6	3.9
	2	54.9	50.2	56.8	57.0	50.7	48.0	51.8	51.8	53.6	56.5	53.8	46.4
	3	26.5	36.9	26.5	24.7	28.4	40.1	33.7	33.6	28.7	23.9	35.1	38.9
	4	12.3	9.6	12.3	12.1	12.5	9.7	10.3	10.3	13.8	10.5	8.5	10.8
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
37	1	5.4	10.8	2.5	4.8	9.3	9.4	11.3	11.5	6.4	4.3	11.9	9.5
	2	30.6	52.2	31.8	29.8	30.1	52.3	51.8	52.5	31.5	29.5	54.2	50.2
	3	49.4	33.7	49.9	51.4	46.9	37.2	32.1	31.6	50.3	48.5	30.8	36.7
	4	14.6	3.3	15.9	14.0	13.7	1.0	4.7	4.3	11.8	17.7	3.1	3.6
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
38	1	6.8	10.9	5.6	6.7	8.1	9.7	11.6	11.6	5.7	8.1	9.4	12.6
	2	46.0	48.9	44.6	49.7	43.6	51.5	48.7	46.2	48.0	43.7	45.3	52.7
	3	37.0	27.0	40.7	34.8	35.5	25.3	29.5	26.3	36.6	37.5	29.0	25.0
	4	10.2	13.1	9.2	8.7	12.8	13.3	10.3	15.9	9.7	10.7	16.3	9.7
	NA	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

問	肢	父親	母親	父 親			母 親			父 親		母 親	
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	男子	女子	男子	女子
39	1	10.4	10.8	10.6	10.7	9.9	10.7	9.8	12.1	10.4	10.3	10.9	10.7
	2	69.6	78.0	68.0	69.1	71.9	77.6	79.4	76.9	71.2	67.8	79.2	76.7
	3	17.4	10.4	19.8	17.7	14.6	10.7	9.8	10.7	16.8	18.2	9.6	11.3
	4	2.6	0.7	1.7	2.5	3.6	1.0	0.8	0.3	1.6	3.7	0.3	1.1
	NA	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.2
40	1	3.0	3.1	3.6	2.8	2.7	4.3	2.1	2.7	3.5	2.5	4.1	2.0
	2	6.4	7.9	7.5	5.9	5.7	8.2	11.6	3.8	5.1	7.8	7.7	8.1
	3	1.5	1.0	2.2	2.2	0.0	1.0	1.3	0.8	1.4	1.7	1.0	1.1
	4	17.7	19.1	2.2	10.7	41.8	2.6	8.9	46.9	17.7	17.7	19.6	18.6
	5	23.0	26.1	23.4	22.5	23.3	24.7	22.6	31.1	24.3	21.7	27.3	24.9
	6	7.3	5.9	11.1	9.8	0.6	8.7	8.2	0.8	8.0	6.6	5.8	6.1
	7	3.3	5.7	5.3	3.9	0.6	9.2	6.3	1.3	2.5	4.3	3.1	8.3
	8	0.9	1.2	0.8	1.1	0.6	1.3	0.8	1.6	0.5	1.2	0.9	1.6
	9	0.5	0.6	0.6	0.6	0.3	0.8	1.1	0.0	0.5	0.4	0.7	0.5
	10	24.7	25.2	30.9	25.3	17.3	34.2	30.5	10.2	25.3	23.9	25.0	25.2
NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
40	1	4.3	5.1	3.8	5.8	3.4	5.6	4.7	5.2	4.9	3.6	5.7	4.6
	2	7.8	9.7	6.9	9.0	7.3	4.9	11.0	11.6	8.6	6.8	8.6	10.9
	3	2.8	3.7	3.1	2.6	2.8	7.0	2.9	2.4	0.8	5.0	5.0	2.5
	4	17.4	19.3	8.5	17.3	24.0	10.5	19.8	24.1	19.6	15.0	20.7	17.9
	5	37.4	36.6	31.5	31.4	46.9	31.5	33.7	41.8	39.2	35.4	37.8	35.6
	6	13.4	11.9	26.9	15.4	1.7	23.1	15.7	2.8	12.7	14.1	13.2	10.6
	7	9.5	9.6	13.8	9.6	6.1	10.5	9.9	8.4	5.7	13.6	6.4	12.3
	8	4.5	3.7	2.3	6.4	4.5	5.6	2.3	3.6	4.1	5.0	1.8	5.6
	9	0.6	0.2	0.0	0.6	1.1	0.7	0.0	0.0	1.2	0.0	0.4	0.0
	10	0.6	0.0	1.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.5	0.0	0.0
	11	0.6	0.2	0.8	1.3	1.1	0.7	0.0	0.0	0.8	0.5	0.4	0.0
NA	1.1	0.0	0.8	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.6	0.5	0.0	0.0	
41	1	1.4	1.1	2.8	1.1	0.3	0.8	1.6	1.1	0.9	2.1	1.4	0.9
	2	5.6	4.4	7.0	6.2	3.6	6.9	3.4	2.7	5.7	5.6	4.6	4.1
	3	5.6	6.8	8.4	5.4	3.0	9.7	6.1	4.6	5.2	6.2	6.3	7.3
	4	2.9	3.7	4.7	2.8	0.9	6.1	4.0	0.8	3.0	2.7	3.8	3.6
	5	0.2	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.8	0.3	0.0	0.4	0.2	0.5
	6	17.9	21.1	7.2	12.7	35.0	6.6	13.2	44.2	20.2	15.3	20.8	21.3
	7	21.0	27.7	21.4	25.1	16.2	27.8	29.0	26.3	24.0	17.5	31.1	24.2
	8	0.4	0.3	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.8	0.4	0.4	0.2	0.4
	9	0.8	0.5	1.4	0.6	0.3	0.8	0.3	0.5	0.5	1.0	0.7	0.4
	10	44.2	34.0	46.5	45.9	39.8	41.1	41.7	18.8	40.1	48.9	31.1	37.1
NA	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
41	1	2.0	1.9	1.7	2.2	2.1	3.1	0.0	2.4	1.3	1.8	5.2	4.0
	2	8.9	7.9	10.3	10.4	6.3	7.1	9.0	2.7	6.1	2.4	7.1	15.4
	3	12.9	14.4	15.4	13.3	10.5	18.1	19.4	8.7	8.7	12.7	12.3	7.5
	4	11.6	8.3	18.8	16.3	1.4	20.5	4.9	3.4	13.1	15.1	8.3	5.7
	5	0.5	0.2	0.0	0.7	0.7	0.0	0.7	29.3	13.5	10.2	30.2	25.6
	6	26.3	27.9	20.5	29.6	28.0	19.7	33.3	46.6	10.0	10.8	35.7	39.6
	7	35.7	37.7	33.3	25.9	46.9	30.7	30.6	1.4	18.3	22.9	0.8	2.2
	8	0.5	1.3	0.0	0.7	0.7	0.0	2.1	0.5	27.9	22.9	0.4	0.0
	9	0.5	0.4	0.0	0.0	0.7	0.8	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0
	10	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
NA	0.8	0.0	0.0	0.0	0.7	2.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	

(%)

問	肢	父親	母親	父 親			母 親			父 親		母 親	
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	男子	女子	男子	女子
42	1	15.2	14.2	13.6	14.9	17.1	11.0	15.3	16.6	16.3	13.8	15.0	13.4
	2	45.1	43.8	44.0	46.2	45.2	40.3	45.1	46.1	47.6	12.3	45.4	42.1
	3	33.2	36.7	33.7	34.4	31.4	40.8	35.9	33.2	31.8	34.8	35.5	38.0
	4	6.5	5.2	8.6	4.5	6.3	7.7	3.7	4.0	4.3	4.1	4.1	6.3
	NA	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
43	1	25.9	29.6	25.9	26.6	25.1	29.8	29.6	29.5	28.2	23.2	28.3	31.0
	2	54.7	53.3	58.5	54.0	51.5	54.8	51.7	53.4	52.6	57.2	52.2	54.5
	3	17.1	15.9	13.6	17.2	20.7	14.5	17.4	15.8	17.4	16.7	18.3	13.4
	4	2.3	1.2	1.9	2.3	2.7	0.8	1.3	1.3	1.8	2.9	1.2	1.1
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
44	1	53.7	65.7	55.2	49.3	56.9	66.6	64.6	66.0	58.4	48.2	68.6	62.7
	2	36.6	30.3	35.9	41.7	32.0	30.9	31.4	28.7	33.2	40.6	28.2	32.6
	3	7.9	3.5	7.0	7.9	9.0	2.6	2.9	5.1	6.9	9.1	3.1	3.9
	4	1.7	0.4	1.9	1.1	2.1	0.0	1.1	0.3	1.4	2.1	0.2	0.7
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
45	1	33.7	54.9	37.0	32.1	31.7	54.8	52.0	57.9	36.2	30.7	53.6	56.3
	2	45.2	39.2	44.8	43.7	47.3	39.0	42.0	36.7	45.1	45.4	40.4	38.0
	3	17.5	5.2	14.5	20.3	17.7	5.6	5.8	4.3	16.0	19.2	5.3	5.2
	4	3.6	0.6	3.6	3.9	3.3	0.5	0.3	1.1	2.7	4.7	0.7	0.5
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
46	1	8.3	6.6	7.0	9.3	8.7	3.6	8.4	8.0	4.1	7.4	7.2	6.1
	2	29.0	34.3	28.4	29.0	29.6	31.6	33.8	37.8	29.8	28.0	36.2	32.4
	3	45.6	46.8	46.0	44.8	46.1	52.0	44.6	43.4	47.1	43.9	46.2	47.3
	4	17.0	12.2	18.4	16.9	15.6	12.8	13.2	10.5	14.0	20.4	10.2	14.2
	NA	0.1	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0
47	1	1.2	1.3	0.6	2.3	0.9	1.8	1.1	1.1	1.1	1.4	1.7	0.9
	2	16.0	23.4	17.3	13.2	17.7	25.0	24.5	20.4	17.8	14.0	23.5	23.1
	3	50.9	49.7	51.8	53.2	47.3	48.5	52.0	48.8	49.1	52.8	51.2	48.2
	4	31.9	25.6	30.4	31.4	34.1	24.7	22.4	29.8	32.0	31.8	23.6	27.8
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
48	1	3.1	10.0	2.2	3.9	3.3	10.2	11.6	8.3	3.6	2.7	11.4	8.6
	2	15.9	45.3	15.0	14.6	18.3	42.6	44.6	48.8	16.7	15.0	44.6	46.1
	3	38.3	30.0	37.0	40.6	37.1	30.6	29.6	29.8	39.4	36.9	29.7	30.3
	4	42.7	14.7	45.7	40.8	41.3	16.6	14.2	13.1	40.3	45.4	14.3	15.0
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
49	1	3.1	23.3	3.3	2.3	3.6	23.7	23.5	22.5	2.6	3.5	24.7	21.7
	2	22.0	52.1	26.2	20.6	18.9	53.1	49.9	53.4	24.5	19.2	50.4	53.9
	3	37.3	21.2	36.5	38.3	37.1	20.2	22.4	21.2	39.8	34.4	22.7	19.7
	4	37.4	3.4	33.7	38.9	39.8	3.1	4.2	2.9	32.7	42.9	2.2	4.7
	NA	0.2	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0

(%)

問	肢	父親	母親	父 親			母 親			父 親		母 親	
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	男子	女子	男子	女子
50	1	7.5	9.2	10.0	7.9	4.5	11.5	9.5	6.4	6.9	8.2	9.0	9.3
	2	24.7	26.4	26.2	24.2	23.7	28.3	26.1	24.7	20.8	29.3	20.8	32.3
	3	12.7	12.3	13.4	11.0	13.8	14.0	11.6	11.3	12.7	12.8	14.3	10.2
	4	6.4	6.3	7.5	6.5	5.1	6.4	5.5	7.0	7.1	5.6	7.9	4.7
	5	5.6	5.9	4.7	5.6	6.6	5.9	5.8	5.9	6.0	5.2	7.5	4.1
	6	16.0	18.4	13.4	17.5	17.4	17.1	16.4	21.7	20.1	11.3	20.7	16.0
	7	5.1	9.5	4.5	4.2	6.6	6.6	10.0	12.1	5.2	4.9	9.6	9.5
	8	0.9	1.0	1.4	0.3	0.9	0.3	1.3	1.6	1.1	0.6	1.2	0.9
	9	0.6	0.4	0.3	0.6	0.9	0.5	0.5	0.3	0.7	0.4	0.3	0.5
	10	20.4	10.6	18.4	22.3	20.4	9.4	13.2	9.1	19.4	21.5	8.7	12.5
NA	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	
50	1	10.0	8.6	8.8	11.1	10.2	7.8	10.0	8.2	10.4	9.5	8.9	8.3
	2	12.8	16.0	13.4	13.2	11.7	17.7	15.2	15.1	13.3	12.2	14.2	18.1
	3	15.8	13.0	18.0	14.0	15.1	12.1	17.7	15.1	16.6	14.8	12.6	13.4
	4	14.9	10.3	14.2	13.2	17.6	10.6	11.4	9.2	16.0	13.5	10.5	10.2
	5	10.9	12.2	11.7	10.6	10.2	12.1	13.4	11.1	11.8	9.9	14.1	9.7
	6	22.5	25.3	21.3	23.8	22.4	24.5	26.6	24.6	20.8	24.7	25.4	25.0
	7	10.2	11.7	10.0	10.6	9.8	12.1	9.3	13.4	8.0	12.8	10.5	13.0
	8	2.2	2.7	2.1	2.6	2.0	3.1	2.1	3.0	2.4	2.0	3.3	2.1
	9	0.6	0.2	0.4	0.4	1.0	0.0	0.3	0.3	0.5	0.6	0.2	0.2
	10	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
NA	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	
問	肢	1年	2年	3年	1年		2年		3年				
					男子	女子	男子	女子	男子	女子			
1	1	2.2	3.7	3.5	2.3	2.1	6.3	1.0	4.8	2.1			
	2	11.8	13.4	19.1	15.0	8.0	15.0	11.8	21.7	16.3			
	3	25.8	39.1	31.2	26.4	25.1	37.7	40.5	30.0	32.6			
	4	60.0	43.8	46.1	55.9	64.7	41.1	46.7	43.5	48.9			
	NA	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
2	1	61.4	66.4	60.5	62.3	60.4	65.7	67.2	60.4	60.5			
	2	1.7	1.0	1.8	1.8	1.6	0.5	1.5	2.4	1.1			
	3	27.5	25.6	28.5	25.0	30.5	27.1	24.1	26.6	30.5			
	4	4.2	2.5	5.3	5.0	3.2	2.4	2.6	6.3	4.2			
	5	5.2	4.5	3.8	5.9	4.3	4.3	4.6	3.9	3.7			
NA	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0				
3	1	24.6	13.7	7.6	21.8	27.8	11.6	15.9	7.2	7.9			
	2	36.4	38.6	28.2	36.4	36.4	37.7	39.5	29.0	27.4			
	3	23.8	26.6	33.0	25.0	22.5	29.5	23.6	32.9	33.2			
	4	3.7	7.2	6.8	3.6	3.7	6.8	7.7	7.2	6.3			
	5	2.5	4.7	8.3	2.7	2.1	5.3	4.1	6.3	10.5			
	6	0.5	1.0	3.3	0.5	0.5	1.4	0.5	2.4	4.2			
	7	2.7	4.2	4.8	3.6	1.6	4.3	4.1	5.3	4.2			
	8	5.9	4.0	8.1	6.4	5.3	3.4	4.6	9.7	6.3			
NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

(%)

問	肢	1 年	2 年	3 年	1 年		2 年		3 年	
					男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
4	1	3.2	2.0	4.0	2.7	3.7	1.9	2.1	5.3	2.6
	2	12.3	9.7	11.8	15.0	9.1	7.7	11.8	10.1	13.7
	3	10.6	8.2	8.8	12.3	8.6	9.7	6.7	10.1	7.4
	4	19.2	18.9	23.4	17.7	20.9	22.7	14.9	19.8	27.4
	5	8.8	8.2	8.1	10.0	7.5	7.2	9.2	10.6	5.3
	6	21.1	21.1	21.4	17.7	25.1	23.2	19.0	21.7	21.1
	7	5.7	12.2	7.1	4.1	7.5	8.2	16.4	8.7	5.3
	8	18.4	18.9	14.4	19.5	17.1	18.8	19.0	12.6	16.3
	9	0.7	0.7	1.0	0.9	0.5	0.5	1.0	1.0	1.1
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	1	21.4	28.1	11.3	20.9	21.9	27.5	28.7	13.5	8.9
	2	31.9	26.1	24.2	33.2	30.5	27.5	24.6	25.1	23.2
	3	15.5	8.0	15.6	15.9	15.0	8.2	7.7	12.6	18.9
	4	13.8	8.5	16.1	12.3	15.5	8.7	8.2	17.4	14.7
	5	5.2	2.2	6.5	4.5	5.9	0.5	4.1	5.8	7.4
	6	3.7	1.0	12.6	2.7	4.8	0.5	1.5	12.1	13.2
	7	1.5	0.5	4.3	0.5	2.7	0.5	0.5	2.9	5.8
	8	0.5	0.5	1.8	0.9	0.0	0.5	0.5	1.4	2.1
	9	6.6	25.1	7.6	9.1	3.7	26.1	24.1	9.2	5.8
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	1	4.9	4.7	8.3	3.2	7.0	3.9	5.6	10.6	5.8
	2	13.5	17.7	17.6	13.2	13.9	15.0	20.5	18.4	16.8
	3	18.2	14.2	20.7	19.1	17.1	13.0	15.4	18.8	22.6
	4	63.4	63.4	53.4	64.5	62.0	68.1	58.5	52.2	54.7
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	1	30.0	37.6	56.2	30.0	29.9	44.0	30.8	59.9	52.1
	2	3.7	9.0	7.1	5.5	1.6	7.7	10.3	6.3	7.9
	3	1.0	1.5	2.0	1.4	0.5	1.4	1.5	1.9	2.1
	4	65.1	52.0	34.8	63.2	67.4	46.9	57.4	31.9	37.9
	NA	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
8	1	26.0	25.1	15.1	26.8	25.1	25.1	25.1	18.4	11.6
	2	26.3	31.6	55.7	28.6	23.5	32.9	30.3	53.6	57.9
	3	2.5	1.7	1.8	1.8	3.2	2.4	1.0	2.4	1.1
	4	6.1	5.2	3.5	5.5	7.0	6.8	3.6	4.8	2.1
	5	18.9	10.0	4.8	13.2	25.7	4.8	15.4	4.8	4.7
	6	1.7	5.5	4.0	2.3	1.1	5.8	5.1	2.4	5.8
	7	4.7	8.5	3.5	7.3	1.6	9.7	7.2	4.3	2.6
	8	11.1	11.2	9.1	11.8	10.2	11.1	11.3	7.2	11.1
	9	2.7	1.2	2.5	2.7	2.7	1.4	1.0	1.9	3.2
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9	1	40.8	39.6	43.3	35.9	46.5	35.7	43.6	37.7	49.5
	2	31.2	37.8	31.5	31.8	30.5	36.7	39.0	35.3	27.4
	3	27.0	20.9	23.4	30.9	22.5	25.6	15.9	24.6	22.1
	4	1.0	1.7	1.5	1.4	0.5	1.9	1.5	2.4	0.5
	NA	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

(%)

問	肢	1 年	2 年	3 年	1 年		2 年		3 年	
					男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
10	1	38.3	45.3	48.1	36.8	40.1	45.9	44.6	45.4	51.1
	2	53.8	47.3	46.9	55.9	51.3	45.9	48.7	50.7	42.6
	3	0.7	1.7	0.5	1.4	0.0	2.9	0.5	1.0	0.0
	4	7.1	5.7	4.5	5.9	8.6	5.3	6.2	2.9	6.3
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11	1	43.0	41.8	46.3	33.6	54.0	33.8	50.3	38.2	55.3
	2	26.3	25.1	17.4	31.4	20.3	29.0	21.0	19.3	15.3
	3	21.4	25.4	26.7	24.5	17.6	28.5	22.1	31.4	21.6
	4	9.3	7.7	9.3	10.5	8.0	8.7	6.7	11.1	7.4
	NA	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
12 の 1	1	11.5	18.2	24.9	9.5	13.9	13.5	23.1	17.4	33.2
	2	9.3	8.2	8.1	4.5	15.0	6.3	10.3	8.7	7.4
	3	13.8	16.2	11.6	12.3	15.5	13.0	19.5	9.7	13.7
	4	11.8	13.2	10.8	9.5	14.4	7.7	19.0	4.8	17.4
	5	2.0	1.0	11.6	0.9	3.2	0.5	1.5	13.0	10.0
	6	25.6	21.1	13.6	28.2	22.5	29.0	12.8	17.9	8.9
	7	10.3	10.2	6.5	17.3	2.1	18.4	1.5	12.6	0.0
	8	11.8	8.5	8.3	14.5	8.6	9.7	7.2	12.1	4.2
	9	0.2	0.7	0.3	0.5	0.0	0.5	1.0	0.0	0.5
	10	3.7	2.7	4.3	2.7	4.8	1.4	4.1	3.9	4.7
NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
12 の 2	1	15.4	14.3	14.7	11.8	19.6	11.5	17.3	16.0	13.4
	2	10.4	12.3	15.5	6.9	14.5	9.0	15.7	14.0	17.1
	3	11.0	19.4	18.3	12.3	9.5	19.0	19.9	15.5	21.4
	4	17.0	15.6	14.5	13.7	20.7	11.5	19.9	10.0	19.3
	5	5.5	2.3	11.6	5.9	5.0	2.0	2.6	14.5	8.6
	6	16.7	10.5	5.4	21.1	11.7	13.0	7.9	6.0	4.8
	7	10.7	11.8	6.7	16.2	4.5	21.0	2.1	10.5	2.7
	8	11.2	10.7	9.6	10.8	11.7	10.0	11.5	11.5	7.5
	9	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
	10	2.1	3.1	3.4	1.5	2.8	3.0	3.1	1.5	5.3
NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
13	1	3.4	3.7	3.3	4.1	2.7	2.4	5.1	3.9	2.6
	2	13.8	17.9	18.4	10.5	17.6	15.9	20.0	15.9	21.1
	3	32.7	29.9	26.7	33.2	32.1	30.0	29.7	25.6	27.9
	4	50.1	48.5	51.6	52.3	47.6	51.7	45.1	54.6	48.4
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14	1	22.6	26.6	35.3	19.5	26.2	24.2	29.2	37.2	33.2
	2	59.0	49.0	50.1	60.5	57.2	51.2	46.7	47.8	52.6
	3	17.0	21.6	13.1	17.7	16.0	21.7	21.5	13.0	13.2
	4	1.5	2.7	1.5	2.3	0.5	2.9	2.6	1.9	1.1
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

問	肢	1 年	2 年	3 年	1 年		2 年		3 年	
					男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
15	1	8.8	11.7	19.1	6.8	11.2	7.2	16.4	18.4	20.0
	2	60.7	47.8	53.7	60.0	61.5	50.7	44.6	54.1	53.2
	3	27.8	34.1	25.2	29.1	26.2	36.2	31.8	24.6	25.8
	4	2.7	6.5	2.0	4.1	1.1	5.8	7.2	2.9	1.1
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16	1	24.8	32.3	30.7	22.3	27.8	25.1	40.0	29.0	32.6
	2	61.2	50.0	55.4	63.6	58.3	54.6	45.1	53.1	57.9
	3	12.5	15.7	11.3	11.8	13.4	18.4	12.8	14.0	8.4
	4	1.5	2.0	2.5	2.3	0.5	1.9	2.1	3.9	1.1
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17	1	10.1	13.7	15.6	7.3	13.4	13.5	13.8	14.5	16.8
	2	39.6	44.3	52.1	32.3	48.1	38.2	50.8	49.3	55.3
	3	40.0	34.1	26.7	47.7	31.0	39.6	28.2	30.9	22.1
	4	10.1	8.0	5.5	12.7	7.0	8.7	7.2	5.3	5.8
	NA	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
18 の 1	1	29.0	37.1	36.3	9.5	51.9	18.8	56.4	17.4	56.8
	2	2.9	4.0	4.8	2.3	3.7	3.4	4.6	6.8	2.6
	3	27.3	17.4	13.4	30.9	23.0	24.6	9.7	16.4	10.0
	4	10.3	10.7	13.9	15.0	4.8	13.0	8.2	19.3	7.9
	5	22.6	24.4	21.4	30.9	12.8	29.5	19.0	25.1	17.4
	6	6.4	5.2	6.3	9.5	2.7	9.2	1.0	10.1	2.1
	7	0.7	0.5	2.0	1.4	0.0	0.5	0.5	1.9	2.1
	8	0.5	0.5	1.3	0.3	0.5	1.0	0.0	1.4	1.1
	9	0.2	0.2	0.8	0.0	0.5	0.0	0.5	1.4	0.0
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18 の 2	1	16.0	16.7	17.3	12.5	20.0	15.1	18.3	16.8	17.7
	2	7.2	11.1	12.0	3.2	11.9	5.9	16.8	7.7	16.7
	3	20.2	16.7	13.6	18.5	21.6	17.6	15.7	11.2	16.1
	4	17.0	17.4	17.5	20.8	12.4	21.0	13.6	17.9	17.2
	5	23.9	24.2	24.6	20.8	27.6	20.5	28.3	25.5	23.7
	6	11.5	10.9	10.7	18.5	3.2	17.1	4.2	15.3	5.9
	7	3.7	2.8	3.9	5.1	2.2	2.9	2.6	5.1	2.7
	8	0.7	0.3	0.3	0.5	1.1	0.0	0.5	0.5	0.0
	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
19 の 1	1	17.9	14.2	17.9	10.5	26.7	10.7	17.9	12.6	23.7
	2	39.6	45.1	35.0	36.4	43.3	46.1	44.1	29.0	41.6
	3	9.6	11.7	13.9	11.4	7.5	12.1	11.3	14.5	13.2
	4	3.9	2.7	3.0	4.1	3.7	1.0	4.6	3.9	2.1
	5	11.8	13.7	19.4	14.5	8.6	15.5	11.8	26.1	12.1
	6	5.9	3.7	2.3	6.8	4.8	3.4	4.1	1.9	2.6
	7	0.5	0.7	0.8	0.9	0.0	1.0	0.5	0.5	1.1
	8	0.2	1.2	1.3	0.0	0.5	1.5	1.0	1.9	0.5
	9	10.6	6.7	6.5	15.5	4.8	8.7	4.6	9.7	3.2
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

問	肢	1 年	2 年	3 年	1 年		2 年		3 年	
					男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
19 の 2	1	8.8	10.5	6.5	9.3	8.4	7.6	13.3	4.1	9.0
	2	20.6	26.2	22.5	21.5	19.8	24.7	27.7	22.7	22.3
	3	13.6	15.5	21.0	12.8	14.4	15.9	15.0	22.1	19.9
	4	12.4	10.8	13.9	12.2	12.6	9.4	12.1	13.4	14.5
	5	24.2	23.0	24.3	28.5	19.8	28.2	17.9	25.0	23.5
	6	15.3	9.9	5.9	9.3	21.6	10.6	9.2	5.2	6.6
	7	2.7	3.5	3.6	4.1	1.2	2.9	4.0	5.2	1.8
	8	2.4	0.3	2.4	2.3	2.4	0.0	0.6	2.3	2.4
	9	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20	1	0.7	0.7	1.5	0.5	1.1	0.5	1.0	2.4	0.5
	2	0.5	0.5	0.5	0.9	0.0	1.0	0.0	0.5	0.5
	3	2.5	2.0	1.8	2.3	2.7	0.5	3.6	1.4	2.1
	4	7.4	5.2	4.5	9.5	4.8	3.4	7.2	4.8	4.2
	5	6.9	7.0	5.0	7.3	6.4	6.8	7.2	5.8	4.2
	6	10.8	12.7	12.1	9.5	12.3	12.6	12.8	9.2	15.3
	7	8.6	7.5	5.8	5.9	11.8	6.8	8.2	3.4	8.4
	8	12.5	13.4	14.4	9.5	16.0	11.1	15.9	10.6	18.4
	9	49.1	50.7	54.4	53.6	43.9	57.5	43.6	61.8	46.3
	NA	1.0	0.2	0.0	0.9	1.1	0.0	0.5	0.0	0.0
21 の 1	1	2.0	1.2	8.1	3.2	0.5	2.4	0.0	8.2	7.9
	2	14.5	15.2	7.8	13.6	15.5	11.6	19.0	5.8	10.0
	3	23.1	17.2	21.9	35.0	9.1	24.6	9.2	33.8	8.9
	4	5.7	5.0	7.6	8.2	2.7	5.8	4.1	9.2	5.8
	5	2.7	3.5	2.3	1.4	4.3	3.9	3.1	1.4	3.2
	6	19.2	18.7	15.6	17.7	20.9	23.2	13.8	15.5	15.8
	7	7.1	10.0	8.8	6.8	7.5	11.1	8.7	9.2	8.4
	8	11.3	11.2	9.6	6.4	17.1	8.7	13.8	8.2	11.1
	9	12.3	15.9	15.6	4.1	21.9	6.3	26.2	6.3	25.8
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21 の 2	1	3.3	2.8	16.2	2.8	3.7	2.1	3.6	14.9	17.6
	2	14.3	11.6	4.9	14.2	14.4	12.7	10.4	4.5	17.6
	3	12.8	12.9	10.5	16.5	8.6	17.2	8.3	13.4	5.3
	4	9.5	10.1	7.5	11.8	7.0	11.8	8.3	7.5	7.4
	5	5.0	6.6	8.0	4.2	5.9	4.9	8.3	9.0	7.4
	6	16.3	17.2	12.9	17.9	14.4	16.7	17.7	14.4	6.9
	7	10.0	11.6	12.1	12.3	7.5	13.7	9.4	15.9	11.2
	8	14.0	14.4	15.7	11.3	17.1	10.3	18.8	12.9	8.0
	9	13.5	11.1	11.1	8.0	19.8	9.3	13.0	6.0	18.6
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
22	1	59.0	63.2	56.4	51.4	67.9	58.0	68.7	51.2	62.1
	2	20.9	16.2	20.9	20.9	20.9	18.8	13.3	21.3	20.5
	3	11.3	8.7	10.1	13.2	9.1	8.2	9.2	10.1	10.0
	4	8.8	11.9	12.3	14.5	2.1	15.0	8.7	17.4	6.8
	NA	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

(%)

問	肢	1 年	2 年	3 年	1 年		2 年		3 年	
					男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
23	1	18.7	21.4	20.2	15.0	23.1	20.3	22.6	16.4	24.2
	2	13.3	12.7	9.1	14.5	11.8	13.0	12.3	8.7	9.5
	3	16.3	19.4	21.9	15.0	17.7	21.3	17.4	20.3	23.7
	4	51.7	46.5	48.9	55.5	47.3	45.4	47.7	54.6	42.6
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24 の 1	1	3.2	1.2	1.8	4.1	2.1	1.0	1.5	2.9	0.5
	2	8.4	9.7	5.8	7.7	9.1	6.8	12.8	4.8	6.8
	3	5.4	7.0	3.8	3.6	7.5	5.8	8.2	3.9	3.7
	4	2.9	9.7	22.7	3.2	2.7	11.6	7.7	22.7	22.6
	5	31.0	27.1	40.6	35.9	25.1	28.5	25.6	41.5	39.5
	6	4.2	5.5	0.0	3.2	5.3	6.3	4.6	0.0	0.0
	7	8.1	8.5	4.0	5.5	11.2	7.2	9.7	3.4	4.7
	8	9.3	10.9	8.3	5.9	13.4	7.2	14.9	3.9	13.2
	9	1.5	2.5	2.3	0.9	2.1	1.9	3.1	2.9	1.6
	10	26.0	17.9	10.8	30.0	21.4	23.7	11.8	14.0	7.4
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24 の 2	1	2.4	3.2	2.7	2.6	2.3	4.8	2.0	4.2	1.3
	2	12.1	9.3	13.3	10.3	13.7	6.3	11.8	14.8	12.0
	3	9.3	9.0	5.7	8.6	9.9	10.3	7.8	3.5	7.6
	4	7.7	15.1	26.3	9.5	6.1	15.9	14.4	31.7	21.5
	5	25.1	27.2	29.7	25.0	25.2	27.0	27.5	29.6	29.7
	6	18.2	12.5	1.7	23.3	13.7	17.5	8.5	2.1	1.3
	7	9.7	7.2	7.3	8.6	10.7	4.8	9.2	4.2	10.1
	8	15.4	15.8	13.3	12.1	18.3	12.7	18.3	9.9	16.5
	9	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.0	0.0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25 の 1	1	5.4	2.5	4.0	9.1	1.1	4.3	0.5	6.3	1.6
	2	18.7	15.7	12.3	22.3	14.4	16.9	14.4	13.5	11.1
	3	1.0	0.7	0.8	1.4	0.5	1.0	0.5	0.0	1.6
	4	3.2	4.5	2.8	2.7	3.7	6.3	2.6	1.9	3.7
	5	54.3	55.5	61.7	40.5	70.6	43.0	68.7	51.7	72.6
	6	0.7	0.2	0.8	0.9	0.5	0.0	0.5	1.4	0.0
	7	12.8	14.7	12.1	18.2	6.4	18.8	10.3	15.9	7.9
	8	1.5	1.5	1.3	1.8	1.1	1.4	1.5	1.4	1.1
	9	2.5	4.7	4.3	3.2	1.6	8.2	1.0	7.7	0.5
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25 の 2	1	6.3	5.0	0.3	9.2	3.3	8.9	1.9	10.9	1.3
	2	28.1	26.9	5.9	24.3	32.0	16.3	35.3	13.3	35.9
	3	1.3	3.6	25.2	2.6	0.0	3.3	3.8	0.7	0.0
	4	14.2	15.4	0.3	11.2	17.3	16.3	14.7	10.2	13.1
	5	20.2	21.9	11.7	22.4	18.0	26.8	17.9	19.7	19.6
	6	5.6	2.5	19.7	6.6	3.3	1.6	3.2	13.9	10.5
	7	22.8	22.6	12.1	21.7	24.0	25.2	20.5	28.5	17.0
	8	2.0	2.2	22.4	2.0	2.0	1.6	2.6	2.2	2.6
	9	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0

(%)

問	肢	1 年	2 年	3 年	1 年		2 年		3 年	
					男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
26	1	20.9	34.1	30.7	20.9	20.9	30.4	37.9	28.5	33.2
	2	61.7	48.5	54.2	58.6	65.2	49.3	47.7	52.2	56.3
	3	16.0	14.7	12.6	18.6	12.8	17.9	11.3	14.5	10.5
	4	1.5	2.7	2.5	1.8	1.1	2.4	3.1	4.8	0.0
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
27	1	11.8	7.0	13.1	11.8	11.8	6.8	7.2	15.0	11.1
	2	63.1	54.2	59.7	62.3	64.2	56.5	51.8	58.9	60.5
	3	22.9	30.1	22.2	23.6	21.9	29.5	30.8	20.3	24.2
	4	2.2	8.7	5.0	2.3	2.1	7.2	10.3	5.8	4.2
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28	1	32.2	26.6	23.9	30.0	34.8	26.6	26.7	21.7	26.3
	2	49.6	48.8	52.4	53.2	45.5	52.2	45.1	55.1	49.5
	3	13.8	17.9	16.6	13.2	14.4	15.0	21.0	15.5	17.9
	4	4.4	6.7	7.1	3.6	5.3	6.3	7.2	7.7	6.3
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
29	1	2.5	4.2	3.8	2.7	2.1	3.4	5.1	3.4	4.2
	2	27.0	24.1	30.0	30.0	23.5	25.6	22.6	27.5	32.6
	3	70.5	71.6	66.2	67.3	74.3	71.0	72.3	69.1	63.2
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30	1	20.1	17.2	19.1	18.2	22.5	13.0	21.5	18.4	20.0
	2	55.5	54.5	58.2	57.3	53.5	54.6	54.4	58.0	58.4
	3	19.2	19.4	14.1	16.8	21.9	21.7	16.9	11.1	17.4
	4	1.7	5.5	3.3	2.3	1.1	5.8	5.1	5.3	1.1
	NA	3.4	3.5	5.3	5.5	1.1	4.8	2.1	7.2	3.2
31	1	31.4	34.1	38.3	18.6	46.5	24.6	44.1	26.1	5.6
	2	38.1	42.8	41.6	37.7	38.5	42.5	43.1	44.4	38.4
	3	23.8	17.7	15.6	33.2	12.8	25.6	9.2	21.7	8.9
	4	6.6	5.5	4.5	10.5	2.1	7.2	3.6	7.7	1.1
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
32	1	8.6	10.9	10.8	7.7	9.6	12.6	9.2	12.1	9.5
	2	33.9	35.8	45.8	26.4	42.8	31.9	40.0	41.5	50.5
	3	38.3	37.3	34.5	40.9	35.3	40.6	33.8	36.2	32.6
	4	19.2	15.9	8.8	25.0	12.3	15.0	16.9	10.1	7.4
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
33	1	19.0	17.9	15.1	13.2	25.7	15.5	20.5	12.1	18.4
	2	46.6	49.8	45.1	44.7	48.7	45.4	54.4	45.9	44.2
	3	28.6	23.9	29.7	32.9	23.5	28.5	19.0	28.5	31.1
	4	5.9	8.5	10.1	9.1	2.1	10.6	6.2	13.5	6.3
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
34 父	1	26.6	19.3	25.1	32.7	19.3	25.1	13.2	29.3	20.3
	2	35.2	32.6	31.0	35.5	34.8	35.0	30.0	34.1	27.5
	3	25.8	27.0	26.4	22.0	30.4	24.1	30.0	22.0	31.3
	4	12.4	21.1	17.6	9.8	15.5	15.8	26.8	14.6	20.9
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

問	肢	1 年	2 年	3 年	1 年		2 年		3 年		
					男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	
34	母	1	30.4	22.4	29.3	22.9	39.0	16.2	28.9	21.5	37.8
		2	44.0	42.5	36.6	46.3	41.2	48.5	36.1	40.0	33.0
		3	19.5	24.1	22.9	22.9	15.5	23.0	25.3	26.8	18.6
		4	6.2	11.1	11.2	7.8	4.3	12.3	9.8	11.7	10.6
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
35	父	1	12.2	10.9	15.8	14.0	9.9	14.3	7.4	19.0	12.1
		2	25.3	28.5	27.9	28.5	21.5	35.5	21.1	27.8	28.0
		3	39.2	29.0	34.9	34.1	45.3	26.1	32.1	33.7	36.3
		4	23.3	31.3	21.4	23.4	23.2	24.1	38.9	19.5	23.6
		NA	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
35	母	1	19.8	17.1	29.3	17.0	23.0	14.2	20.1	25.4	33.5
		2	36.8	43.5	40.2	38.1	35.3	43.6	43.3	40.0	40.4
		3	27.9	23.1	20.9	26.1	29.9	25.0	21.1	23.9	17.6
		4	15.6	16.3	9.7	18.8	11.8	17.2	15.5	10.7	8.5
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
36	父	1	12.7	7.4	8.5	12.6	12.7	7.7	7.4	8.8	8.2
		2	31.4	27.7	24.5	29.9	33.1	28.1	27.4	25.4	23.6
		3	33.4	33.6	39.3	35.0	31.5	36.9	30.0	37.1	41.8
		4	21.8	31.3	27.6	21.5	22.1	27.6	35.3	28.8	26.4
		NA	0.8	0.0	0.0	1.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
36	母	1	30.1	26.4	26.2	22.0	39.6	16.2	37.1	18.5	34.6
		2	42.2	39.7	38.7	43.6	40.6	42.2	37.1	36.6	41.0
		3	20.2	20.1	22.4	25.7	13.9	23.5	16.5	28.8	15.4
		4	7.2	13.8	12.7	8.3	5.9	18.1	9.3	16.1	9.0
		NA	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
37	父	1	21.5	18.3	16.0	21.0	22.0	21.7	14.7	14.6	17.6
		2	30.1	24.4	22.2	28.5	31.9	22.7	26.3	20.0	24.7
		3	7.1	9.7	9.8	8.9	4.9	11.8	7.4	10.7	8.8
		4	1.8	2.5	2.3	1.9	1.6	3.4	1.6	3.4	1.1
		5	12.1	17.8	13.4	13.1	11.0	16.7	18.9	13.7	13.2
		6	0.8	1.3	1.8	0.9	0.5	0.5	2.1	2.4	1.1
		7	2.8	1.0	1.8	2.8	2.7	2.0	0.0	2.4	1.1
		8	6.3	7.4	5.9	5.6	7.1	5.4	9.5	3.9	8.2
		9	17.7	17.6	26.6	17.3	18.1	15.8	19.5	28.8	24.2
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
37	母	1	26.9	24.1	22.9	24.8	29.4	20.5	27.8	17.1	29.3
		2	34.6	30.6	22.9	34.4	34.8	32.2	28.9	25.4	20.2
		3	4.9	7.0	7.6	4.6	5.3	6.8	7.2	5.9	9.6
		4	4.7	4.3	5.6	5.5	3.7	4.4	4.1	7.3	3.7
		5	8.1	15.0	14.0	8.7	7.5	16.6	13.4	12.2	16.0
		6	0.7	0.0	0.5	0.9	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5
		7	1.0	2.0	0.5	0.9	1.1	2.4	1.5	0.5	0.5
		8	4.2	4.3	5.1	3.2	5.3	3.4	5.2	3.9	6.4
		9	14.8	12.8	20.9	17.0	12.3	13.7	11.9	27.3	13.8
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

問	肢	1 年	2 年	3 年	1 年		2 年		3 年		
					男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	
38	父	1	49.0	40.2	39.8	48.1	50.0	47.8	32.1	41.0	38.5
		2	35.4	41.7	38.0	39.3	30.8	40.9	42.6	40.5	35.2
		3	12.4	10.4	15.5	10.7	14.3	6.9	14.2	13.7	17.6
		4	3.3	7.6	6.5	1.9	4.9	4.4	11.1	4.4	8.8
		NA	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
38	母	1	52.8	39.7	42.5	51.4	54.5	40.7	38.7	40.0	45.2
		2	34.3	46.7	42.2	36.2	32.1	46.1	47.4	45.4	38.8
		3	10.6	8.5	11.5	10.6	10.7	8.3	8.8	12.2	10.6
		4	2.2	5.0	3.6	1.8	2.7	4.9	5.2	2.0	2.0
		NA	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
39	父	1	4.3	4.1	4.1	3.3	5.5	5.4	2.6	4.9	3.3
		2	12.9	15.0	15.8	14.5	11.0	16.7	13.2	15.6	15.9
		3	26.8	20.6	29.5	24.3	29.7	24.1	16.8	26.8	32.4
		4	55.8	60.1	50.6	57.5	53.8	53.2	67.4	52.7	48.4
		NA	0.3	0.3	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
39	母	1	5.7	5.5	8.4	6.0	5.3	5.9	5.2	7.3	9.6
		2	20.7	25.9	26.7	19.3	22.5	22.5	29.4	24.4	29.3
		3	28.1	28.4	29.3	24.3	32.6	29.9	26.8	27.8	30.9
		4	45.4	39.9	35.6	50.5	39.6	41.7	38.1	40.5	30.3
		NA	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
40	父	1	33.3	29.3	27.4	35.0	31.3	32.0	26.3	30.2	24.2
		2	8.6	12.7	11.9	11.2	5.5	12.8	12.6	13.7	9.9
		3	5.8	5.1	3.6	6.5	4.9	3.4	6.8	2.4	4.9
		4	23.7	18.6	14.7	22.4	25.3	18.7	18.4	12.7	17.0
		5	3.0	4.8	9.3	2.3	3.8	3.0	6.8	11.8	6.6
		6	7.1	6.6	8.3	7.9	6.0	5.4	7.9	7.8	8.8
		7	12.1	14.8	16.0	9.8	14.8	16.7	12.6	12.7	19.8
		8	1.3	2.5	4.1	0.5	2.2	2.5	2.6	2.4	6.0
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40	母	1	26.2	15.6	16.0	25.2	27.3	13.7	17.5	16.1	16.0
		2	22.5	24.9	25.2	25.2	19.3	28.9	20.6	30.7	19.1
		3	9.4	12.3	11.7	6.0	13.4	6.9	18.0	5.9	18.1
		4	22.5	18.6	14.0	25.7	18.7	22.1	14.9	10.7	17.6
		5	0.5	1.8	3.3	0.5	0.5	0.5	3.1	3.9	2.7
		6	10.6	18.8	21.6	8.3	13.4	20.1	17.5	24.4	18.6
		7	3.0	3.8	3.1	2.3	3.7	4.4	3.1	2.9	3.2
		8	1.2	0.8	0.8	1.4	1.1	0.5	1.0	1.0	0.5
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
41	父	1	31.2	32.8	26.7	15.5	49.7	24.2	42.1	16.4	37.9
		2	35.9	37.1	40.8	39.5	31.6	38.6	35.4	39.6	42.1
		3	24.3	23.1	27.5	32.3	15.0	27.1	19.0	36.2	17.9
		4	8.6	7.0	5.0	12.7	3.7	10.1	3.6	7.7	2.1
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

問	肢	1 年	2 年	3 年	1 年		2 年		3 年	
					男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
42	1	52.8	64.9	61.2	55.5	49.7	71.5	57.9	64.7	57.4
	2	28.5	19.4	17.1	25.9	31.6	15.5	23.6	10.6	24.2
	3	3.9	3.5	3.0	2.3	5.9	1.0	6.2	2.9	3.2
	4	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.1
	5	2.0	3.5	2.0	1.8	2.1	3.9	3.1	1.9	2.1
	6	5.4	2.2	5.8	5.0	5.9	2.9	1.5	7.7	3.7
	7	6.1	5.0	6.3	8.2	3.7	3.9	6.2	8.7	3.7
	8	1.2	1.5	2.8	1.4	1.1	1.4	1.5	1.9	3.7
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
43	1	23.8	20.9	21.2	19.5	28.9	14.5	27.7	19.3	23.2
	2	58.5	59.0	58.7	57.3	59.9	62.8	54.9	55.6	62.1
	3	15.0	16.4	14.4	19.1	10.2	16.9	15.9	16.9	11.6
	4	2.7	3.7	5.8	4.1	1.1	5.8	1.5	8.2	3.2
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
44	1	35.9	33.9	36.3	27.3	46.0	29.6	38.5	31.9	41.1
	2	39.6	38.2	41.6	43.2	35.3	37.9	38.5	42.0	41.1
	3	18.7	21.7	18.1	21.4	15.5	25.2	17.9	23.2	12.6
	4	5.9	6.2	3.8	8.2	3.2	7.3	5.1	2.9	4.7
	NA	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
45	1	6.9	7.7	6.5	5.5	8.6	6.8	8.7	5.3	7.9
	2	47.4	41.8	39.8	39.5	56.7	41.5	42.1	34.8	45.3
	3	20.1	21.9	21.9	24.5	15.0	24.6	19.0	26.6	16.8
	4	10.1	10.9	12.8	12.7	7.0	10.1	11.8	15.0	10.5
	5	15.5	17.7	18.9	17.7	12.8	16.9	18.5	18.4	19.5
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
46	1	16.7	12.4	11.3	13.6	20.3	8.7	16.4	9.7	13.2
	2	45.5	37.8	46.3	42.7	48.7	37.7	37.9	44.4	48.4
	3	28.7	30.1	30.0	30.0	27.3	30.4	29.7	32.4	27.4
	4	9.1	19.7	12.3	13.6	3.7	23.2	15.9	13.5	11.1
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
父	1	26.0	24.4	28.9	31.8	19.2	29.6	18.9	37.6	19.2
	2	16.7	11.2	8.5	15.9	17.6	13.3	8.9	6.8	10.4
	3	4.8	5.9	6.7	2.3	7.7	3.9	7.9	2.9	11.0
	4	6.6	5.6	4.9	5.1	8.2	7.9	3.2	5.9	3.8
	5	3.0	3.3	3.4	1.9	4.4	2.0	4.7	2.0	4.9
	6	5.6	5.1	3.4	5.6	5.5	7.4	2.6	4.9	1.6
	7	5.8	3.3	1.3	8.9	2.2	4.4	2.1	1.5	1.1
	8	9.1	13.2	12.4	6.1	12.6	9.4	17.4	8.3	17.0
	9	5.1	4.1	4.9	4.2	6.0	1.5	6.8	4.4	5.5
	10	17.4	23.9	25.6	18.2	16.5	20.7	27.4	25.9	25.3
NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(%)

問	肢	1 年	2 年	3 年	1 年		2 年		3 年		
					男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	
47	母	1	27.9	35.9	35.1	33.5	21.4	39.2	32.5	42.4	27.1
		2	17.0	14.7	9.9	16.1	18.2	15.2	14.1	10.7	9.0
		3	10.1	9.6	14.0	5.5	15.5	5.4	14.1	5.4	23.4
		4	5.4	6.1	6.4	6.0	4.8	8.8	3.1	7.8	4.8
		5	4.0	3.8	1.8	3.7	4.3	3.4	4.2	2.0	1.6
		6	7.7	6.8	4.8	9.2	5.9	9.8	3.7	4.4	5.3
		7	2.7	2.5	1.3	2.8	2.7	3.9	1.0	2.0	0.5
	8	15.3	9.1	11.7	11.0	20.3	4.9	13.6	8.8	14.9	
	9	2.0	2.3	3.3	2.8	1.1	2.5	2.1	2.0	4.8	
	10	7.9	9.1	11.7	9.6	5.9	6.9	11.5	14.6	8.5	
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
48	父	1	9.3	14.0	15.8	8.4	10.4	11.3	16.8	10.7	21.4
		2	36.9	41.7	37.2	34.6	39.6	45.3	37.9	36.6	37.9
		3	39.1	29.3	32.0	43.0	34.6	28.6	30.0	34.6	29.1
		4	14.6	15.0	15.0	14.0	15.4	14.8	15.3	18.0	11.5
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
48	母	1	5.7	6.3	6.4	7.3	3.7	7.8	4.6	6.3	6.4
		2	35.8	43.7	41.0	40.8	29.9	40.7	46.9	42.9	38.8
		3	45.2	36.4	37.4	41.3	49.7	35.8	37.1	35.1	39.9
		4	13.3	13.6	15.3	10.6	16.6	15.7	11.3	15.6	14.9
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
49	父	1	6.8	10.4	13.2	6.1	7.7	8.4	12.6	10.7	15.9
		2	19.9	18.6	16.0	17.8	22.5	16.7	20.5	13.2	19.2
		3	30.3	23.7	30.5	29.9	30.8	24.1	23.2	34.1	26.4
		4	42.4	47.3	40.3	45.3	39.0	50.7	43.7	42.0	38.5
		NA	0.6	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
49	母	1	8.4	10.6	13.2	7.8	9.1	10.3	10.8	9.8	17.0
		2	20.5	25.9	21.1	15.6	26.2	20.6	31.4	15.1	27.7
		3	29.1	27.6	30.5	30.7	27.3	28.4	26.8	35.1	25.5
		4	42.0	35.9	35.1	45.9	37.4	40.7	30.9	40.0	29.8
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50	父	1	1.8	2.0	1.0	2.8	0.5	2.5	1.6	1.5	0.5
		2	9.1	5.6	3.9	12.1	5.5	6.9	4.2	4.9	2.7
		3	25.3	15.0	21.2	23.8	26.9	17.2	12.6	21.0	21.4
		4	63.9	77.4	73.9	61.2	67.0	73.4	81.6	72.7	75.3
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50	母	1	2.0	3.8	4.6	1.4	3.2	2.9	4.6	2.0	7.4
		2	21.0	13.3	13.2	11.9	31.6	5.9	21.1	5.4	21.8
		3	29.0	24.1	24.9	29.8	27.3	19.6	28.9	25.9	23.9
		4	48.0	58.8	57.3	56.9	38.0	71.6	45.5	66.8	46.8
		NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

平成5年度
家庭教育充実事業報告書
平成6年3月発行

福岡県立社会教育総合センター
福岡県粕屋郡篠栗町大字金出3350-2
☎ (092) 947-3512 (事業課)

